

創立50周年記念誌



2009
50th
Anniversary
Amagasaki JC

社団法人 尼崎青年会議所

年号	代表理事長	役員	活動
1997	平尾行雄	第33代	小島 高志
1998	平尾行雄	第34代	山本 善博
1999	平尾行雄	第35代	山本 善博
2000	平尾行雄	第36代	山本 善博

年号	代表理事長	役員	活動
2001	平尾行雄	第37代	山本 善博
2002	平尾行雄	第38代	山本 善博
2003	平尾行雄	第39代	山本 善博
2004	平尾行雄	第40代	山本 善博

年号	代表理事長	役員	活動
2005	平尾行雄	第41代	山本 善博
2006	平尾行雄	第42代	山本 善博
2007	平尾行雄	第43代	山本 善博
2008	平尾行雄	第44代	山本 善博

年号	代表理事長	役員	活動
2009	平尾行雄	第45代	山本 善博
2010	平尾行雄	第46代	山本 善博
2011	平尾行雄	第47代	山本 善博
2012	平尾行雄	第48代	山本 善博

社団法人尼崎青年会議所 創立50周年

2009
50th
Anniversary
Amagasaki JC

創立50周年記念誌

社団法人 尼崎青年会議所

JC三信条

1. 個人の修練 2. 社会への奉仕 3. 世界との友情

「この三信条は、JC運動とは、若いひとが集まって自己啓発、修練を行う場であり、培われた力を用いて地域社会にサービス(奉仕)する事である。そして、そのトレーニングサービスを支える力として会員全員、同志を貫くフレンドシップ(友情)がある。というものである。」

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life

JCIクリード

我々はかく信じる：
信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は
国家の主権を超越し
正しい経済の発展は
自由経済社会を通じて
最もよく達成され
政治は人によって左右されず
法によって運営さるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が
人生最善の仕事である

〈1947年世界会議総会採択〉
〈1951年一部追加〉

「JC宣言」

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する。

綱領

われわれJAYCEEは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

エコシティーAMAGASAKI宣言

- 1.きれいな川と緑あふれる、にぎわいのある「まち」にしよう。
- 2.100%ゴミリサイクルできる「まち」にしよう。
- 3.地球にやさしいテクノロジーのある歴史文化の「まち」にしよう。
- 4.ニューエネルギーのある「まち」にしよう。
- 5.子供たちと夢を語れる「まち」にしよう。

JCsong

作詞 松田 基/作曲 奥山勝太郎

1. JC JC JC
世界を結ぶ 若き団結(ちから)
新しき世紀(よ)の希望(のぞみ)となりて
永遠(とわ)に繁栄(さか)えん 我らの集い
2. JC JC JC
奉仕の理想 探求(もと)めつつ
祖国(くに)の進歩(あゆみ)の 力となりて
先駆けゆかん 我らの集い

若い我等

作詞・作曲 入江義朗

1. 若い我等が 手を取り合って
進む行く手の 青い空に
輝くJC 明るい希望
足なみをそろえて 行こうじゃないか
2. 世界を結ぶ 若さの力
互いに尽くす 楽しさこそ
JCの理想だ 新しい日だ
足なみをそろえて 行こうじゃないか
3. 若い我等の 心を集め
つくる集いに 未来をかけて
JCの仲間 皆信じあう
足なみをそろえて 行こうじゃないか

明日のために

作詞 三木重昭/補作詞 山上路夫/作曲 いずみたく

- | | | |
|---|---|--|
| ①若さと若さが
手を結び
明日にいつも
向かうのだ
豊かな未来
めざしつつ
日本の道を
創ろうよ
行こう JAYCEE
明日のために | ②心と心を
つなぎ合い
大きな虹を
かけるのだ
生きてることの
喜びを
すべての人に
投げかけて
行こう JAYCEE
明日のために | ③命と命が
満ちあふれ
光となって
燃えるのだ
世界の窓に
いつの日も
希望の夢は
はばたくよ
行こう JAYCEE
明日のために |
|---|---|--|

尼崎青年会議所創立趣意書

「今日の青年は明日の指導者」の言葉は我々青年層に課せられた責務の重大さを自覚せしむと共に新しい行動を起こさしめる言葉であります。
吾等青年の知性や覇気は社会の進歩発展にどの様な姿で且又は何の様な行動に基いて具現されて居るのだろうか。
進歩的で行動的な青年の時代はそう長くはない。我々には此の貴重なる時代を悔の無い世代として送らんが為にJC運動を起し、JC三信条即ち社会への奉仕、世界を結ぶ友情、会員相互の啓発を以て力強く実践し相互の啓発修練を以てより良き明日への指導者たらん事を期すべきではないだろうか。
我々はこゝに尼崎青年会議所を設立し、尼崎のより良き発展に情熱をかたむけ、併せて各国青年との交流を図り、正しき世界観を養い、全世界の平和の促進、経済の発展に貢献せんことを期するものである。

昭和三十四年八月
尼崎青年会議所創立準備委員会

理 念

『私達 社団法人尼崎青年会議所は常にまちづくりを市民と共に考え、実践し、会員の資質向上と組織の活性化を達成すると共に子ども達と夢を語る「まち」尼崎を目指します』

運 動 方 針

1. 環境をテーマとしたまちづくり運動を展開する。
2. まちづくり運動における主役は市民であることを常に意識する。
3. 社団法人尼崎青年会議所単独ではなく行政、他団体、近隣LOMとネットワークを活用した運動内容とする。
4. 常に目的を明確にし、より適切な手段を考案した運動内容とする。
5. 会員の経営資質・指導力の向上を図り、社会に貢献する企業・団体の経営者を育成する。

歴 代 理 事 長

初 代 樽 谷 清 一	第十八代 鴻 池 祥 肇	第三十五代 小 坂 圭 一
第 二 代 山 岡 宗 一 郎	第十九代 松 山 昇	第三十六代 真 野 義 之
第 三 代 矢 田 宣 光	第二十代 竹 瀬 元 紀	第三十七代 宮 本 毅
第 四 代 高 岡 誠 三 郎	第二十一代 武 井 育 雄	第三十八代 小 島 成 介
第 五 代 澤 井 昭 三	第二十二代 泉 原 保 二	第三十九代 藤 井 輝 男
第 六 代 市 田 順 彦	第二十三代 木 村 誠 治	第四十代 丸 山 孝 宏
第 七 代 吉 田 豊	第二十四代 吉 田 昌 弘	第四十一代 山 本 雅 彦
第 八 代 内 藤 尚 武	第二十五代 中 川 量 博	第四十二代 増 富 忠 義
第 九 代 渡 辺 和 治	第二十六代 室 井 邦 彦	第四十三代 香 田 哲
第 十 代 深 江 守	第二十七代 宮 崎 俊 二	第四十四代 磯 田 雅 司
第 十 一 代 谷 坂 誠 多 朗	第二十八代 森 本 清	第四十五代 阪 本 慶 秀
第 十 二 代 柴 田 英 輔	第二十九代 藤 原 国 雄	第四十六代 芝 泰 雄
第 十 三 代 石 原 一 興	第三十代 荻 田 孝 太 郎	第四十七代 高 山 照 幸
第 十 四 代 下 坂 富 美 二	第三十一代 清 原 徹	第四十八代 武 井 彰
第 十 五 代 山 本 正 法	第三十二代 高 尾 和 良	第四十九代 鴻 池 肇 一 恒
第 十 六 代 野 間 修	第三十三代 高 岡 伸 一	第五十代 森 上 恒
第 十 七 代 金 本 章	第三十四代 吉 川 壽 一	

ようこそ！



第50代理事長
森上 恒

この度は社団法人尼崎青年会議所 50年の扉を開いてくださりましてありがとうございます。

皆さまのお陰をもちまして、私たち社団法人尼崎青年会議所は、本年度50周年という大きな節目の年を迎えさせていただきました。

この節目の年を迎えるに当たり、様々な事を計画して参りましたが、やはり忘れてはならないのは、この50年間の歴史です。今や世に様々なNPO法人をはじめとする民間団体がございますが、自立して50年もの長きに渡り、継続・発展してきた団体はなかなかないのではないかと自負しております。

私たちは誇りに思っています。この団体を立ち上げてくださった先輩方を。この団体を存続させていただいた先輩方を。私たちを受け入れてくれたこの街を。

本年度の基本方針の一つに、「過去を正しく検証し、未来に繋がるような、記念式典・記念事業を開催する」という項目があります。

その礎となるのが、ここに記された様々な歴史と活動の足跡です。

50年前、それはどんな時代で、何故この団体は立ち上げられたのでしょうか。

50年間、私たちはどんな活動をしてきたのでしょうか。

50年前と時代背景が全く異なるこの現代で、同じ団体が存続し続ける事に意味はあるのでしょうか。

この尼崎の街の至るところに、私たちの先輩方の足跡があります。それは目に見えるもの、目に見えないもの、形は様々ですが確かにこの街に息づいていると思います。この50周年記念誌に記された事は、ほんの一端か

もしれません。でもその一端を垣間見ることによって、私たちがこの街に息づいている事が感じられるのではないのでしょうか。

どうか、皆さんも感じてみてください。その息吹を。きっと驚かれる事もあるでしょう。「これも尼崎JCがやったのか」と。

そして歴史を追って見ていくと、きっと気付かれるでしょう。この社団法人尼崎青年会議所には、様々な切り口があるのだと。その切り口は時代と共に変遷してきているのです。時代と共に変遷してきたからこそ、この団体は現在まで存続してきているのだと私は理解しています。

この周年誌の発行に当たり、これまでの活動の背景まで見えるように心掛けてきました。

何故その時代にその活動をしてきたのか？
その活動の集積が、その思いの集積が、現在の社団法人尼崎青年会議所です。

50年前と全く時代背景が異なるこの現代で、同じ団体が存続し続ける事に意味はあるのでしょうか。

この問いかけに、私は誇りを持って答えます。
私たちは街に、人に、国に、社会に、必要な団体であるはずだ、と。

これまで関わった全ての方々から心からの感謝をさせていただくと共に、様々な可能性に満ちたこの団体を未だ見ぬ後輩達へ引き継ぐ為に、これからも精一杯活動し続ける事をお誓い申し上げます。ありがとうございました。

貫く棒の如く



参議院議員
鴻池 祥肇

芦屋川を下って「ぬえ塚橋」を西へ渡ると、虚子記念文学館があります。子規とともに、近代俳句の成立に大きな業績を残したひと、そのひとの句。

去年今年 貫く棒の 如きもの 虚子

「保守」ってえのは、この句のようなもんだと、思うぜ。総理になる二年ぐらい前、麻生さんは、私に語ってくれました。そう、日本は二千年以上も、この良き国柄を保ち守ってきたんですよね、貫く棒の如くにね。

尼崎に高岡鶴松という侠客が、いました。

私の祖父や父の身内。伸一は、そのひとの孫。松代と結婚して、一男一女を授かりました。伸人は私達夫婦。理事長を経て、中川量博の9年後にブロック会長。でもね、伸一は、47歳で早世、好漢惜むべし。長男の浩介は、成人して、イタリア料理の修業中、頑張れ、みんな応援してるぞ。明治、大正、昭和と良き男達の仁と義は、平成のJCに溶け込み、貫く棒の如く、続いてゆくのです。

伸人ね、52組もさしてもらいましたよ。そのうちJCおしどりさんは、22組かな。その一番乗りは、安藤勝治と初江。両親がゆるしてくれない、雪の降りしきる日の綺麗なカップルでしたよ。それじゃ、まかしとけと、夙川の教会で、結婚式を挙げました。テントウ虫と、JC仲間がシャシャリ出て。貫く棒の如く家庭円満、孫もいるそうですよ。

私のJC入会、早かったね、25歳。いつも会社の裏口から「マイド」と云って入ってくる、トウフ屋のオッサンが、幹部だったんで驚いたなあ。そう、数年、スリーピングしてたんよ。竹瀬元紀がやって来て、おい、起きろ、それで、のこのこ出ていったら、創立10周年式典の

日。去年は、伴の肇一が理事長。49年目の仲間とともに、50年目に繋いでくれた。そうそう、私が会頭の時に、多くの人に苦勞をかけたが、その中のひとり、森本清がシニアの会長となった。JCも貫く棒の如きもんやね。

(文中敬称略、総理だけ別)

「創立 50 周年」に寄せて



第26代理事長
参議院議員
室井 邦彦

半世紀前、創立のご苦勞をされた諸先輩、私と同世代で、共に汗を流した同僚諸氏、そして今努力されている後輩の皆さん。

連綿と受け継がれていく尼崎青年の心意気は、ますます高揚していると頼もしく思っています。

思えば25歳で入会させていただき、38歳で第26代理事長を拝命し「若い情熱の炎をもやそう、地域の旗手となって考え行動しよう」と呼びかけ、がむしゃらに情熱を注いだことを懐かしく思い出します。

一番の思い出は理事長時代「尼崎国際ハーフマラソン」を皆さんとともに、幾多の困難を乗り越え、関係各位のご協力を得て実現したことです。

私は、皆様方のご支援、ご協力で市会議員、県会議員、衆議院議員と務めさせていただきました。

この度は、さらなるご支援を得て、参議院という長期の政策に取り組める国政の場で汗を流させていただくことになりました。

しかし、いつも心のよりどころ、座標軸の原点は尼崎にあります。

今、世界の激しい動きに伴い、日本の社会は大きな転機を迎えています。このことは皆様も肌で感じられているのではないのでしょうか。今後、政治的、経済的に大きな動きがあると思います。

私はこの時期、参議院議員を拝命したことを天命と考え、日本の根本的な改革に参画するべく行動しています。その活動の大きな目的の一つが、近畿経済圏の活性化です。

我が国の重心があまりにも東京を中心とする首都圏に集中しすぎている。この現状は、改善されるべきである

と考えています。

「近畿圏は首都圏とともに日本という車の両輪として今後、発展・活動するべきである」というのが私の政治信条です。

もちろん近畿圏の核として、尼崎がその存在感を示していくべく皆さんと力を合わせていきたいと思っています。

100年に一度といわれる経済的困難を乗り越え、さらに大きく羽ばたき発展を勝ち取っていかうではありませんか。

祝 辞



兵庫県知事
井戸敏三



尼崎市長
白井文

社団法人尼崎青年会議所が創立50周年を迎えられ、これまでの輝かしい歩みをまとめた記念誌が発行されます。心からお喜びします。

昭和34年の設立以来、「修練・奉仕・友情」の三つの信条のもと、会員相互の親睦と研鑽を図りながら、環境をテーマとしたまちづくり、子どもたちが夢を育む尼崎づくりをめざした取り組みを展開されてきました。青年会議所ならではの意欲あふれる活動に、改めて感謝します。

世界的な経済危機が、地域の経済や暮らしにも深刻な影響を及ぼしています。また、国内では、来たるべき本格的な少子高齢社会に対応した社会の再構築が求められています。厳しく、大きく変動する時代だけに、明日を切り拓く力を今こそ蓄えていくことが大切なのではないのでしょうか。

兵庫県は、まず県民生活の安定を図るため、緊急経済雇用対策に万全を期しつつ、新行革プランに基づき、社会情勢の変化や県民ニーズに対応できる行財政構造の確立に全力で取り組みます。そして、長期ビジョンの見直しを通して、県民の皆さんと未来の兵庫づくりを共有し、元気、生活、交流、地域と家庭、安全安心の5本の柱を基本に、ふるさと兵庫の再生をめざします。

4月からは全国の皆さんを温かくお迎えする「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン」を展開しています。兵庫の個性と元気を発信し、内外との交流を広げていく契機としていきたいと考えています。

明日の兵庫をつくるのは人。それだけに、尼崎青年会議所の皆さんが、多くの先輩が培われた信頼のネットワークを受け継ぎ、未来に向けて挑戦されていることは、本当に心強いことです。青年らしい柔軟な発想と果敢な行動力、経済人としての感覚を存分に発揮し、これからの地域づくり、人づくりの先頭に立って活躍されることを期待しています。

ともに力を合わせ、人や地域が輝き、だれもが豊かさや生きがいを実感できる新しい兵庫の実現をめざしていきます。

社団法人尼崎青年会議所のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝での一層のご活躍を心からお祈りします。

社団法人尼崎青年会議所が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会議所は1959年に「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として創立されました。歴代理事長をはじめ会員の皆様には、地域の環境や教育をはじめ、あらゆる領域にわたり地域に密着したまちづくりの推進に寄与していただいたことに心から敬意と感謝を申し上げます。特に近年では、「エコあま君ロール」の販売による環境保護活動や、「あまがさき中学生連絡会議」等の青少年育成事業、地域通貨の実験などといった独自の活動を通してまちづくりにご協力をいただいております。わがまちを愛する強い想いを持ち、柔軟かつ感性豊かな視点で真摯に取り組まれる皆様の行動力とそこにご功績は計り知れぬものがあり、いつも心強く感じております。

さて、昨今の日本の経済情勢は、100年に一度といわれる世界的な金融危機の影響を受け、極めて不安定・不透明な状況にあります。急激で深刻な景気の後退は、市内企業の業績や雇用状況の悪化等、本市にも大きな影響を及ぼしておりますが、市民生活への負担を少しでも回避できるよう様々な対策を講じているところでございます。

皆様方には、これまで本市市政にご協力をいただいているだけでなく、あらゆる機会を通じてご助言やご提案をいただいております。こういった時こそ、今まで皆様が培われてきた知識と経験、ネットワーク等を活かして、尼崎の元気の源となっていいただければと願っております。

また、これから尼崎市は、平成21年4月からの中核市への移行や、阪神なんば線の開通、JR尼崎駅北側のキラリガーデンシティの開業等により、大きく、また着実に変化してまいります。そのまちの変化とともに、皆様の活動は益々その重要性を加えることと思っております。どうか皆様におかれましては、まちづくりに対する勇気と強い信念を持って、引き続き本市まちづくりに対しまして、ご支援とご協力をご期待申し上げます。

最後に、この記念すべき年をひとつの節目にして、尼崎青年会議所が今後益々発展をされますことを願いますとともに、関係各位のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



阪神南県民局長
中西一人



尼崎商工会議所
会頭 氏平競重

社団法人尼崎青年会議所が創立50周年を迎えられ、これまでの歩みをまとめた記念誌が発行されますことを、心からお祝いします。

昭和34年の結成以来、尼崎青年会議所の皆さんは、「明るい豊かな社会を築き上げることを」目指して、青少年の健全育成や身近な環境改善などの社会的課題に対して、「あまがさき中学生連絡会議」をはじめとする地域との協働事業により、大きな成果を上げてこられました。歴代理事長をはじめ会員の皆さんの永年にわたる真摯な取り組みに心から感謝するとともに、深く敬意を表します。

いま兵庫県では、県民生活の安定に向けた経済雇用対策の実施とともに、新しい兵庫をつくる行財政構造基盤の確立に全力で取り組みながら、元気、生活、交流、家族と地域の4つの視点から、「元気で安全安心な兵庫」の実現を目指しています。

そのような中で、阪神南地域では特色ある芸術・文化や多彩なモノづくり産業の蓄積など多彩な地域資源に加え、世界レベルの企業進出や阪神なんば線の開通など、兵庫の元気を先導するダイナミックな動きが展開しています。そこで阪神南県民局では、このような特性を踏まえて、環境の保全と創造を目指す尼崎21世紀の森構想、運河や河川を活かして人々が憩える空間づくりを目指す尼崎運河再生プロジェクトや、ニュースポーツであるスナッグゴルフを通じた青少年の健全育成など多彩な施策を展開しているところです。

これらの取り組みには、県民一人ひとりとはもとより、様々な地域の団体などの参画と協働を一層推進することが欠かせません。特に若い力の結集である青年会議所の皆さんへの期待は大きく、パートナーシップをより確かなものにしたと思っています。ともに力を合わせ、地域が輝き、県民だれもが豊かさや生きがいを実感できる新しい兵庫をつくっていきましょう。

尼崎青年会議所が、これまで積み重ねてこられた伝統と実績をもとに、地域の人々との交流の輪を大きく広げながら、安心して暮らせる元気な地域づくりのリーダーとして、また、成熟社会にふさわしい新しい兵庫づくりの推進役として、「可能性の扉」を大きく開かれますことを期待するとともに、関係の皆様のご健勝とますますのご活躍を心からお祈りします。

社団法人尼崎青年会議所が、創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、昭和34年に大阪青年会議所をスポンサーとして全国で172番目の青年会議所として創立されました。以来、会員の資質向上や組織の活性化を達成されるとともに、理念である「明るく豊かな社会づくり」の実現にむけ、会員の皆様が心をひとつにして、市民とともに考え実践し、子供達と夢を語る「まち」尼崎を目指して、取り組んでまいられましたことに対し、深甚の敬意を表したいと存じます。

さて米国の金融危機に端を発しました世界経済の減速により、わが国経済も後退局面に入り、企業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。地域総合経済団体である尼崎商工会議所は、地域経済の活性化に向けて、積極的に事業展開をおこなってまいりますので貴青年会議所におかれましては、今後とも商工会議所事業にご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴青年会議所設立趣意書の「より良き明日への指導者」を目指し、新たな可能性に積極的にチャレンジされるとともに、貴青年会議所のさらなるご発展と森上理事長をはじめ、会員の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げて、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 日本青年会議所
会頭 安里 繁信

社団法人尼崎青年会議所創立50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立から今日に至るまでの50年間、熱い情熱を持って変革の能動者として市民の先頭に立ち、地域社会の発展にご尽力されました諸先輩方の功績に心から敬意を表すると共に、諸先輩方が築き上げた誇り高き志を受け継いだ現役JCメンバーの皆様へ心よりお祝いとお礼を申し上げます。

創立50周年という節目の年、森上 恒理事長のもと、可能性の扉～未来への挑戦～というスローガンのもと、美しい人間が溢れる、魅力ある組織を形成し、何事にも率先し実践的で実効性のあるまちづくりに向けた力強い活動を展開されていることと確信しております。現役JCメンバーの皆様への献身的な活動はもとより、貴青年会議所の根幹を築いてこられた先輩方の長きに亘る地域発展を目指した活動が記念すべき貴青年会議所創立50周年に結びついていることは、社団法人日本青年会議所におきましてもこの上ない喜びであります。

本年度、社団法人日本青年会議所はつよい国民性に育まれたやさしい国家「真日本建国」に向けて、我々JAYCEEのひとりひとりが日本国に誇りを持ち、強靱な思想と哲学を身にまとい、現実から目をそむけない確固たる信念を持った青年経済人として明るい豊かな社会を築き上げる運動を展開してまいります。今の我々にとって最も大事なことは己を律することであり、知識のみならず確かな見識と揺ぎない信念を持って自らの生き方を社会に示しつつ、

お互いを賞賛し認め合う「アドマイヤー型社会」の実現こそが、真に誇れる国づくりへ繋がると確信しております。

創立50周年を迎えられた社団法人尼崎青年会議所の皆様へ、森上理事長のリアリティーと説得力のあるリーダーシップのもと、地域に影響のある事業を進取に実施すると確信し、JCプライドにかけ、明るい豊かな社会の実現に向けてご活躍されることをご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 日本青年会議所
近畿地区協議会 会長
豊田 英三

社団法人尼崎青年会議所メンバーの皆様が創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴青年会議所が誕生してから半世紀にわたり地域の発展に貢献されてこられましたその道程は大変尊いものであり、同じ青年会議所のメンバーとして誇りを感じますと共に、しっかりと歩んでこられました諸先輩の皆様へ、関係各位そして市民の皆様へ改めて感謝申し上げます。

貴青年会議所は環境問題を題材にした活動を長年続けてこられ、その中で誕生したエコあま君を利用し誇りある愛郷づくりの理念を伝えるなど地域貢献の素晴らしい成果を上げてこられました。現在も郷土をおもむき、地域の問題に迅速に対応する行動力は諸先輩と同様に現役メンバーが地域の中で一番つよく、地域のリーダーとしての役割を絶えず果たしていることと存じます。

公益社団法人格取得元年となるこの2009年に森上理事長の力強いリーダーシップの下、貴青年会議所メンバーの皆様が改めてJC運動を検証し、地域と国家へ果たすべき役割を明確にし、未来へ挑戦し続ける青年経済人の集まりとして堂々と運動を推進され皆様の地域の更なる飛躍へと繋がることをご期待申し上げます。

2009年度の(社)日本青年会議所近畿地区協議会は「真日本建国」に向けて、「郷土愛」と「国家愛」に満ちた近畿の創造をテーマに、市民が郷土に深い理解を示し、その魅力を磨き上げて地域に自信をもたらすローカリズムの実践と、それを基盤としたつよい地域社会の創造に取り組んでおります。これから始まる2010年代に向け、貴青年会議所と近畿地区協議会が結束し、世界に誇る地域と地区の創造を目指していくことに繋がる創立50周年の年となりますことを心からご祈念申し上げます。

最後になりますが社団法人尼崎青年会議所様の益々のご発展と関係各位のご多幸を願い、創立50周年に際しましてのご祝辞とさせていただきます。



社団法人 日本青年会議所
近畿地区 兵庫ブロック協議会
会長 中尾 信也

社団法人尼崎青年会議所、創立50周年誠にありがとうございます。50年という長きに渡り貴青年会議所を創り支えてこられた歴代理事長様をはじめとされるシニア会員様の皆様、そして今もなお諸先輩方の熱い想いを継承し日々青年会議所活動に邁進している現役メンバーの皆様へ兵庫ブロック協議会を代表し、心よりの敬意を表します。そして、我々兵庫ブロック協議会だけでなく、近畿地区そして日本JCへとこれまで多数の優秀な人材を輩出し、全国のJC運動に貢献していただいた事に感謝の意を表します。

世界の経済が先行き不安な今、地域の青年会議所には成すべき大きな役割があります。今の日本経済に求められている内需拡大、地方主権、経済構造の変革、すべてにおいてローカルで活躍する若い力が次の時代を先導する力を発揮する時代なのです。50年前、高度経済成長に向かう日本で、尼崎JCが産声を上げた時と同じように、これから私たちは新たな時代を切り開いていかなければなりません。JCが動かなければならない時がきているのです。尼崎は、今もなお発展し続ける南部の工業地域を中心に、中南部の商業そして北部にかけての住宅地といった県内一の人口密度、そして独創性を持った情熱的なまちだと認識しております。そんなまちのメンバーだからこそ発信できる物があるのではないのでしょうか。皆様は、尼崎JCのプライドをこれから入ってくるメンバーに、そして地域社会へ伝播し、この熱いまちの濃いメンバーから、兵庫パワーを発動させていただきたい。

最後に貴青年会議所におかれましては、これまで50年間積み上げられてこられた英知と勇気と情熱をもって、エコシティーとしての新しいまちづくりに邁進し、社会から、また地域から必要とされる団体である為に、今後ますますご活躍されることを心より祈念いたします。

祝 辞



社団法人 大阪青年会議所
第59代理事長
理事長 藤井俊成

社団法人尼崎青年会議所が、記念すべき創立50周年を迎えられましたことを、スポンサーJCとして心よりお祝い申し上げます。

貴青年会議所は1959年の設立以来、社会情勢が大きく変化する中、青年らしいひたむきな情熱というJCとしての利点を最大限に活かし、順調な発展をとげてこられました。その間の行政、市民学校等との連携による、尼崎の特性を生かした数々の事業は、地域の皆様から高い評価を受けてこられました。中でも、創立間もない時より公害問題に取り組み、市民の方々と共に環境を中心としたまちづくりを展開してこられました。

提唱を続けておられる「エコシティーAMAGASAKI宣言」と併せて様々な団体とのコラボレーションを行ない、地域に密着し続けてこられた数々の事業を通じた運動への取り組みは地域における確固たる存在を示しておられます。

50周年となる今年度は「可能性の扉～未来への挑戦～」をテーマに、次の50年へ向かって貴青年会議所メンバーがより一層深い絆で結ばれ、地域社会のリーダーとしての役割を大いに果たしていただけるものと確信しております。

尼崎らしさにこだわり、郷土への深い愛情を持ち、市民と共に協働する社会変革運動へと運動の輪を拡げておられる皆様方に、ここで改めて敬意を表する次第であり、併せて、私たち大阪JCも「明るい豊かな社会」の実現を目指して行動していく同志として、これまでどおり、変わることなく御一緒に歩んで頂けますことをお願い申し上げます。

結びに、明るい未来に対する熱き想いとその実現に向けて行動していく青年としての気概、そして輝かしい伝統を絶えることなく受け継いでこられた皆様方のお力が、この記念すべき年を契機に一層強く結集され、更なる御活躍、御発展をとげられることを祈念し祝辞といたします。



社団法人 岡山青年会議所
第59代理事長
永山雅己

この度は、社団法人尼崎青年会議所が創立50周年を迎えられること、社団法人岡山青年会議所を代表しお祝いを申し上げますと共に、この50年に至るまで諸先輩の皆様、現役メンバーの皆様のご尽力に対しまして心より敬意を表する次第であります。

1965年に、尼崎JC、台南JC、岡山JCの3JCが姉妹JCの締結をして以来、尼崎青年会議所の皆様とは44年間、友好LOMとして数々の交流をさせていただき、特に最近では交歓会を通じて膝を交えて語り、お互いの事業の話などを通じて、多くの友情を培わしていただきました。心より感謝申し上げます。

本年4月に私どもの岡山市は政令指定都市となり、歴史的な年を迎えております。経済状況は100年に1度の不況といわれています。このようなときこそ、奉仕、修練、友情の理念を貫き、節目の年を迎えている尼崎JCと岡山JCが、今後さらに交流を深め、切磋琢磨しながらJAYCEEとして成長のできる1年になり、明るい豊かな社会を築くために新たなる1歩を一緒に大きく踏み出したいと思います。

最後になりますが、第50代森上理事長の所信にもありますように、次の時代も、次の50年も、社会から必要とされる青年会議所であり続けるために、この記念すべき50周年を契機とし、率先して行動し、尼崎の発展のため、さらには自分自身のために可能性の扉を開き、益々ご活躍されますことをご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

誠摯的祝福



台南分會2009會長
鄭智炫

親愛なる姉妹JCである尼崎JCの50周年式典において、台南JC会長 鄭智炫は台南JC全体を代表として尼崎JC及び森上 恒理事長に対し、心より御慶びとともに式典のご成功をお祈り申し上げます。

これは特別な時であり、其の中でも特に日本尼崎JCと台湾台南JCが国際的の友好な姉妹締結を行い、共にJC精神に基づいた理念で努力し、共に美しき良いJCの未来を創造することを信じます。

美しき尼崎の地において、鄭智炫は再度、日本尼崎JCの50周年を迎えることに歓喜の気持ちでいっぱいです。

又、森上 恒理事長及び歴代理事長と尼崎JCの皆様のご健勝と家族円満と事業のご発展を心よりお祈り申し上げます。

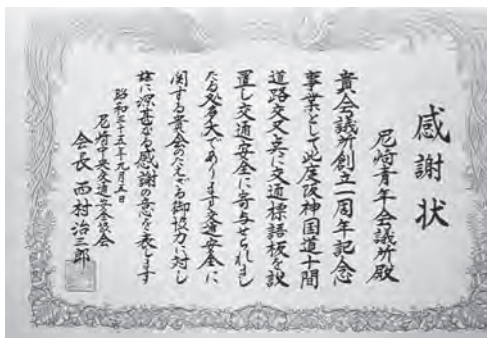
誠摯的祝福

台南分會 2009 會長 鄭智炫

欣逢我日本姊妹會尼崎分會 50 週年慶典，智炫以台南分會會長身分代表全體會友向田村 亞紀會長暨全體會友致上最誠摯的祝賀，並祝典禮圓滿成功。

這是個特別的日子，最特別的是日本尼崎青商和台灣台南青商跨國際的友誼因青商會而結緣，有著共同的理念與精神為青年商會而努力，共創青商美好的未來。

在尼崎這美好的風景裏，智炫以歡喜的心情再次誠摯祝福日本尼崎青商 50 週年慶生日快樂，會長田村 亞紀 及所有前會長、會友身體健康、家庭美滿、事業如意！



1959

(昭和34年)



初代理事長

樽谷清一

生年月日 大正10年4月18日
血液型 O型

会員数 55名

諸事業

- 7月21日 尼崎青年会議所設立懇談会開催
- 7月29日 第2回設立懇談会
- 8月10日 第3回設立懇談会
- 8月24日 尼崎青年会議所設立準備打合せ
- 9月4日 尼崎青年会議所創立総会
- 9月5日 尼崎青年会議所創立1周年記念並びに規範勤労青少年表彰式 第1回初例会開催
- 11月19日 尼崎市長を囲む会開催
- 12月6日 歳末助成運動の一環として尼崎学園へ本籍及び書籍を贈る(尼崎JC文庫の創設)
- 12月11日 昭和34年度忘年会開催



会員構成表

役員	委員会名				
	委員長	副委員長	委員		
理事長 樽谷清一	総務委員会	矢田	沢山 藤田	渡辺 浜田	大谷 川端
	財務委員会	浜田	松井	江崎	
監事 柳内・橋松	メンバーシップ委員会	澤井	名倉 小角	秋岡 江田	近藤 玉井
	事業委員会	深江	吉田 柴田	岩井 中井	日下 下坂
	LT委員会	市田	樽谷(博) 今西	中川 山村	樽岡 高岡
	広報委員会	田治	内藤	太田 庄本	橋本 栗原
	渉外委員会	谷坂	吉岡 指田	橋本 吉岡(尊)	岡棟 西村 妹尾 田島



1959 ~1969



懇親会プログラム
 1. 開会挨拶
 2. 祝辞 西田尼崎青年会議所
 3. 会興 司会 人見源
 A. お見送り 後藤十郎
 B. 音無コメディ 茶川一郎
 C. 声帯模写 世志凡木
 4. 福引 緒城三平
 5. 万歳三唱 加藤日本JC副会頭
 6. 若我等合唱
 7. 閉会の辞

1960

(昭和35年)



初代理事長

樽谷清一

生年月日 大正10年4月18日
血液型 O型

会員数 53名

諸事業

- 5月20日 尼崎青年会議所認許証伝達式
記念事業として玉江橋畔に時計塔を建立
尼崎JCニュース第一号発刊
- 6月17日 尼崎JC例会ニュース第一号発刊
- 8月6日 納涼家族会
- 9月5日 尼崎青年会議所創立1周年記念並びに規範勤労青少年表彰式
創立1周年記念事業として交通安全表示板の建立
- 9月16日 定款問題特別委員会設置
- 10月6日 日本JC近畿地区野球大会開催
- 10月10日 日本JC第8回全国会員大会に参加
故田治一雄君優秀会員として個人褒章受章す

- 10月21日 初代理事長寄贈「樽谷杯」争奪ゴルフコンペ開催
- 11月12日 『若き世代のための経営講座』開催
- 12月10日 昭和35年度忘年会開催



会員構成表

役員	委員会名				
	委員長	副委員長	委員		
理事長 樽谷清一	総務委員会	矢田	船越 藤田	浜田 大谷	松本 西村(光)
	財務委員会	松井	江崎	渡辺 梶本	
監事 植松・柳内・小角	メンバーシップ委員会	澤井	江田 小瀬(清) 玉井	古川 中川(敏)	近藤 名倉
	事業委員会	深江	日下(雅) 下坂 吉田	中井 田中(勝)	柴田 田中(英)
	LT委員会	市田	福本 小瀬(繁) 高岡	今西 中川(善)	池辺 樽岡
	広報委員会	樽谷(博)	有友 太田 辻本	森 斎田	内藤 庄本
	渉外委員会	谷坂	橋本 小倉 田島	加島 妹尾	西村(太) 指田
	経済活動委員会	沢山	川端	永安	
	調査委員会	松井(尊)	岡棟	吉岡	
	企業研究委員会	樽谷(博)	栗原	白井	山村

1961

(昭和36年)



第2代理事長

山岡宗一郎

生年月日 大正12年7月24日

血液型 A型

会員数 70名

- 諸事業**
- 1月20日 本月例会より会員による3分間スピーチが行われた
 - 2月21日 第1回工場見学会及懇談会
 - 3月11日 西宮、神戸、明石、尼崎4JC交歓会
 - 3月30日 道路標識設置
 - 4月6日 新定款委員会開催
 - 4月21日 尼崎在局の新聞記者招待懇談会開催
 - 石野近畿地区協議会長公式訪問
 - 4月23日 36年度春季家族会開催
 - 5月21日 尼崎学園へ世界伝達全集を寄贈
 - 日本JC近畿地区野球大会県下予選 対西宮戦を行う
 - 5月24日 第2回工場見学会開催
 - 6月3日 第9回日本JC近畿地区会員大会に参加
 - 樽谷清一君が1960年度優秀会員として褒章受章
 - 6月18日 日本JC近畿地区野球大会県下予選 対神戸戦を行う

- 7月11日 第3回商店見学会並に懇談会開催
- 8月26日 第2回「若き世代のための経営講座」開催
- 9月4日 尼崎青年会議所創立2周年記念式並びに模範勤労者青年表彰を行う
- 11月12日 秋季家族会歌舞伎座観劇
- 11月15日 第4回見学会開催
- 11月24日 文化施設見学会開催
- 昭和36年度忘年会開催



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員		
			谷坂	松井	加島
総務委員会	樽谷(博)	栗原 詠田	船越 利倉	吉岡	
財務委員会	浜田	梶本	有友		
メンバーシップ委員会	田島	渡辺 下坂	佐野	日下(実)	江田
			江隅	中川	沢山
			西村(光)	小倉	田中(勝)
			植松	古川	吉田
事業委員会	指田	斎田 日下(雅) 森	福本	田中(英)	安沢
			松本	小瀬(清)	中井
			大谷	中村	柴田
LT委員会	高岡	白井 山村	加島	妹尾	市田
			神戸		杉本
			橋本	近藤	小角
広報委員会	内藤	深江 庄本	岡棟	池辺	小瀬(繁)
			名倉	樽岡	

1963

(昭和38年)



第4代理事長

高岡誠三郎

生年月日

血液型

会員数 72名

- 諸事業**
- 1月12日 「市政並にJC事業」に関する座談会開催
 - 1月16日 昭和38年度総会、広報委員会が37年度優秀委員会受賞
 - 1月16日 キャンペラ問題特別委員会結成
 - 2月1日 第1回経済例会実施
 - 4月15日 JCIシンガポール会議に矢田、池辺両君参加
 - 4月20日 尼崎青年会議所並びに市政に関する対市民アンケート実施、その結果について、報告書を作成し、関係各方面に配布した
 - 6月4日 本年度中学卒業者激励大会を尼崎他5団体と協賛して開催
 - 6月7日 青少年不良化防止並に教育問題に関して市内各界代表者との懇談会を開催した
 - 6月15日 第11回日本JC近畿地区会員大会に参加 矢田宣光君優秀会員として褒章受章
 - 6月21日 尼崎JC入会者規定、出席規定が定められた
 - 6月30日 尼崎市身体障害者福祉センターに点字機を寄贈した
 - 7月1日 尼崎市内の水泳禁止河川に水難防止標柱を建てた
 - 7月19日 西宮JCとの合同例会開催、稲岡工門地区協議会長の公式訪問を受ける
 - 7月27日 伊丹青年会議所設立のため拡大委員会を結成

- 7月28日 第4回「若き世代のための経営講座」開催
- 9月3日 尼崎青年会議所創立4周年記念式並びにJCデー記念式典
- (1)尼崎市長を囲む懇談会「地域社会の問題について」
- (2)市内の模範警察官及び模範勤労青少年を表彰
- (3)尼崎市の「あこや学園」に鳩時計寄贈
- 9月20日 市内に勤務する勤労青少年との懇談会を開催
- 11月20日 京都古寺拝観と文化施設の見学会と家族会を併せて実施
- 12月28日 尼崎JC創立4周年記念事業として尼崎市立体育館前に時計塔を建立、これを尼崎市に寄贈した



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員		
			渡辺	今西	瀬良
総務委員会	市田	名倉	大谷	中井	山本
財務委員会	有友		深江	栗原	近藤
メンバーシップ委員会	吉田	西村	石原	船越	福留
			山村	庄本	森本
			松本	下坂	日下
事業委員会	佐野	森	井ノ口	堀江	寺井
			小瀬(繁)	川口	河村
			詠田	辻本	木場
LT委員会	柴田	池辺	利倉	萩原	
			谷坂	杉本	小倉
			柳内	妹尾	西田
広報委員会	福本	白井	庄	田中(勝)	太田
			神戸	林	山中
			田島	溝口	田中(英)
			伊吹	加島	嘉藤
			樽岡	佐藤	小寺

1962

(昭和37年)



第3代理事長

矢田宣光

生年月日 大正12年1月9日

血液型 AB型

会員数 65名

- 諸事業**
- 2月23日 陸上自衛隊第3師団千鶴屯部隊に生活体験として1日入隊
 - 2月25日 教育懇親会開催 尼崎市教育委員を招く
 - 2月27日 フランス美術展観賞並びに京都JC月例会訪問
 - 4月3日 JCI大阪会議開催される 当JCより参加者多数
 - 4月10日 神戸婦人同協会園田寮の子女を宝塚歌劇に招待
 - 5月22日 日本JCLT委員会主催ビジネスドラマに於いて当JCが第1幕を演じる
 - 6月9日 日本JC第10回近畿地区会員大会に参加
 - 山岡宗一郎君が本年度優秀会員として褒章受章
 - 7月6日 尼崎在局新聞記者との懇談会開催
 - 7月25日 第3回「若き世代のための経営講座」開催
 - 7月30日 吉本晴彦日本JC近畿地区協議会長の公式訪問を受ける
 - 8月1日 中華民国台南青年商会(台南JC)経営の育幼院にオルガン寄贈
 - 9月3日 尼崎青年会議所創立3周年記念式並びにJCデー記念式典
 - (1)市長を囲む会

- (2)黄色いママさんにレインコートの寄贈
- (3)模範勤労青少年の表彰
- 10月7日 池辺 孝君、総理府派遣青年海外視察団員に選ばれ渡米
- 10月19日 米国立生活体験学生を例会に招待
- 尼崎青年会議所運営規定の改正
- 10月26日 3周年回顧座談会開催
- 12月10日 昭和37年度忘年会開催
- 12月25日 3周年記念誌発行



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員		
			江田	今西	大谷
総務委員会	高岡	栗原	江田 名倉	佐野	
財務委員会	浜田		有友	深江	
事業委員会	小瀬(清)	内藤	堀江	妹尾	寺井
			柳内	森	市田
			橋本	石原	萩原
メンバーシップ委員会	西村	中川	日下(実)		
			詠田	川口	庄本
			伊吹	船越	指田
			辻本	福留	利倉
LT委員会	梶本	白井	白井	杉本	柴田
			池辺	神戸	吉田
			小倉	西村(光)	谷坂
広報委員会	福本	澤井	山村	日下(雅)	田島
			田中(英)	中井	田中(勝)
			近藤	小瀬(繁)	江隅
			下坂	溝口	

1964

(昭和39年)



第5代理事長

澤井昭三

生年月日 昭和3年2月15日

血液型 O型

会員数 84名

- 諸事業**
- 1月15日 尼崎市に協賛で成人式を行う
 - 1月17日 39年度定例総会開催
 - 山岡、矢田両君を名誉会員にする
 - 尚、山岡宗一郎君は、尼崎JC創立当時入会以来例会出席100%により優秀会員として特別表彰を受ける
 - 第1回第2例会実施 昨年度より毎月実施していた経済例会を月例会に格上げし以降毎月実施
 - 4月10日 尼崎JC創立5周年記念事業特別委員会を結成
 - 4月21日 JCの理解を深めることを目的として新入会員を囲む懇談会を開催
 - 5月17日 「働く青少年若人の集い」を開催、市内の勤労青少年を六甲山に招待、空想懇談会を開いた
 - 5月26日 尼崎JC歴代理事長による座談会開催 座談会の内容は5周年記念誌に収録
 - 6月6日 第12回日本JC近畿地区会員大会に参加 高岡誠三郎君優秀会員として褒章受章(尚、高岡君は9月26、27日岡山で開催された日本JC第13回全国会員大会で優秀会員として全国表彰を受賞した)
 - 6月15日 尼崎JC創立5周年記念事業として尼崎体育館前に「JC並木」を作った
 - 6月26日 工場見学会実施

- 7月1日 尼崎市立図書館にJC文庫を寄贈した
- 7月17日 献血運動の認識を深めるため会員の血液型検査実施
- 7月25日 第5回「若き世代のための経営講座」開催
- 9月4日 尼崎JC創立5周年記念式典並びにJCデー行事
- (1)市長を囲む会「公共精神高揚運動推進について」
- (2)5周年記念式典
- (3)記念事業披露
- (4)祝賀パーティ
- 尼崎JC5周年記念誌発行



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員		
			田島	西村(太)	小倉
総務委員会	名倉	中井 有友	田中(勝)	山本	木場
奉仕委員会	池辺	佐野	森	松山	鈴木
			中山		
			内藤	小瀬	妹尾
広報委員会	白井	福本	堀江	倉田	堀江
			井ノ口	岡村	西田
			飯上	後藤	浜口
広報委員会	白井	福本	荒木	神戸	田中(英)
			杉本	加島	利倉
			溝口	嘉藤	近藤
会員委員会	中川	中村	高部	佐野	小林
			橋村	小寺	中作
			成本	船越	石原
修練委員会	大谷	柴田	今西	川口	辻本
			下坂	森本	青木
			西村(繁)	中井	高志
			石角		
			庄	福留	伊吹
			詠田	瀬良	瀬良
			谷坂	柳内	山中
			藤原	安田	寺岡
			高橋	田中(弘)	萩原

1965

(昭和40年)



第6代理事長

市田 順彦

生年月日 大正14年11月23日
血液型 A型

会員数 94名

- 諸事業**
- 1月19日 昭和40年度定時総会開催 国際交流の機会が多くなったため、国際関係委員会を新たに設置
 - 3月16日 台南JCと姉妹提携調印のため訪使使節団の結成
 - 4月25日 台南・岡山・尼崎 3 JC姉妹提携調印
 - 5月24日 鳥越兵庫ブロック会長の公式訪問を受ける
 - 5月27日 「市長を囲む懇談会」を開催
 - 6月23日 「話し方教室」開講 全15回 講師NHK山上ふち子氏
 - 7月17日 第6回「若き世代のための経営セミナー」開催 講師 高島 隆氏 「勤労青少年若人の集い」実施
 - 8月20日 納涼家族例会
 - 9月4日 JC創立6周年記念式典挙行 フラワーベースを市に寄贈

「市長と市政について語る会」開催
伊丹JCと広域行政(3市1町合併問題)について懇談会を開催
神戸婦人同協会「子供の家」の孤児55名を招待
天ヶ瀬ダム・伏見桃山城等の見学エクスカッション実施
台南JCより訪問を受ける



会員構成表

直前理事長 澤井昭三	副理事長 市田順彦	副理事長 吉田 豊	委員会名					
			委員長	副委員長	委員			
理事長 市田順彦	副理事長 吉田 豊	副理事長 深江 守	総務委員会	西村(太)	木場 田嶋	後藤 小瀬(繁) 沢井(真)	有友 合志(至) 丸山	下坂 橋村
			広報委員会	溝口	堀江	青木 小林 田中(英)	嶋部 中山	小寺 杉本
			国際関係委員会	谷坂	柳内	船越 妹尾 児玉	山本(治) 岡田(好)	近藤 利倉
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	会員委員会	中村	詠田	萩原 庄本 石角	岡村(睦) 中田(英) 辻本	稲留 鈴木 深江(秀)
			LT委員会	名倉	白井	江田 田中(勝) 伊藤	斎藤 中作 前田	加島 瀬良
			経済活動委員会	大谷	渡辺	藤原 安田 松本	田中(弘) 川口 磯田	伊吹 徳山 庄
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	教育青少年委員会	倉田	中井	今西 千野 西垣	佐野 西村(薫) 池上	井ノ口 竹瀬 伊藤(俊)
			社会福祉委員会	池辺	石原	荒木 山中 高橋 寺岡	寺井 西田 阪上 岡田(利)	荒木 浜口 小倉

1967

(昭和42年)



第8代理事長

内藤 尚武

生年月日 昭和4年5月5日
血液型 O型

会員数 104名

- 諸事業**
- 1月20日 昭和42年度定時総会開催 運営規定の一部改正
 - 1月26日 企業経営管理研究会開催
 - 3月17日 竹田兵庫ブロック会長の公式訪問を受ける
 - 4月25日 台南・岡山・尼崎 3 JC姉妹提携2周年記念例会 交通安全モニター制度の発足
 - 5月19日 尼崎市内4警察署長を囲みモニター発足式を開催
 - 6月4日 第15回近畿地区会員主管 成功裡に終わる
 - 6月22日 台南・岡山・尼崎の観光と物産展開催
 - 6月22日 次年度役員選出のための方法が改められ選挙管理委員会発足
 - 8月1日 尼崎市いこいの家にて野外用ステレオ寄贈
 - 8月5日 「第8回若き世代のためのセミナー」開催
 - 8月17日 早朝例会 ラジオ体操
 - 8月18日 川西JC設立準備を指導
 - 9月2日 尼崎JC設立8周年記念式典を挙行

9月4日 選挙制度による最初の役員選出が行われた
10月1日 家族旅行会開催
10月14日 新入会員を囲む懇談会開催 OBらによるティーチン
10月18日 川西JC創立総会を指導
10月19日 尼崎市教育長大家又司氏を囲んで教育懇談会を開催
11月19日 勤労青少年「若人の集い」開催



会員構成表

直前理事長 吉田 豊	副理事長 内藤尚武	副理事長 柳内 宏規	委員会名					
			委員長	副委員長	委員			
理事長 内藤尚武	副理事長 柳内 宏規	副理事長 名倉 照宗	総務委員会	深江(守)	小林 柴田 児玉	木場 岡村(寿) 大野 利倉	浜口 庄 加島	入谷 荒木 小倉
			会員委員会	渡辺	倉田	山本(正) 小倉 高橋	深江(秀) 岡村(睦) 辻本(介) 石角	河越 橋村 白石 藤原
			LT委員会	谷坂	竹瀬	宇津呂 中山 沢井(真)	瀬良 岡田(利) 近藤	今井 西田 藤原
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	経済活動委員会	伊吹	松本	田中(弘) 稲留 井木(榮)	磯田 稲留 青木	下坂 山本(治) 中井(益) 田中(勝)
			広報委員会	溝口	中村	小寺 高橋	丸山 青木	中井(益) 田中(勝)
			国際関係委員会	石原	山中	中作 堀江 池辺	中田(耕) 中井(重)	安田 谷口 野間
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	社会福祉委員会	日下	伊藤	前田 江田 白井	辻本(正) 萩原 川口	寺本 寺井 船越
			教育青少年委員会	阪上	中田(英)	白井 妹尾 森本	後藤 川口 加藤	庄 船越
			交通公害委員会	鈴木	福本	千野 池上 西村 日下	伊吹 竹瀬	溝口 渡辺
川西JC拡大委員会			沢井	福本	池上 西村 日下	伊吹 竹瀬	溝口 渡辺	

1966

(昭和41年)



第7代理事長

吉田 豊

生年月日 昭和2年6月4日
血液型 AB型

会員数 87名

- 諸事業**
- 1月20日 昭和41年度定時総会開催 運営規定の一部改正
 - 2月1日 今月より例会出席奨励のため、連続4回出席者に記念品を贈る
 - 3月18日 韓国JCデーに10名参加、韓国JC会頭にメッセージと記念品を届ける
 - 4月15日 台南JC第1回公式訪問を受ける
 - 4月25日 台南JCとの姉妹提携に基づく経済交流会議の事業として台南物産展開催
 - 5月18日 台南・岡山・尼崎 3 JC姉妹提携1周年記念例会
 - 5月22日 JCI香港会議に4名参加
 - 6月5日 第14回近畿地区会員大会に於いて次回会員大会主管の立候補
 - 8月13日 第7回「若き世代のための経営セミナー」開催
 - 9月3日 JCデー「市長を囲む懇談会」開催
尼崎JC創立7周年記念式典挙行

9月24日 国際経済商学生協会西独学生来日 歓迎レセプション開催
10月1日 JC新入会員のために新入会員標準訓練テキスト作成
10月21日 メンバーによる討論会開催 テーマ「JCとは何か」
11月1日 韓国製唾学団慈善演奏会を後援



会員構成表

直前理事長 市田順彦	副理事長 市田順彦	副理事長 中村文昭	委員会名					
			委員長	副委員長	委員			
理事長 吉田 豊	副理事長 中村文昭	副理事長 谷坂誠多郎	総務委員会	深江(守)	西村(太) 鈴木 小林	中山 沢井(真) 小倉	利倉 小寺	柴田 船越
			会員委員会	渡辺	倉田	山本 加島 岡村	谷口 石角 深江(秀)	辻本 竹瀬 児玉
			LT委員会	伊吹	中作	高田 橋村	池辺 徳山	森本 安田
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	国際関係委員会	柳内	萩原	原田(好) 近藤 下坂	西田 山中 小瀬	妹尾 庄
			経済活動委員会	石原	田中(勝)	高橋 田中(弘)	磯田 藤原	福本 中井
			経済活動委員会	名倉	松本	稲留 佐野	池辺 川口	伊藤 岡田(利)
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	教育青少年委員会	木場	有友	合志(至) 寺井 庄本	田中(英) 寺岡 中田	荒木 前田
			社会福祉委員会	日下	阪上	白井 丸山 青木	佐藤 浜口 溝口	堀江 満口
			広報委員会	江田	後藤	白井 丸山 青木	佐藤 浜口 溝口	堀江 満口

1968

(昭和43年)



第9代理事長

渡辺 和治

生年月日 昭和4年12月8日
血液型 A型

会員数 104名

- 諸事業**
- 1月9日 昭和43年度定時総会開催 運営規定の一部改正
 - 3月19日 国際交流、広報委員会を優秀委員会として表彰
 - 4月25日 三田にJC設立の気運あり、設立準備のため三田市側と接衝はじまる
 - 5月23日 台南・岡山・尼崎 3 JC姉妹提携記念例会
 - 5月23日 メッセージ交換、国際電話
 - 5月23日 勤労青少年「若い芽のつどい」に協賛
 - 5月12日 春の交通安全運動 街頭補導を実施
 - 5月24日 次年度役員選出のための選挙管理委員会発足
 - 8月18日 台南JCへ「剣道具一式」贈呈 台南より児童5名来日
 - 8月19日 JCデー行事「教育に関する懇談会」開催
 - 8月24日 「第9回若き世代のための経営セミナー」開催
 - 9月3日 献血運動に協力 協力者27名
創立9周年記念式典挙行

三田JC創立総会の準備指導
10月2日 身体障害者施設なくさ学園に聖観音立像を寄贈入魂式
10月13日 三田JC創立総会開催 これを指導
11月9日 家族会(道後温泉一泊旅行)
12月1日 勤労青少年若人の集い開催



会員構成表

直前理事長 内藤尚武	副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	委員会名					
			委員長	副委員長	委員			
理事長 渡辺和治	副理事長 深江 守	副理事長 名倉 照宗	総務委員会	福本	西村 阪上	青木 麗原 荒木 河越	浜瀬 西田 瀬良	入谷 次井(真) 小寺
			教育青少年委員会	中田	中村	江田 大野 寺井	橋村 白井 東浦	小倉 白石
			社会福祉委員会	山中	下坂	高田 寺井	池辺 東浦	小倉 白石
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	LD委員会	溝口	児玉	船越 本森 野間	福留 岡田(女子) 豊井	合志 高橋
			広報委員会	池上	木場	藤田 湯池 小倉	岡田(利) 岡田(利)	丸山
			経済活動委員会	松本	庄	石角 小倉	後藤 田中(弘)	中井(益) 田中(勝)
副理事長 内藤尚武	副理事長 深江 守	副理事長 西村 太一	会員委員会	倉田	竹瀬	堀江 加島 利倉 山本(正)	深江(秀) 中井(重) 岡村(睦) 山本(治)	今井 岡村(睦) 辻本(介) 安田
			国際関係委員会	柴田	千野	井木 藤原 中山	藤岡 岡村(寿) 辻本(正)	川口 田中(勝)
			交通公害委員会	石原	日下	藤原 中山 徳山	伊藤 辻本(正)	前田 宇津呂
特別委員会			澤井(昭)	福本	池上 深江(守) 下坂	伊吹 竹瀬	溝口 渡辺	
三田JC拡大委員会			福本	澤井	池上 深江(守) 下坂	伊吹 竹瀬	溝口 渡辺	

1969

(昭和44年)



第10代理事長

深江 守

生年月日 昭和7年9月8日

血液型 AB型

会員数 105名

諸事業

- 1月17日 昭和44年度定時総会開催 運営規定の一部改正
 - 運営規定、役員選出規定の一部改正
 - 社会開発計画を本年度の最重要事業並びに10周年記念事業として取組むことに決定
- 2月4日 10周年記念式典準備委員会設置
- 4月4日 木津兵庫ブロック会長の公式訪問を受ける
- 4月25日 台南、岡山、尼崎3JC姉妹JC提携記念例会開催
- 5月11日 三田JC認許式にスポンサーJCとして参加 これを指導CD計画(青空への提言)アンケート実施
- 5月25日 青少年との懇談会「定時制高校生と語る」を開催
- 6月14日 「日本の安全と防衛」について各党の主張を聞く会開催
- 7月13日 家族観劇会を開催

- 8月1日 次年度役員選出のため選挙管理委員会(委員長 寺本貴志君)設置
- 8月25日 次年度役員決まる
- 9月5日 中学・高校生作文募集 入選作品の発表並に入選者表彰
- 9月7日 兵庫ブロック合同例会に参加
- 9月28日 尼崎青年会議所10周年記念式典並に記念事業発表



会員構成表

役職	氏名	委員会名					
		委員長	副委員長	委員			
直前理事長 渡辺和治	副理事長 柴田英輔	総務委員会	伊吹	千野 児玉	田中(弘) 岡村(謙)	小倉 白下	馬場 高上
		指導力開発委員会	松本	竹瀬 深江(秀)	松山 船橋	木下 木場	濱口
理事長 深江 守	副理事長 倉田治二	会員委員会	中田(英)	下坂 山本(正)	岡田(利) 藤岡	岡村(隆) 福原	東浦 高橋
		社会開発委員会	石原	庄 小谷	藤岡 利倉	前田 石角	加藤
監事 谷坂誠多朗 青木博司 瀬良之敏	副理事長 福本憲男	広報委員会	溝口	後藤 白石	徳田 萩原	大野 今井	徳山 岡田(好)
		青少年問題委員会	山中	合志 玉川	野間 豊井	伊藤(俊) 中井(康)	西山 広瀬
特別委員会		内藤		河越 谷口	中山 堀江	小川 宇津呂	
三田JC拡大委員会		福本	柴田 倉田	溝口 竹瀬	伊吹 伊藤(俊)	竹内 児玉	



1970 ～1979

10周年記念事業 〈青空への提言〉



ふたたび青空をとりもどすために



1970

(昭和45年)



第11代理事長
谷坂誠多朗

生年月日 昭和7年4月22日
血液型 A型

会員数 85名

- 諸事業**
- 1月22日 昭和45年度定時総会開催 運営規定、出席規定の一部改正
 - 3月6日 兵庫ブロック 会長、役員の公式訪問
 - 4月25日 台南、岡山、尼崎3JC姉妹提携5周年記念例会
 - 5月1日 7代目理事長 内藤尚武氏講演『公書と疾病について』
 - 5月14日 阪神6JC合同例会
 - 5月22日 万博例会 尼崎市少年音楽隊のたそがれコンサートを開催
 - 5月25日 教育に関する懇談会開催
 - 9月6日 第3回兵庫ブロック合同例会、席上最優秀重点事業推進事・青少年開発賞受賞

- 9月26日 第11回若き世代のためのセミナー開催
- 9月27日 市内の大気汚染の調査及び化学分析、疾病との関連性をデータにより調査
- 12月12日 「明日を拓く教育を語ろう」の小冊子2,000部発行
チャリティー忘年会開催 純益金は母母さんに贈られた



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員				
			青少年問題委員会	下坂	玉川 深江	広瀬 小川	豊井 山本
直前理事長 深江 守	副理事長 松本 慎之	総務委員会	徳山	池田	萩原	稲留	
			加藤	松田	村田	前田	
理事長 谷坂誠多朗	副理事長 石原 一興	社会開発委員会	藤岡	浜口	入谷	森	
			松山	中井	松本	沢井	
監事 福本 憲 男 倉田 治 二 柴田 英 輔	副理事長 溝口 貴夫	指導力開発委員会	東浦	渡辺	西山	森本	
			浦池	馬場園	日下	森本	
		総務委員会	吉田	宇仁	岡崎	磯田	
			江田	中作	福田		
		広報委員会	伊吹	後藤	穂積	宇津呂	
			久保	河越	西村	小倉	
			高橋	谷口	竹内		
			伊藤	原田	木場	丸山	
			岡村	瀬戸口	堀江	山口	
			今井				

1972

(昭和47年)



第13代理事長
石原 一興

生年月日 昭和9年7月9日
血液型 B型

会員数 86名

- 諸事業**
- 1月8日 市長年頭記者会見で、4月から「青空の日」制定を発表
 - 1月21日 定時総会開催
 - 2月4日 臨時総会 財務関係の件
 - 2月22日 小野日本JC会頭を囲む対話集会
 - 4月7日 青空の日制定記念例会開催、清浦東京工大教授の講演会
 - 4月8日 第1回「青空の日」青空を願う像を建立寄贈した
 - 4月25日 台南、岡山、尼崎JC姉妹提携記念例会開催
 - 7月7日 三浦地区協会長、伊吹兵庫ブロック協議会会長公式訪問例会
社団法人格取得、社団法人尼崎青年会議所となる
 - 7月22日・23日 第13代若き世代のためのセミナー開催
 - 8月4日・5日 兵庫ブロック会員家族大会、SL、JC号で参加

- 8月18日 市長、市幹部を囲む懇談会開催
- 9月22日 臨時総会開催、社団法人尼崎青年会議所、理事承認の件
- 10月8日 第1回市民まつりに協賛 青空みこして市内パレード
尼崎JC、青空運動の4年間をまとめJC褒賞申請
- 12月9日 12月臨時総会、会員家族忘年会開催



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			伊吹	河越	後藤	下坂
直前理事長 柴田 英 輔	副理事長 千野 邦 幸	総務委員会	福富	浜口 沢井	西山 森	竹内 岡崎
			伊藤	井木	金谷 中条	満口 中田
理事長 石原 一興	副理事長 竹瀬元 記	青少年開発委員会	浦池	福田	三宅 別府	山崎 橋谷
			幸寺 入谷	瀬戸口 丸山	丸山 森田	
監事 谷坂誠多朗 深江 守 松本 慎之	副理事長 山本 正 法	広報委員会	合志	金本	西谷 池田	渡辺 中井
			服部		大西 穂積	吉田 松本
		社会開発委員会	野間	今井	辻本 小谷	黒崎 深江
			東浦	児玉	中作	広瀬
		会員開発委員会	久保	村田 宇仁	後藤 小寺	磯田 吉田
			萩原	森	辻本	田中
特別委員会			深江			

1971

(昭和46年)



第12代理事長
柴田 英 輔

生年月日 昭和7年4月9日
血液型 O型

会員数 93名

- 諸事業**
- 1月23日 昭和46年度定時総会開催 定款、運営規定の一部改訂 褒賞規定、慶弔内規新設
 - 3月26日 台南児童交歓派遣団出発
 - 4月16日 台南、岡山、尼崎JC姉妹提携記念例会開催
 - 4月18日 近畿地区大会において『空との対話』発表
 - 5月5日 市内のちびっこ1,500人とJCの大運動会を開催
 - 5月9日 兵庫ブロック環境問題シンポジウム主管
 - 6月4日 兵庫ブロック協議会・山田会長公式訪問
 - 6月7日 JCプラザ樹木交換植樹会
 - 7月2日 臨時総会開催 社団法人設立発起人を選任
 - 7月17日・18日 第12回若き世代のためのセミナー開催

- 8月20日 前田・日本JC社会開発委員長の講演会、懇談会を開催
- 9月10日 JCデー行事、明日の尼崎を築く市民の集い、開催
- 10月17日 日本JC社会開発推進優秀賞、授与される
- 10月22日 定時総会 社団法人設立申請書類の件
- 12月4日 会員家族忘年会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			小川	西村	福田	三宅
直前理事長 谷坂誠多朗	副理事長 松本 慎之	総務委員会	千野	井木 合志 浦池	松野	磯田
			徳山	玉川	村田	前田
理事長 柴田 英 輔	副理事長 石原 一興	社会開発委員会	野間	松山 辻本	岡崎	東浦
			伊藤	岡村	高橋	木場
監事 福本 憲 男 中田 英 一 深江 守	副理事長 山本 正 法	青少年問題委員会	竹瀬	久保	瀬戸口	久沢
			加藤	中山	渡辺	小寺
		会員開発委員会	福富	田中 深江 今井	豊井	大西
			倉田	西谷	森	入谷
		広報委員会	満口	竹内	伊吹	石原
			満口 松山	福本 合志	山本 下坂	松本 野間
褒賞委員会			浦池	満口 松山	福本 合志	山本 下坂

1973

(昭和48年)



第14代理事長
下坂 富 治

生年月日 昭和8年6月25日
血液型 AB型

会員数 97名

- 諸事業**
- 1月8日 青空の日(毎月8日)記念、新春ちびっこタコ上げ大会開催
 - 1月19日 定時総会
 - 3月2日 島田兵庫ブロック協議会会長、役員の公式訪問
 - 4月1日～5日 第2回台南JC児童訪問団を派遣
 - 4月8日 「青空の日」制定1周年、記念植樹と若者青空討論会開催
 - 4月25日 台南、岡山、尼崎JC姉妹提携記念例会
 - 6月23日 第14回若き世代のためのセミナー開催
 - 7月17日 交通講習会を開催、門田警視、市内四署交通課長と懇談
 - 7月25日～27日 『少年船の旅』市内の子供達450名が参加、船上セミナーなど開催

- 9月7日 定時総会開催、次年度役員を決定
- 9月15日 兵庫ブロック会員大会、重点事業推進賞(青少年開発部門)を受賞
- 10月22日 全国会員大会(宝塚主管)に副主管として協力
- 11月2日 市長、市幹部を囲む懇談会開催
- 12月6日 会員家族忘年会開催



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			金谷	三金	中村	喜多
直前理事長 石原 一興	副理事長 山本 正 法	指導力開発委員会	村田	森	松野 別府	磯田 藤田
			宇仁	今井 中田	木村 籠野	大島 馬瀬
理事長 下坂 富 治	副理事長 野間 修	社会開発委員会	松山	馬場園 穂積	大西 西村	中尾 馬瀬
			松山	西谷	池田	福田
監事 浦池 祥 肇 合志 隆 久	専務理事 後藤 治 司	総務委員会	千野	浜口	松田	加藤
			高木 美馬	岡村	西谷	中作
		青少年開発委員会	中条	森 三宅	神野 森田	安田 岡本
			森 三宅	西村	山崎 中井	幸寺 高橋
		広報委員会	金本	西山	和田	橋谷
			金本	西山	梅田	橋谷
特別事業委員会			竹瀬			

1974

(昭和49年)



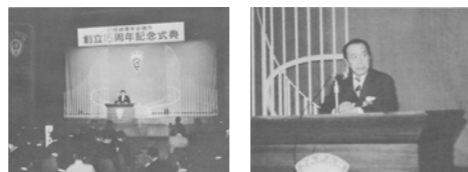
第15代理事長
山本 正法

生年月日 昭和10年11月9日
血液型 A型

会員数 110名

- 諸事業**
- 1月21日 定例総会
 - 1月28日 市長を囲む昼食会
 - 2月8日 定例理事会
 - 2月22日 15周年記念事業実行委員会、実施要領など決定
 - 3月15日 兵庫ブロック公式訪問
 - 4月29日 15周年記念家族大会
 - 5月28日 青少年雇用事業主と勤労青少年を語る会を開催
 - 6月8日 第15回若き世代のためのセミナー開催 講師に岡庭 博氏、城山三郎氏
 - 7月21日～24日 洋上セミナーに参加

- 7月26日 植木市、夜店を開催
- 9月8日 15周年記念式典
- 9月12日 老人招待の浪曲大会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			新田	神野	大矢	西浜
総務委員会	金本	松山	木茂	安田	中尾	加藤
			松野	小塚	池田	松山
財務委員会	小谷	穂積	浜口	辻本		
会員委員会	中田	今井	喜多	沢井	児玉	馬淵
			高木	大西	大島	田和
社会開発委員会	森	河越	吉村	深江	東浦	
			押谷	森田	高丸	中村
経営開発委員会	村田	松田	武井	伊良原	松岡	泉原
			田中	岡村	入谷	
広報委員会	西山	服部	中北	別府	幸寺	浜本
			井木	山崎	比屋根	美馬
指導力委員会	千野	馬場園	磯田	大久保	室井	梅田
			山本	福垣	掛井	金谷
青少年委員会	三宅	吉田	橋谷	掛井	金谷	後藤
			合志	福田		
15周年実行委員会	後藤	石原	広瀬	竹内	遠山	小田
			西村	中作	西谷	松本
			中井	中川		
			浜田	三金	岡本	木村
			西本	森	辻本	黒崎
			藤田	吉田		

1976

(昭和51年)



第17代理事長
金本 章

生年月日 昭和13年3月7日
血液型 B型

会員数 141名

スローガン》 明日のJCと企業を考え 目的意識と実践を!

- 諸事業**
- 1月23日 第16回卒業生を送る夕べ、定時総会
 - 3月29日 親と子の交通安全教室
 - 4月5日 めりえ・はりえ各1,000円寄贈
 - 4月6日 うさちゃんフッペン配布 春の交通安全週間
 - 5月20日 シティハイキングコース標示板設置
 - 5月21日 公式訪問例会・田口日本JC会旗を囲む懇談会
 - 5月22日 LD道場開催
 - 5月30日 家族親睦イチゴ狩り
 - 6月12日 第17回「若き世代の為のセミナー」メインテーマ「心」講師牧野 茂氏、合田雄次氏
 - 7月1日 JCルームオープン式典
 - 7月10日 第2回居酒屋の青春J法トレーニング
 - 8月7日・8日 第3回夏休み大作戦 ふるさとのこども祭り
 - 8月21日 家族親睦ソフトボール大会
 - 9月17日 臨時総会、家族忘年例会
 - 12月11日

- 1月7日 税務懇談会
- 2月18日 税務勉強会
- 3月4日 尼崎市四警察署懇談会開催
- 3月31日 3JC親睦マージャン大会
- 3月20日 くすのき賞受賞
- 6月16日 税務勉強会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			橋谷	森田	石井	室井
総務委員会	橋谷	中川	野口	古川	田村	金谷
			別府	掛井	薬田	小寺
財務委員会	森	押谷	中村	地頭	岡本(正)	太田
			吉田	西村	三宅	中井
広報委員会	服部	吉田	福田	赤部	三宅	大沢
			橋本	藤川	赤名	中井
社会開発委員会	大西	武井	松山	高丸	安田	辻本
			比屋根	加藤	石尾	田中
青少年開発委員会	今井	遠山	福井	山崎	広瀬	大島
			竹内	西谷	中田	小中村
指導力開発委員会	大矢	木村	入谷	西本	左尾	菅部
			後藤	橋本	西谷	松田
経営開発委員会	森	梅田	藤田	高木	西谷	山崎
			松岡	藤本	藤本	山崎
会員開発委員会	深江	神野	三宅	浜田	山本	喜多
			小田	沢井	穴瀬	田口
アカデミー委員会	河越	岡本(圭)	中井	中井	北村	谷川
			中村	高木	松本	児玉
専務理事	馬場園浩三	定款研究室	藤田	高木	福田	吉村
			西村	出口	長手	木村
			松野	高木	松本	児玉
			西村	福田	長手	吉村
			西村	高木	松本	児玉
			中北	後藤	沢井	幸寺
			木茂	後藤	沢井	井木
			大西	樹村	中井	江連
			浦池	竹瀬	太久保	住谷
			西本	久保		
			木茂	吉川		

1975

(昭和50年)



第16代理事長
野間 修

生年月日 昭和14年7月24日
血液型 O型

会員数 135名

- 諸事業**
- 1月13日 警察四署懇談会
 - 1月18日 定時総会
 - 1月18日 卒業生を送る夕べ
 - 3月4日 兵フ交通安全モニター委嘱状伝達式に全員登録
 - 3月25日 交通安全教材を寄贈
 - 4月16日 自転車安全運転講習会
 - 4月26日 警察四署懇談会
 - 5月8日 シスターJC姉妹提携10周年記念式典に参加
 - 6月14日 第16回若き世代の為のセミナー開催 講師藤本義一氏、翁谷正造氏
 - 7月21日 親と子の交通安全教室開催
 - 8月23日 尼崎JC家族親睦旅行

- 9月19日 定時総会
- 10月4日 尼崎市民まつりに参加
- 10月16日 JCチャリティバザール実施
- 12月4日 尼崎市交通安全課へ交通教材進呈
- 12月6日 臨時総会 家族忘年例会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			高木	穴瀬	大島	石井
財務委員会	小谷	押谷	三金	福岡	辻本	西谷
			吉川	加藤	木茂	池田
総務委員会	三宅	服部	田村	大久保	安田	掛井
			井木	小田	沢井	森
青少年開発委員会	森	神野	森田	高丸	笠川	浜田
			福田	泉原	山崎	中尾
広報委員会	馬場園	梅田	馬淵	松野		
			福垣	室井	余部	遠山
会員開発委員会	吉田	河越	中井	吉田	竹内	後藤
			松本	児玉	東浦	浜本
シスターJC事業委員会	千野		橋谷	西本	野口	岡本
			松山	吉村	喜多	
指導力開発委員会	合志	大矢	田口	橋谷	新田	太田
			黒崎	中村	金谷	松田
社会開発委員会	今井	大西	浜口	西村		
			竹内	中田	広瀬	入谷
アカデミー委員会	竹瀬	松山	松岡	西浜	木村	田和
			住谷	岡村		
			山本	幸寺	中川	中北
			深江	子守	別府	
			藤田	磯田		

1977

(昭和52年)



第18代理事長
鴻池 祥肇

生年月日 昭和15年11月28日
血液型 B型

会員数 132名

スローガン》 琢こう未完の器 養おう豊かな人格

- 諸事業**
- 1月20日 税務懇談会
 - 1月22日 定時総会、卒業生を送る夕べ開催
 - 1月24日 第1回OBとの経営勉強会、税務勉強会
 - 2月14日 第2回OBとの経営勉強会
 - 3月14日 第3回OBとの経営勉強会
 - 3月19日・20日 「円熟した指導者への道」
 - 3月27日 市内史跡勉強会
 - 4月16日・17日 「円熟した指導者への道」
 - 4月18日 第4回OBとの経営勉強会
 - 4月21日 クリーンキャンペーン標示板埋込
 - 5月14日・15日 「円熟した指導者への道」
 - 5月20日 兵フ公式訪問例会
 - 5月22日 家族運動会 テーマ「心に空をを」
 - 6月26日 第18回「若き世代のためのセミナー」
 - 7月19日 四警察署懇談会

- 7月23日 第4回ふるさとのこども祭り開催
- 9月3日 「円熟した指導者への道」
- 9月16日 定時総会
- 10月8日・9日 第6回尼崎市民まつりに参加
- 12月10日 臨時総会、卒業生を送る夕べ式典
- 12月26日 会員より募金の11万円を交通安全課に寄贈案
- 2月19日 「円熟した指導者への道」開催



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員			
			大沢	谷川	宮崎	辻本
交通問題委員会	泉原	澤井	長手	中村	西谷	松本
			出口	大島	石尾	森田
教育青少年問題委員会	岡村	岡本(圭)	小中村	野崎	太田	小田
			榎原			
政治問題委員会	西村	橋本	西浜	山崎	小寺	中井
			藤田	比屋根		
経営開発委員会	広瀬	濱本	山本	中村	大矢	北村
			村田	藤川	大久保	加藤
社会開発委員会	安田	高丸	金谷	熊谷川	中尾	中井
			吉村	菅原	東浦	磯田
指導力開発委員会	木村	岡本(正)	安藤	東海	松岡	八木
			大島	中家	中家	馬淵
拡大委員会	森	中田	橋谷	石井	三宅	穴瀬
			西本	松田	子守	原
親睦委員会	久保	室井	吉村	高木	高木	笠川
			別府	岡本	高木	山崎
例会委員会	中川	樹村	左尾	西本	松野	菅部
			幸寺	中村	江連	後藤
広報委員会	福垣	田村	吉田	三宅	中村	柴田
			野口	中北	河野	加藤
財務委員会	入谷	地頭	中北	丸山	坂尾	
			押谷	吉田	掛井	松岡
総務委員会	大久保	遠山	古川	木村	持隆	
			住谷	福井	福住	
渉外委員会	竹内		福井	西中	馬場園	
			余部	今井		
特別企画室	村田 守	アドバイザグループ	松山			

1978

(昭和53年)



第19代理事長
松山 昇
生年月日 昭和15年1月3日
血液型 A型
会員数 144名

スローガン》 持とう厳しい自覚 培おう豊かな心

諸事業

- 1月10日 1月定時総会
- 1月23日 市長を囲む昼食会 京都会議に参加
- 3月21日 近隣3JC合同親睦大会
- 3月26日 指導力研修会 「明日のJC」
- 4月16日 親睦セミナー「遊ぶ豊かな心」中村メロウ対 対談「あすを拓く」新
- 4月21日 臨時総会
- 5月19日 公式訪問例会 麻生会頭をむかえて
- 6月27日 税務懇談会開催
- 6月28日 四審懇談会開催
- 7月19日 台南JC20周年記念式典に17名参加
- 7月23日 第3回近畿地区評議会・経営開発シンポジウムに参加
- 7月27日 家族親睦野外例会
- 8月5日 第5回夏休み大作戦 ふるさとの子供祭り開催 7万人の出入

- 8月23日 アドベンチャーサイクリング開催
- 9月14日 定時総会
- 9月28日 鴻池祥肇日本JC副会頭に内定 励ます会開催
- 10月7日 対外誌「あすを拓く」発行
- 12月2日 臨時総会 家族忘年例会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員	
総務委員会	森 山本	吉田	子守 別府	増井
財務委員会	地頭	吉田	押井 中村	太田
広報委員会	田村	柴田	西本 石井	中村
例会委員会	住谷	村田	余部 吉田	富田 村上
親睦委員会	泉原	福井	福住 掛井	油田 瀧本
拡大委員会	野間	出口	曾根 中北	穴瀬 藤川
指導力開発委員会	松岡	磯田	山崎 松山	西村 大島
社会開発委員会	福垣	大久保	藤本 田口	馬場 北村
経営開発委員会	安田	加藤	藤本 吉田	藤田 神山
政治問題委員会	澤井	遠山	松田 小寺	持増 神山
教育青少年問題委員会	橋本	煤泉	中井 川口	吉井 三金
交通問題委員会	久保	高丸	左尾 江連	野口 西本
事務局	岡本(正)	東海	高崎 清水	丸山 杉本
渉外委員会			小寺 高山	森本 杉本
アドバイザーグループ			吉村 馬淵	長手 松野
			鎌田 大澤	田中 中藤
			吉川 近藤	吉村 森田
			小中村 松岡	高崎 西中
			後藤 中井	原 広瀬
			佐野 田中	藤井
専務理事	中川 量博		岡本(圭)	岩間 八木
特別企画室	竹瀬 元紀		長谷川 加藤	太久保 中田
			武井	木村 樽谷
			鴻池 余部	木村 竹瀬
			西中 八木	中北 加藤
			武井	室井



創立30周年記念式典

1980 ~1989

1979

(昭和54年)



第20代理事長
竹瀬 元紀
生年月日 昭和16年1月6日
血液型 B型
会員数 150名

スローガン》 21世紀への挑戦 結集しよう勇氣と情熱

諸事業

- 1月12日 卒業生を送る夕べ
- 3月17日 20周年記念事業「なかよし桜を植える式」
- 5月8日 税務懇談会開催
- 5月18日 兵庫ブロック公式訪問例会開催
- 5月23日 尼崎四署と交通問題を語る
- 6月24日 第20回社団法人尼崎青年会議所セミナー開催
- 8月5日 家族親睦大会開催
- 9月2日 創立20周年記念式典開催 1979年度9月度定時総会開催
- 9月23日 第12回兵庫ブロック会員大会開催
- 10月1日 尼崎JC「団体優勝」兵庫ブロック親睦ゴルフ大会

- 10月3日~8日 全国会員大会、1980年鴻池会頭承認される
- 10月19日 夫人同伴例会
- 12月8日 家族忘年例会



会員構成表

委員会名	委員長	副委員長	委員	
総務委員会	田村	村田(昇)	多田 峰松	加藤 根木
財務委員会	地頭	中村(孝)	曾根 大正	藤坂 村上
会報委員会	柴田	吉田(昌弘)	吉村(保) 光川	藤谷 村上
例会委員会	岡本	煤泉	伊花 押井	高木 村上
親睦委員会	村田(守)	山岡	長手 左尾	高木 村上
拡大委員会	大久保(文)	大久保(健)	岡村 広地	別部 樋口
教育青少年委員会	河越	八木	遠山 田口(裕)	豊江 岡本(仁)
指導力開発委員会	久保	野口	西村 馬場	吉田(昌後) 武田
社会開発委員会	浜本	岩間	中井 中井	富田 松田(茂)
企画開発委員会	山本	松野	大島 中条	杉本 松田(茂)
地域調査委員会	磯田	宮崎	松田 山本	井上 高瀬
財政特別委員会	室井	福住	池田 高丸	西本 三毛
広報渉外委員会	西中	加藤	岡野 吉井	藤田 三毛
			松本 宮城	前田 駒木
			中村(八) 松山	長谷川 駒木
			佐々木 後藤	江連 原
			丸山 岸本	川口 谷川
			三金 太田	近藤 松岡
			石井 小寺	清水 田中
			中野 吉川	堀口 穴瀬
			小中村 大沢	田和 掛井
			山崎 田中	掛井
			大島 田口(健)	金沢 木村
			藤井 藤本	富山 佐野
			泉原 鴻池	梅田 余部
			澤井 藤本	
			小寺	
特別室 野間 修				
20周年実行委員長	深江(豪)			



1980

(昭和55年)



第21代理事長 武井育雄

生年月日 昭和18年10月31日
血液型 B型

会員数 150名

日本での出来事

- 校内暴力・いじめ・登校拒否が社会問題化
- 王 貞治現役引退
- 山口百恵・三浦友和結婚
- ヘッドホンステレオ人気

世界での出来事

- 天然痘撲滅宣言(WHO)
- モスクワ五輪

スローガン」 きり拓け若さと力で'80年

諸事業

- 3月26日 阪神7JCゴルフ大会
- 4月15日 「文化」研修会を開催
- 4月24日～27日 尼崎青年会議所台南訪問
- 5月16日 兵庫ブロック公式訪問例会
- 5月22日 尼崎四警察署との懇談会開催
- 兵広報セミナー尼崎で開催
- 6月17日 尼崎税務署との懇談会開催
- 6月21日 第21回社団法人尼崎青年会議所セミナー開催
- 6月28日 花と竜の会結成(15年組)
- 9月14日 兵庫ブロック会員大会
- 10月1日～5日 全国会員大会

10月9日～15日 第35回国際青年会議所世界会議

- 10月30日 1980年度阪神7JC合同例会
- 12月6日 JCルーム移転 家族忘年例会



会員構成表

直前理事長 竹瀬元紀	副理事長 澤井隆雄	特別企画室 今井昭雄	委員会名		委員																	
			委員長	副委員長	大島	大隈	岡本(勝)	中條	西本(正)	馬場園	福住	馬淵										
理事長 武井育雄	副理事長 梅田隆士	会員室 大久保健彦	長期計画委員会	岡野	加藤	前田	山本	高木	多田	伊花	岡村	樋口	峰松	池田	左尾	宮川	高寺	武田	吉村	廣川	麓江	
			例会委員会	福垣	鎌田	田中(栄)	中井	松田	高丸	谷川	中村	森本(勝)	吉村	田中(栄)	中井	早水	別部	岩間	江連	小中村	曾根	松山
			親睦委員会	村田	高瀬	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	岡本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山
			拡大委員会	磯田	杉本	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山
監事 泉原保二 森 芳久	副理事長 梅田隆士	21世紀室 岡本正勝	教育開発委員会	山岡	松田	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			産業開発委員会	久保	井上	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			文化開発委員会	松野	榎泉	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			会報委員会	吉田(昌俊)	宮崎	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
特別顧問 鴻池祥肇	副理事長 住谷昌昭	総務室 田村征介	財務委員会	吉田(昌弘)	小寺	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			総務委員会	余部	藤本	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			日本JC協力委員会	室井	中島	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			出向者グループ			丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
顧問 松山 昇	専務理事 柴田省三	対外室 木村誠治	渉外委員会	畠山	金澤	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		
			渉外委員会	畠山	金澤	丸本(仁)	長手	大沢	五島	村上	丸本(仁)	押谷	近藤	富田	三金	吉井	柏野	丸山	丸山	丸山		

1982

(昭和57年)



第23代理事長 木村誠治

生年月日 昭和22年11月16日
血液型 AB型

会員数 155名

日本での出来事

- 赤坂のホテル・ニュージャパン火災
- 日航機が着陸直前に東京湾に墜落
- フジテレビ「オレたちちびっ子」が放送開始
- 国鉄がリニアモーターカーの有人浮上走行に初めて成功
- 初のワープロ「マイ・オアシス」が富士通より発売

世界での出来事

- イギリスとパチカンが450年ぶりに外交関係を樹立
- ペールードにて(レスチナ)大量産殺事件
- ハンクワディッシュでクーデター
- イギリスにてウィリアム王子誕生
- マイケル・ジャクソンの「スリラー」が発売され、映画では「E.T.」が大ヒット
- フォークランド紛争

スローガン」 めざそう 明るい 豊かな社会を 鍛えよう 自らを

諸事業

- 1月16日 1月度例会、定例総会 卒業生を送る夕べ
- 2月28日 ちびっ子まつり
- 4月11日 兵庫ブロック協議会 初優勝
- 4月16日 兵庫ブロック協議会 公式訪問例会
- 5月9日 スポーツ例会
- 5月25日 82OB現役親睦ゴルフ大会開催
- 6月13日 第23回JCセミナー開催
- 6月29日 税務懇談会
- 6月30日 阪神7JCゴルフ大会 優勝
- 7月7日 市長との懇談会
- 7月17日 ビアガーデン家族大会
- 8月21日 防災サマーフェスティバル 婦人同伴例会
- 8月23日・24日 ファミリーキャンプ
- 9月4日・5日 近畿地区会員大会開催
- 9月4日 空港問題懇話会
- 9月7日 四署懇談会「シティハイキング」

- 9月15日 「シティハイキング」
- 9月17日 OBとの親睦例会
- 10月1日～3日 全国会員大会
- 10月2日・3日 市民まつり
- 10月23日 阪神7JC合同例会
- 11月13日～15日 釜山西面JCとの友好調式成る
- 12月11日 家族忘年例会



会員構成表

直前理事長 泉原保二	副理事長 木村誠治	総務室 福垣 勝	委員会名		委員							
			委員長	副委員長	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	多田	
理事長 木村誠治	副理事長 吉田昌弘	問答室 村田 昇	総務委員会	岡本(正)	松田	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	多田
			財務委員会	松野	森本	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	多田
			広報委員会	宮崎	矢野	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	多田
			教育青少年問題委員会	榎泉	岡本(主)	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	多田
監事 住谷昌昭 大久保文雄	副理事長 室井邦彦	問答室 村田 昇	文化産業問題委員会	広範	丸尾	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			交通問題委員会	岡村	西本	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			例会委員会	西中	小橋	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			会員室 中島義博	会報委員会	岸本	岡本(勝)	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋
顧問 松山 昇	専務理事 中川重博	対外室 木村誠治	親睦委員会	森本	藤井	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			社会開発委員会	畠山	刈田	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			指導力開発委員会	加藤	中条	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			経営開発委員会	井上	比嘉	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
顧問 竹瀬元紀	専務理事 梅田隆士	対外室 木村誠治	渉外委員会	佐々木	松村	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	
			出向者	アドバイザーグループ	日本JC	阿部	梅崎	田口(敏)	中村	藤本	高橋	

1981

(昭和56年)



第22代理事長 泉原保二

生年月日 昭和16年10月6日
血液型 AB型

会員数 155名

日本での出来事

- FOCUS創刊
- 在入りウーロン茶発売
- 京都に地下鉄開通

世界での出来事

- スペースシャトル「コロンビア」初飛行
- 日米自動車摩擦

スローガン」 ふれあう心のふるさと尼崎 示せ実践高めよう意識

諸事業

- 2月26日 2月度例会 浜幸大いに語る
- 4月23日 第2回市政を語る懇談会
- 5月9日・10日 第29回近畿地区会員大会
- 5月24日 第22回尼崎青年会議所セミナー
- 6月4日・5日 市長と裸で語ろう
- 6月19日 公式訪問例会 兵庫ブロック協議会
- 7月25日 防災サマーフェスティバル
- 8月21日 ビヤパーティー例会
- 9月17日 家庭教育における母親講座
- 10月1日～5日 全国会員大会(鹿児島)
- 10月3日 「10周年記念尼崎市民まつり」参加

- 10月20日 台南JC来尼
- 11月27日 西面・尼崎両JC交歓会
- 12月9日 税務懇談会開催
- 12月13日 家族忘年例会と臨時総会



会員構成表

直前理事長 武井育雄	副理事長 田村征介	総務室 木村誠治	委員会名		委員						
			委員長	副委員長	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋	多田
理事長 泉原保二	副理事長 久保建夫	総務室 木村誠治	総務委員会	余部	木村(良)	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			財務委員会	山本	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			広報委員会	大久保(建)	宮崎	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			企画委員会	井上	加藤	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
特別顧問 鴻池祥肇	副理事長 室井邦彦	会員室 室井邦彦	会員拡大委員会	小寺	清水	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			親睦委員会	大久保(文)	高寺	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			例会委員会	榎泉	岡村	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			指導力開発委員会	岡本	中村	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
顧問 竹瀬元紀	専務理事 梅田隆士	対外室 木村誠治	社会開発委員会	中島	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			教育青少年委員会	馬場園	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			政治問題委員会	鎌田	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			文化産業問題委員会	村田	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
顧問 松山 昇	専務理事 梅田隆士	対外室 木村誠治	出向者	日本JC	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋
			事務局長	岡本圭蔵	藤本	八木	別部	武田	西本(稔)	藤本	高橋

1983

(昭和58年)



第24代理事長 吉田昌弘

生年月日 昭和18年3月11日
血液型 O型

会員数 143名

日本での出来事

- NHKにて「おしん」放送開始
- スケートの黒岩 彰が世界スプリント選手権で日本人初の総合優勝
- ゴルフの青木功がハワイアン・オープンで初優勝
- 中国自動車道が全線開通
- 戸塚ヨットスクールの戸塚 宏校長が傷害致死容疑で逮捕

世界での出来事

- テニスのビョルン・ボルグが引退
- カレン・カーペンター死去
- イラク海軍がイランのノールズ油田を攻撃
- 中東で爆弾テロが続発
- ボルガ川で客船が鉄橋に衝突し、列車が転覆して約200人が死亡
- ロンドンの百貨店でIRAによる爆弾テロ

スローガン」 ハートフル あまがさき

諸事業

- 1月28日 1月度例会、定例総会 卒業生を送る夕べ
- 2月24日 税務勉強会
- 2月27日 耐寒ウォーキングラリー
- 5月15日 ファミリーラリー
- 5月17日 OB現役親睦ゴルフ
- 5月20日 兵庫ブロック協議会公式訪問例会
- 5月26日 阪神7JCゴルフ大会
- 7月17日 第24回尼崎青年会議所セミナー
- 7月27日 ビヤパーティー
- 7月30日 防災サマーフェスティバル
- 8月27日・28日 ごさもんキャンプ
- 9月3日・4日 第31回近畿地区会員大会
- 9月18日 兵庫ブロック会員大会
- 10月1日・2日 尼崎市民まつり

- 10月1日～3日 全国会員大会
- 10月7日 税務懇談会
- 10月12日 阪神7JC合同大会 四署懇談会
- 11月11日～14日 釜山西面青年会議所表敬訪問
- 12月10日 家族忘年例会



会員構成表

直前理事長 木村誠治	副理事長 吉田昌弘	総務室 大久保建彦	委員会名		委員						
			委員長	副委員長	木村 <th>大正 <th>根本 <th>広川 <th>藤井 <th>峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th></th></th></th></th></th>	大正 <th>根本 <th>広川 <th>藤井 <th>峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th></th></th></th></th>	根本 <th>広川 <th>藤井 <th>峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th></th></th></th>	広川 <th>藤井 <th>峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th></th></th>	藤井 <th>峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th></th>	峯 <th>坂田 <th>武田</th> </th>	坂田 <th>武田</th>
理事長 吉田昌弘	副理事長 中島義博	問答室 村田 昇	総務委員会	榎泉	高瀬	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			財務委員会	森本	比嘉	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			広報委員会	廣地	安藤	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			会員委員会	宮崎	松村	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
監事 福垣 勝 村野 修	副理事長 中川重博	問答室 村田 昇	例会委員会	金澤	刈田	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			文化政策委員会	森本	朝山	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			経営政策委員会	松田	大谷	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			25周年企画委員会	畠山	中沢	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
顧問 竹瀬元紀	専務理事 住谷昌昭	対外室 木村誠治	社会開発委員会	岡村	榎谷	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			指導力開発委員会	西中	山崎	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			教育青少年開発委員会	丸尾	八木	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			渉外委員会	岡本(勝)	福本	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
顧問 松山 昇	専務理事 梅田隆士	対外室 木村誠治	事務局長	岡本(主)	藤原	木村	大正	根本	広川	藤井	峯
			出向者	井上	前田	木村	大正	根本	広川	藤井	峯

1984

(昭和59年)



第25代理事長 中川量博

生年月日 昭和22年8月26日
血液型 A型

会員数 131名

日本での出来事

- グリコ森永事件発生
- 新1万円札・五千円札・千円札発行
- 日本世界一の長寿国へ

世界での出来事

- ロサンゼルス・オリンピック

スローガン》 進もう未来に向かって めざせ次なる飛躍

諸事業

- 2月13日 市長との懇談会
- 3月22日 尼崎記者クラブとの懇談会
- 4月13日 尼崎JC25周年記念PRの為韓国釜山西面JCを訪問
- 5月27日 3世代交流尼崎ゲートボール大会
- 6月9日 JC寺子屋 講師吉岡たすく先生「今子供たちにとって大切なものは何か」
- 6月23日 3泊4日の日程 25周年記念のPRのため訪問
- 7月15日 7月度家族野外例会
- 7月22日 創立25周年記念事業 第25回尼崎JCセミナー
- 7月28日 '84年防災サマーフェスティバル

- 9月2日 創立25周年記念祝典開催
- 10月2日 財務勉強会「ニュービジネスへの視点」
- 10月4日～8日 全国会員大会(千葉)



会員構成表

直前理事長 吉田昌弘	副理事長 稲垣 勝	総務室 金澤悦男	委員会名		委員									
			委員長	副委員長	幹事	安藤 山本	小寺 吉田	田原 西村(弘)	山本 大正	根本 三宅	梅崎 加林	近藤 武田	波多 東本	松崎 三宅
理事長 中川量博	副理事長 岡本正勝	会員室 岡本正勝	総務委員会	大久保	安井	樋口	木茂 濱崎	坂野 福浦	大正 根本	梅崎 加林	近藤 武田	波多 東本	松崎 三宅	米倉
			財務委員会	木村	田口(裕)	西尾	梅崎 加林	近藤 武田	波多 東本	松崎 三宅	米倉			
監事 岡村征児 室井邦彦	副理事長 岡本正勝	開発室 宮崎俊二	広報委員会	石井	一谷	杉本	梅崎 加林	近藤 武田	波多 東本	松崎 三宅	米倉			
			アカデミー委員会	加藤	涌池	黒木	池田 大島	松野 森本	石井 久保	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
副理事長 轟山日盛	副理事長 岡本正勝	開発室 宮崎俊二	会員委員会	岡本(勝一)	朝山	駒木	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			社会開発委員会	丸尾	岡本(信)	峯	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
副理事長 井上文雄	副理事長 岡本正勝	開発室 宮崎俊二	指導力開発委員会	佐々木	岡井(謙)	塚山	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			青少年開発委員会	刃田	竹内	藤井	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
専務理事 西中増雄	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
25周年実行委員長 大久保建彦	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	経営問題委員会	樹谷	柳楽	小林	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			渉外委員会	中澤	松村	高岡	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室 宮崎俊二	文化問題委員会	廣地	菊本	喜納	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
			国際問題委員会	福本	幸野	高尾	大開 根本	岡本(勝治) 岡本(圭)	柏野 宮城	高丸 前中	岡井(美) 福住	前田		
出向者	副理事長 井上文雄	開発室												

1988

(昭和63年)



第29代理事長
藤原国雄

生年月日 昭和24年6月15日
血液型 B型

会員数 119名

日本での出来事

- リクルート疑惑
- 瀬戸大橋が開通

世界での出来事

- イラン・イラク戦争

スローガン》 楽しく生き生き、みんなの輪

諸事業

- 3月12日 委員会対抗ボウリング大会
- 5月4日 留学生ウェルカム・パーティー
- 7月16日・17日 LD道場開催
- 7月19日 台南青年会議所30周年記念式典
- 8月11日 第29回尼崎青年会議所セミナー開催
- 8月20日 '88防災サマーフェスティバル
- 9月30日 全国会員大会(高知)



会員構成表

			委員会名	委員長	副委員長	委員				
直前理事長 森本 清	副理事長 高尾 和良	会員室 引地康之祐	例会委員会	喜納	浦田	伊花 牧野	大島 山本(寛)	曾根 今井	藤井	
			会員拡大委員会	岡村	林	小園 前田	木村(立) 山岡	清水(信) 小島(成)	高島	
理事長 藤原国雄	副理事長 清原 徹	交流室 吉川 壽一	研修特別委員会	金澤	高田	池本 廣川	岩重 西村(昌)	加藤	後藤	
			セミナー特別委員会	小坂	真野 梅本	大北 峯	河村 山本(育)	木村(長) 藤山	松村(種)	
監事 朝山 謙一 岸田 衛幸	副理事長 刈田孝太郎	地域室 中澤 秀起	留学生交流委員会	西中	清水(博)	大川(肇) 山本	香田 菊池	小島(祥)	笠川	
			会員交流委員会	柏野	高田	金本 西本	川尾 吉野	山本(和)	田中(浩)	
専務理事 高岡 伸一	副理事長 刈田孝太郎	地域室 中澤 秀起	地域交流委員会	塩見	伊佐	久保 日高	坂口 山中(潤)	坂本 富士原	西尾	
			地域未来委員会	安藤	山本(修)	石川 田原	岩崎 山田	大道 山本(学)	田中(勝) 酒井	
			30周年準備委員会	杉本	小林	石井 柳栄	梅本(年) 山中(常)	田口 来山	来山	
			総務委員会	米倉	大平	池田(勝) 八木	梶 宮本	細原	松村(博)	
出向者	専務理事 高岡 伸一	総務室 樋口 達也	広報委員会	森田	堀田	坂上 安井	武田 寺田	寺沢	永井	
			渉外委員会	青木	夏本	岩田 西村(栄)	榎 藤田	大谷 大川(孝)	柏野(弘)	
			財政特別審議会	議長 岡本 勝一						
出向者	専務理事 高岡 伸一	総務室 樋口 達也	日本JC			柏野 西尾	榎 朝山	香田 吉川	廣川	
			近畿地区協議会			真野				
			兵庫ブロック			岸田	清水(信)	後藤		



1990 ~1999

1989

(平成元年)



第30代理事長
刈田孝太郎

生年月日 昭和24年6月2日
血液型 O型

会員数 136名

日本での出来事

- 昭和天皇崩御に伴い、新元号「平成」に
- 漫画家・手塚治虫が死去
- リクルート事件で創業者江副浩正氏が逮捕
- 経営の神様・松下幸之助氏死去
- 美空ひばり死去

世界での出来事

- ベルリンの壁崩壊
- 天安門事件

スローガン》 心はひとつ 今 青年の出発

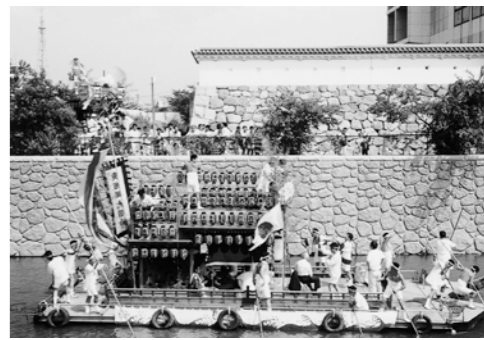
諸事業

- 4月9日 室対抗全員家族運動会
- 6月3日 留学生交流ボウリング大会
留学生ウェルカムパーティー
- 6月25日 第30回尼崎JCセミナー
- 6月30日~7月2日 CLDワークショップ
- 7月15日 船だんじり平成元年AMAGASAKI
- 7月29・30日 尼っ子サマーキャンプ IN ささやま
- 9月3日 尼崎JC創立30周年記念式典
- 10月7日 尼崎市民まつり
- 11月2日 四番懇談会
- 11月26日 尼崎シティ国際ハーフマラソン



会員構成表

			委員会名	委員長	副委員長	委員				
直前理事長 藤原国雄	専務理事 樋口 徹也	総務室 堀見 恵介	総務委員会	小林	高田	伊佐 内内 梅村	木村(長) 寺田	黒田 宮本	香田 丹	
			広報委員会	高田	富士原	井上 狩野	菊池 森田	西村(栄) 山本(育)	細原 加藤(博)	
理事長 刈田孝太郎	副理事長 吉川 壽一	会員室 米倉 康之	会員交流委員会	夏本	石井	川尾 丸山	加藤(あ) 山本(和)	佐藤 細原	松村(博)	
			例会委員会	岡村	佐野	池本 小林(良)	岩崎 中山	大北 大野	大野 吉野	
監事 金澤 悦男 高尾 和良	副理事長 高岡 伸一	渉外室 青木 健二	指導力委員会	岸田	山本	梶谷 坂本	上田 高島	大野 西村(種)	酒井 宮崎(勝)	
			セミナー委員会	杉本	木村	栗 吉納	栗山 木口	大谷 岡野	岡野 田中	
副理事長 清原 徹	副理事長 刈田孝太郎	地域室 柏野 高男	渉外委員会	大平	藤山	榎岡 梅本	太川(孝) 日高	岸本(敬) 早水	佐野(謙) 仙波	
			会員拡大委員会	小坂	柏野	梅本(年) 田中(浩)	太川(肇) 峯	大島 元香	岡本 山田	
			国際委員会	清水	山中	浦田 水井	大道 柳栄	岸本(一) 林	佐藤(順) 林(節)	
			地域交流委員会	西中	真野	西村(昌) 若尾	加藤(秀) 藤井	阪上 安井	竹沢 山本(学)	
出向者	副理事長 清原 徹	地域室 柏野 高男	青少年委員会	廣川	小島	高尾 後藤	杉本 林	真野 清水	早水 岸本	
			21世紀委員会	笠川	梅本	後藤	伊花 清水(信)	加藤(弘) 武田	久保 森	
			30周年実行委員会	中澤 秀起	委員会スタッフ	伊佐・香田・寺田・宮本				
出向者	副理事長 清原 徹	地域室 柏野 高男	日本JC			高尾 高岡	杉本 林	真野 清水	早水 岸本	
			兵庫ブロック			堀見	石川	香田		
			理事長セクレタリー			岸本	早水			



1990

(平成2年)



第31代理事長
清原 徹

生年月日 昭和28年2月5日
血液型 O型

会員数 125名

スローガン》 変革！明日のために

諸事業

- 3月25日 ファミリースポーツ大会
- 4月12日 台南、岡山、尼崎3JC姉妹締結25周年記念式典
- 4月20日 台南、岡山、尼崎3JC姉妹締結25周年記念事業
- 6月16日 『巻き寿司』日本一に挑戦
- 7月28日・29日 青少年キャンプ『尼っ子わくわくサマーキャンプ』青少年いこいの家 他
- 10月6日・7日 尼崎市民まつり
- 11月17日・18日 LD道場マネジメントゲーム
- 11月25日 尼崎シティ国際ハーフマラソン



役員		専務理事		総務室		委員会名		委員長		副委員長		委員		
理事長	清原 徹	専務理事	岡村重和	総務室	杉本兆永	総務委員会	夏本	加藤 藤田	伊花 西村	柏野 松村	喜納 山本(修)	木村 佐久間		
監事	中澤秀起 吉川壽一	副理事長	高岡伸一	会員室	西中 勝	広報委員会	富士原	橋岡	東本 岸本	若崎 酒井	若黒 森田	加藤 乾浦		
直前理事長	刈田孝太郎	副理事長	高岡伸一	地域室	青木龍二	渉外委員会	小島	中山	丸山 石川	佐藤 杉本	杉本 杉本	則藤 則藤		
副理事長	米倉康之	副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	例会委員会	林	丹内	上田 丸山	森 森	木村 元春	丹 加藤		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	会員交流委員会	高田	大北	井上 久保	梅本 宮崎	加藤 田淵	岡本 岡本		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	セミナー委員会	宮本	杉原	池本 梅本	大澤 大澤	西村 西村	藤原 藤原		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	地域交流委員会	真野	河村	渋谷 細原	浦野 武本	西村 西村	藤原 藤原		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	国際交流委員会	山中	香田	清水 日高	田中 山本	栗山 佐藤			
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	21世紀策定委員会	藤山	今井	大川 永井	大谷 山本	栗山 佐藤			
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	青少年委員会	大平	早水	竹沢 松本	柳葉 安井	林 松村	藤井 藤井		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	会員研修委員会	廣川	大附	黒田 浜田	飯上 宮崎	坂本 山本	高田 高田		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	会員拡大委員会	佐野	寺田	青木 小園	大川 山田	髙 吉野	後藤 増富		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	法制特別審議会	議長 高尾和良	副議長 樋口・小林・岸本						

日本での出来事

- 大阪で「花の万博」：4月1日～9月30日、大阪の鶴見緑地で「国際花と緑の博覧会」が開催された。
- 日本人初の宇宙飛行：東京放送の秋山豊寛さんが日本人初として宇宙に飛び立つ。
- 大学入学センター試験スタート：共通一次試験に替わる大学入学センター試験がスタート。
- 礼宮と川嶋紀子(きこ)が結婚：6月29日、結婚の儀、「秋篠宮」の号が贈られた。
- 天皇が即位：11月12日、平成の天皇が即位(即位の礼)。

世界での出来事

- 3月15日：【ソ連】臨時人民代議員大会でゴルバチョフが初代大統領に選出、就任。
- 3月26日：米のアカデミー賞特別名誉賞が、黒澤 明監督に。
- 6月11日：【ベルー】大統領選で、日系2世のアルベルト・フジモリが当選。
- 東西ドイツが統一：戦後45年間の分断を経て、ドイツは10月3日午前零時、統一を実現した。

1992

(平成4年)



第33代理事長
高岡伸一

生年月日 昭和32年1月16日
血液型 O型

会員数 130名

スローガン》 創ろう待ちのPIN・PON・PAN!

PIN personal intelligense network(個人との連帯)、PON powerful organization network(団体との連帯)
PAN perpetugl amenity network(地域との連帯)

諸事業

- 5月4日～7日 タイ国際経済視察
- 6月27日 経営開発セミナー パート1
- 7月4日 LD道場「とことんイベントだ！」
- 7月25日 防災サマーフェスティバル
- 8月1日・2日 尼っ子ピンポンパンキャンプ
- 9月23日 経営開発セミナー パート2
- 10月1日～4日 全国大会(函館)
- 10月3日・4日 尼崎市民まつり
- 11月22日 尼崎シティ国際ハーフマラソン



会員構成表

役員		専務理事		事務局長		委員会名		委員長		副委員長		幹事		委員	
理事長	高岡伸一	専務理事	夏本 義人	事務局長	林 茂	総務委員会	小島	武本	藤井	大平 時前	妹尾 渡辺	丹内 盛田	内藤 盛田		
監事	樋口徹也 米倉康之	副理事長	岡村重和	会員室	真野 義之	広報委員会	宮崎	松村	溝口	岩崎 大谷	西中 山本	岸本 岸本	岸本 岸本		
直前理事長	高尾和良	副理事長	高岡伸一	会員室	真野 義之	会員交流委員会	宮本	西村	中山	榎谷 三木	池本 森田	石本 石本	入江 岸本		
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	経営開発委員会	河村	丸山	岸本	今井 梅原	浦田 加藤	岸本 岸本	岸本 岸本		
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	指導力委員会	加藤	早水	吉岡	足立 橋岡	森 山本	大澤 元春	高田 元春		
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	青少年委員会	大川	柳村	池田	黒田 池田	藤山 藤山	大北 大北	川崎 佐久間		
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	国際委員会	山中	関本	佐茂	岩佐 橋岡	大澤 元春	高田 元春	高田 元春		
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	研究特別会議	議長 清原 徹	副議長 高田 欣正	監事 寺田 大治	入江 吉田	岸本 岸本	中山 中山			
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	長期政策特別会議	議長 吉川 壽一	副議長 杉本 大附	運営幹事 大附						
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	尼崎C特別会議	議長 柏野 高男	副議長 須田 藤山	運営幹事 藤山						
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	出向者	日本JC 近畿地区	入江 吉田							
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	兵庫ブロック	林 野原	中山							
		副理事長	高岡伸一	研究会	富士原 秀和	理事長セクレタリー	大平 室田								

日本での出来事

- 3月1日：暴力団対策法が施行。
- 5月22日：日本新党(細川護国)結成。
- PKO協力法案成立：6月15日、法案が成立し、自衛隊をカンボジアに派遣した。
- 佐川献金疑惑で金丸議員辞職。
- 11月27日：貴花田と宮沢りえが婚約。後に解消された。

世界での出来事

- 2月7日：EC、欧州連合条約(マーストリヒト条約)調印。
- 3月：ユーゴスラビア、新連邦と4共和国に分離解体。ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争。
- 1月1日：チエコスロバキア連邦が、チエコとスロバキアの2国に分離、独立。
- 1月20日：【米】ビル・クリントンが42代大統領に就任。
- 1月27日：曙、初の外国人横綱。
- 2月26日：【米】ニューヨークの世界貿易センターの110階建ての「タワービル1」の地下で爆弾テロ。

1991

(平成3年)



第32代理事長
高尾和良

生年月日 昭和28年11月6日
血液型 O型

会員数 131名

スローガン》 かえよう ちょっと素敵な未来へ

諸事業

- 2月16日・17日 メンバー家族旅行 小豆島
- 6月1日・2日 LD道場 大峰山登山
- 7月27日・28日 青少年キャンプ『尼っ子サマーキャンプ』県立母と子の島
- 8月4日 ヨット講習会
- 10月5日・6日 尼崎市民まつり
- 11月24日 尼崎シティ国際ハーフマラソン



役員		専務理事		総務室		委員会名		委員長		副委員長		委員	
理事長	高尾和良	専務理事	吉川 壽一	総務室	小坂圭一	総務委員会	阿村	杉本	清名 日高	池田 池田	栗山 栗山		
監事	青木健二 柏野高男	副理事長	高岡伸一	会員室	林 茂	広報・渉外委員会	宮本	早水 宮崎	中山 西村	丸山 丸山	早水 早水	宮崎 宮崎	
直前理事長	清原 徹	副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	会員交流委員会	小島	丸山	丸山 丸山	丸山 丸山	丸山 丸山	丸山 丸山	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	アカデミー委員会	加藤	松本	加藤 松本	加藤 松本	加藤 松本	加藤 松本	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	例会委員会	大平	大附	大平 大附	大平 大附	大平 大附	大平 大附	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	ちょっと素敵なまちづくり委員会	寺田	浜田	寺田 浜田	寺田 浜田	寺田 浜田	寺田 浜田	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	指導力開発委員会	真野	大川	真野 大川	真野 大川	真野 大川	真野 大川	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	青少年委員会	高田	岸本	高田 岸本	高田 岸本	高田 岸本	高田 岸本	
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	財政特別審議会	議長 米倉康之	副議長 松村・梅本・乾浦・木村					
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	ちょっと素敵なJCづくり特別会議	議長 中澤秀起	副議長 松村・梅本・乾浦・木村					
		副理事長	高岡伸一	研究会	小坂圭一	事務局長	夏本 義人						

世界での出来事

- 湾岸戦争勃発：1月17日、多国籍軍が攻撃開始。イラクも徹底抵抗を表明して湾岸戦争に突入した。
- 5月22日：【ガンジー暗殺】【印】ラジブ・ガンジー元首相が南部の選挙演説会場で爆弾テロにより。
- ソ連崩壊独立国家共同体が誕生：12月21日、ソ連に代わる11共和国を創設メンバーとする独立国家の設立。

日本での出来事

- 2月9日：【美浜原発事故】福井県的美浜原発で緊急炉心冷却装置作動の重大事故。
- 信楽鉄道で正面衝突：5月14日、信楽高原鉄道列車とJR臨時快速列車が正面衝突。
- 若貴ブーム、千代の富士引退：5月14日、前人未到の通算1,046勝をあげた横綱千代の富士が引退表明。
- 雲仙・普賢岳で火砕流：6月3日、東側斜面で大規模な火砕流が発生。大惨事に。

1993

(平成5年)



第34代理事長
吉川 壽一

生年月日 昭和28年1月26日
血液型 O型

会員数 120名

スローガン》 2001 創造へのエンデバー

諸事業

- 4月18日 会員家族運動会
- 7月10日 AIDS WARS'93 in あまがさき
- 7月17日～19日 台南JC創立35周年記念式典
- 7月31日 防災サマーフェスティバル
- 8月7日・8日 青少年キャンプ『尼っ子アドベンチャーキャンプ』能勢簡易保険キャンプセンター
- 10月2日・3日 尼崎市民まつり
- 10月16日・17日 跳べ、大空へ！パラグライダー体験研修

10月29日～30日 全国大会(岡山)

11月28日 尼崎シティ国際ハーフマラソン



会員構成表

役員		専務理事		総務室		委員会名		委員長		副委員長		幹事		委員	
理事長	吉川 壽一	専務理事	宮本 毅	総務室	宮崎 啓市	総務委員会	西村	岸本	松本	池田 立岡	今井 宮田	岩崎 山本	北村 笠原		
監事	廣川 雅英 寺田 誠宏	副理事長	高岡伸一	会員室	高田 欣正	渉外委員会	関本	藤井	増田	夏本 豊本	岡村 岡村	岡本 岡本	柏野 山中		
直前理事長	高岡伸一	副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	例会委員会	中山	藤井	杉田	石田 清本	増富 増富	岸本 岸本	山本 山本		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	広報委員会	柳村	東	池田	加藤 加藤	藤山 藤山	佐久間 佐久間	杉本 杉本		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	会員交流委員会	丸山	松村	小川	東 野原	藤井 藤井	森 森	西中 西中		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	会員拡大委員会	今井	岸原	吉田	大谷 健田	竹本 竹本	丹 丹			
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	地域政策委員会	大川	田淵	森泉	池田 長瀬	池本 元春	佐茂 佐茂	内藤 内藤		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	研修委員会	大附	橋岡	太治	石本 和司	高田 高田	高田 高田	玉置 玉置		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	青少年委員会	武本	杉原	康村	榎谷 高寿	高田 高田	高田 高田	藤原 藤原		
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	長期計画会議	議長 杉本兆永	副議長 大平・早水	運営幹事 竹島・藤山						
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	出向者	日本JC	夏本 高岡	吉田 入江						
		副理事長	高岡伸一	研究会	小島 成介	兵庫ブロック	野原 室田	早水 吉岡	中村						

日本での出来事

- 4月12日：皇太子と小和田雅子の「納采の儀」(結婚にあたる)が行われた。
- 5月15日：Jリーグ(日本プロサッカーリーグ)が誕生。
- 7月12日：【北海道南西沖地震】が発生。北海道の奥尻島で津波と大火事があり壊滅状態となる。
- 7月21日：若ノ花が大関に昇進、史上初の兄弟大関。
- 細川連立内閣発足：8党派連立政権。自民党1党支配が崩れる。

世界での出来事

- 1月1日：チエコスロバキア連邦が、チエコとスロバキアの2国に分離、独立。
- 1月20日：【米】ビル・クリントンが42代大統領に就任。
- 1月27日：曙、初の外国人横綱。
- 2月26日：【米】ニューヨークの世界貿易センターの110階建ての「タワービル1」の地下で爆弾テロ。

1994

(平成6年)



第35代理事長 小坂圭一

生年月日 昭和31年10月26日
血液型 O型

会員数 131名

スローガン》 さわやかな 笑顔と汗で まちづくり 基本にもどり やってみよう！出来る事から

諸事業

- 4月17日 会員家族スポーツ大会
- 7月9日・10日 尼っ子わくわくサマーキャンプ
- 7月31日・8月1日 尼崎JC創立36周年記念式典 公開例会・川辺の集い
- 8月1日・2日 庄下川水まつり(船だんじり)
- 9月10日・11日 元祖LCハラハラドキドキ無人島ツアー
- 10月1日・2日 尼崎市民まつり 全国大会(盛岡)

- 10月15日・16日 徹底討論！朝までJC
- 11月11日～19日 JCI世界会議(神戸)
- 11月27日 尼崎シティーハーフマラソン



会員構成表

役員	専務理事		事務局長		委員長		副委員長		幹事		委員	
	専務理事	専務理事	事務局長	事務局長	委員長	副委員長	幹事	幹事	委員	委員	委員	委員
理事長 小坂圭一	専務理事 小島成介	専務理事 小島成介	事務局長 大川 肇	事務局長 大川 肇	委員長 藤井 雅夫	副委員長 竹本 浩一	幹事 笠原 隆夫	幹事 笠原 隆夫	委員 藤田 高由	委員 金富 隆夫	委員 久保 隆夫	委員 坂田 隆夫
監事 林 中山 信彦	副理事長 真野義之	副理事長 真野義之	研修室 杉本 亮永	研修室 杉本 亮永	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治	渉外委員会 丸山 太治
直前理事長 吉川 壽一	副理事長 夏本 義人	副理事長 夏本 義人	会員室 大平 浩也	会員室 大平 浩也	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清	経営開発委員会 西村 清
顧問 高岡 伸一	副理事長 宮本 毅	副理事長 宮本 毅	地域室 高田 欣正	地域室 高田 欣正	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川	指導力委員会 武本 小川
	特別会議 河村 隆	特別会議 河村 隆	運営幹事 池本・山本・香田・中村	運営幹事 池本・山本・香田・中村	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉	青少年委員会 杉田 森泉
			出向者	出向者	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC
			近畿地区	近畿地区	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック
			理事長セクレタリー	理事長セクレタリー								

日本での出来事

- 非自民政権崩壊、自社さで村山政権誕生。
- 6月27日：長野県松本市で、有毒ガスのサリンが発生。後、オウム真理教の犯行が明らかに。
- 7月8日：日本人初の女性宇宙飛行士として向井千秋さんがスペース・シャトルに搭乗。
- 9月2日：大阪・泉州沖の関西国際空港が開港。

世界での出来事

- 第17回冬季オリンピック リレハンメル：スキー複合団体で、萩原健司らの日本チームが金メダル。
- アメリカで第15回サッカーワールドカップ。
- 7月8日：【北朝鮮】金日成主席が急死。
- 大江健三郎にノーベル文学賞。

1996

(平成8年)



第37代理事長 宮本 毅

生年月日 昭和34年5月29日
血液型 A型

会員数 114名

スローガン》 JUST DO IT —あたりまえのことを あたりまえに—

諸事業

- 3月17日 阪神復興ライブ
- 4月14日 家族親睦桜見写生大会
- 5月19日 飛べ！未来に向かってわたしたちの飛行機
- 7月4日 青少年キャンプオリエンテーション
- 7月13日・14日 '96尼っ子リフレッシュネイチャーキャンプ
- 7月20日・21日 めざせ日本ー！
- 8月3日 尼崎のまつり 船だんじり
- 10月1日～6日 全国大会(長野)

- 10月26日 原子力発電所体験勉強会
- 11月24日 尼崎シティー国際マラソン



会員構成表

役員	専務理事		事務局長		委員長		副委員長		幹事		委員	
	専務理事	専務理事	事務局長	事務局長	委員長	副委員長	幹事	幹事	委員	委員	委員	委員
理事長 宮本 毅	専務理事 藤井 雅夫	専務理事 藤井 雅夫	事務局長 山本 雅彦	事務局長 山本 雅彦	委員長 岸本 隆夫	副委員長 北方 中林	幹事 安田 高橋	幹事 安田 高橋	委員 石津 大治	委員 佐藤 内藤	委員 高田 花田	委員 竹内 久保
監事 山 武史 杉本 亮永	副理事長 小島 成介	副理事長 小島 成介	会員室 杉田 章博	会員室 杉田 章博	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫	渉外委員会 香田 隆夫
直前理事長 真野義之	副理事長 小島 成介	副理事長 小島 成介	研修室 西村 武夫	研修室 西村 武夫	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤	会員交流委員会 東 内藤
顧問 高岡 伸一 小坂 圭一	副理事長 関本 充	副理事長 関本 充	地域室 丸山 孝宏	地域室 丸山 孝宏	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村	広報委員会 青野 小村
	副理事長 武本 正照	副理事長 武本 正照	青少年委員会 石田 高木	青少年委員会 石田 高木	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島	フェニックス委員会 高丸 中島
	特別顧問 夏本 義人	特別顧問 夏本 義人	運営幹事 石本・池田・太平・笠原	運営幹事 石本・池田・太平・笠原	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC
			近畿地区	近畿地区	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック
			理事長セクレタリー	理事長セクレタリー								

日本での出来事

- 「住専」に6,850億円：住宅金融専門会社(住専)処理案をめぐり、与野党対立のまま国会は3週間空転。
- HIVに汚染された輸入血液製剤による薬害エイズ問題は、国と製薬会社が謝罪、血友病患者らと和解。
- 衆議院の選挙制度が小選挙区比例代表並立制にかわって初めての小選挙区。
- 4月24日：オウムの松本千津夫(麻原彰晃)被告初公判。

世界での出来事

- ベルーの首都リマの日本大使館公邸が12月17日夜、武装した左翼都市ゲリラに占拠された。
- 9月17日：米大リーグの野茂英雄投手が、ノーヒット・ノーランを達成した。
- 12月5日：原爆ドームが世界遺産に。

1995

(平成7年)



第36代理事長 真野義之

生年月日 昭和33年9月27日
血液型 A型

会員数 130名

スローガン》 語りつごう未来へ！人・街・自然のオアシス伝説

諸事業

- 3月25日・26日 震災復興事業「がんばれ阪神の子どもたち、オアシス広場へ大集合」
- 6月11日 神戸元氣復興祭
- 7月8日・9日 尼っ子チャレンジサマーキャンプ
- 8月1日 がんばれ阪神の子どもたち 船だんじり復興祭 祭りで元氣を取り戻そう！
- 9月24日 家族親睦キックベースボール大会
- 10月3日～7日 全国大会(堺)
- 11月2日・3日 秋の吉野 修行者体験
- 11月10日 まちづくり勉強会

- 11月26日 尼崎シティー国際ハーフマラソン



会員構成表

役員	専務理事		事務局長		委員長		副委員長		幹事		委員	
	専務理事	専務理事	事務局長	事務局長	委員長	副委員長	幹事	幹事	委員	委員	委員	委員
理事長 真野義之	専務理事 関本 充	専務理事 関本 充	事務局長 西村 武夫	事務局長 西村 武夫	委員長 藤井 雅夫	副委員長 入江 香田	幹事 深海 磯田	幹事 深海 磯田	委員 大谷 由子	委員 小園 隆夫	委員 阪本 隆夫	委員 渋谷 八木
監事 西村 武夫 山中 潤一	副理事長 杉本 亮永	副理事長 杉本 亮永	会員室 武本 正照	会員室 武本 正照	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫	渉外委員会 藤井 雅夫
直前理事長 小坂 圭一	副理事長 夏本 義人	副理事長 夏本 義人	研修室 吉田 啓方	研修室 吉田 啓方	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫	会員交流委員会 岸本 隆夫
顧問 高岡 伸一	副理事長 河村 隆	副理事長 河村 隆	地域室 大附一彦	地域室 大附一彦	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉	広報委員会 杉田 森泉
	特別顧問 小島 成介	特別顧問 小島 成介	運営幹事 池本・山本・香田・中村	運営幹事 池本・山本・香田・中村	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也	青少年委員会 大平 浩也
			出向者	出向者	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC
			近畿地区	近畿地区	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック
			理事長セクレタリー	理事長セクレタリー								

日本での出来事

- 阪神大震災：1月17日午前5時46分、近畿地方を中心に、かなり広い地域を強烈な地震が襲った。
- 地下鉄サリン事件：3月20日、東京都千代田区地下鉄丸の内線有楽町駅付近でサリンにより死傷者多数。
- 3月30日：【警察庁長官狙撃】国松孝治警察庁長官が自宅マンション前で狙撃されて、重傷。
- 4月9日：統一地方選挙。東京都知事青島幸男、大阪府知事横山ノック。
- 12月8日：福井県の高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故が発生。

世界での出来事

- 野茂英雄投手、大リーグで新人王
- 6月29日：【韓】ソウル市のデパートの半分が崩壊した。

1997

(平成9年)



第38代理事長 小島成介

生年月日 昭和36年11月28日
血液型 B型

会員数 123名

スローガン》 次代へ

諸事業

- 3月16日 尼崎グリーン&クリーンGOGO作戦3
- 3月29日 次代へ緑あふれるAMAGASAKI 今緑の日宣言
- 3月29日 青少年環境フォーラム みんな集まれ!! エコシティー探検隊
- 6月15日 遊・学フェスティバルVol.1
- 6月18日 パソコン講習会
- 7月20日～22日 グリーン・ザ・キャンプ
- 8月1日・2日 咲かそう太陽に向かって心の向日葵
- 8月1日～4日 歴史に乗船庄下川
- 9月24日～28日 全国大会(熊本)

- 10月12日 遊・学フェスティバルVol.2
- 11月23日 尼崎シティー国際マラソン



会員構成表

役員	専務理事		事務局長		委員長		副委員長		幹事		委員	
	専務理事	専務理事	事務局長	事務局長	委員長	副委員長	幹事	幹事	委員	委員	委員	委員
理事長 小島 成介	専務理事 香田 哲	専務理事 香田 哲	事務局長 香田 哲	事務局長 香田 哲	委員長 磯田 隆夫	副委員長 大谷 由子	幹事 藤井 雅夫	幹事 藤井 雅夫	委員 石津 大治	委員 池田 花田	委員 林 隆夫	委員 長谷 原田
監事 関本 充 大平 浩也	副理事長 丸山 孝宏	副理事長 丸山 孝宏	会員室 岸本 敬裕	会員室 岸本 敬裕	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫	渉外特別委員会 増田 隆夫
直前理事長 宮本 毅	副理事長 丸山 孝宏	副理事長 丸山 孝宏	研修室 山中 潤一	研修室 山中 潤一	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本	会員交流委員会 中林 山本
顧問 高岡 伸一	副理事長 宮本 毅	副理事長 宮本 毅	地域室 中村 武	地域室 中村 武	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本	例会委員会 中島 山本
	副理事長 山本 雅彦	副理事長 山本 雅彦	青少年委員会 今井 野原	青少年委員会 今井 野原	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村	地域交流委員会 中田 小村
	特別顧問 高岡 伸一	特別顧問 高岡 伸一	運営幹事 石田 高木	運営幹事 石田 高木	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC	日本JC
			近畿地区	近畿地区	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック	兵庫ブロック
			理事長セクレタリー	理事長セクレタリー								

日本での出来事

- 神戸で小学生殺傷事件：中学校の正門前で切断された頭部が発見され、中学3年生が逮捕。
- 金融機関の経営破綻相次ぐ：銀行と証券の4社が連鎖的に経営破綻。
- HANA-BI【監督：北野 武】ベネチア映画祭でグランプリ受賞。
- うなぎ【監督：今村昌平】カンヌ映画祭で最優秀作品賞受賞。

世界での出来事

- 1月2日、ロシアのタンカー・ナホトカ号が日本海に沈没して重油が流出し、海岸を汚染した。
- 7月1日、香港がアヘン戦争以来英国から中国に返還され、香港特別行政区が発足、「1国2制度」に。
- ダイアナ元英皇太子妃の乗った車が8月31日、パリ市内で交通事故、重傷を負ったダイアナさんは死亡。
- サッカーの世界カップ・アジア地区予選で、日本が初出場決定。

1998

(平成10年)



第39代理事長
藤井輝男

生年月日 昭和33年11月9日
血液型 O型

会員数 133名

スローガン ing 一築こう！自信と誇りと目標とー

諸事業

- 2月7日・8日 人生いきいきごろのセミナー
- 7月19日 青少年キャンプ「遊ing思いでキャンプ」
“思いっきり深呼吸” 蒜山高原
- 7月20日 夜空に輝け尼崎市民の花火大会
- 7月30日 感動 船だんじり
真夏の夜の一大一発事業
- 7月31日・8月1日 夏の風物詩となれ「水祭り」における
夜空に輝け尼崎市民の花火大会のPR
- 9月12日 長浜黒壁スクエアクリニック
- 9月24日～27日 全国大会(徳島)

- 11月22日 尼崎シティ国際マラソン
- 2月～12月 夜空に輝け尼崎市民の花火大会
あまがさき花火大会を尼崎市民記念公園に誘致する活動



会員構成表

		委員会名		委員長	副委員長	幹事	委員				
理事長 藤井輝男	専務理事 宇多明彦	総務室 磯田雅司	総務委員会	瀬口	原田 佐茂	熊田 松本	石津 妹尾 松岡	東 内藤 平井	江田 平尾	湯池 的場	
			広報渉外委員会	深海	室田 金富	阪本 林	梅本 滝尾 石井 石田 藤村 奥村	竹内 吉川 大内 谷谷 大塚	高川 八島 高橋 曾和		
監事 岸本敏裕 中村武	副理事長 増富忠義	会員室 高丸正	会員交流委員会	北方	森田	萩田	井野 大塚 中野 中川 藤原 藤原	大田 中野 石伏 藤原 藤原	小野 高橋 藤原 藤原	公門 藤原 中野 山根	
			会員拡大委員会	山本	野々村	康村	江頭 北村 藤原 藤原 藤原	江頭 清水 藤原 藤原 藤原	大橋 高橋 藤原 藤原	柏野 萩田 中野 山根	
直前理事長 小島成介	副理事長 丸山孝宏	研修室 石田久人	例会委員会	石本	野澤	尾崎	岩見 藤原 藤原 藤原 藤原	大塚 藤原 藤原 藤原 藤原	高津 藤原 藤原 藤原 藤原	高橋 藤原 藤原 藤原 藤原	
			指導力委員会	中島	大園	鈴木	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	
顧問 宮本毅 野野義之	副理事長 山本勝浩	地域室 中田裕久	青少年委員会	増田	高木	朝本	石津 中水 仁川 藤原 藤原	高津 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	長谷 大村 藤原 藤原 藤原	
			地域交流委員会	笠原	安田	倉本	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原	
長期特別会議 議長 香田哲	国際交流担当 副議長 山中	40周年準備担当 副議長 大平	運営幹事 福田・佐藤・山本	運営幹事 吉岡・田中・藤山	運営幹事 斉藤・中林・小村・太治・野原	総務室 副委員長出向	会員室・研修室・地域室 副委員長出向				
短期特別会議 議長 山本雅彦	副議長 今井		運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	委員長出向						

日本での出来事

- 長野オリンピック開催、日本「金」5個。
- 和歌山カレー毒物混入 4人死亡、保険金疑惑。
- 2月2日：郵便番号7桁制実施。
- 4月5日：明石海峡大橋が開通。全長3.911mで世界最長のつり橋。
- 5月27日：大関若乃花が横綱に昇進。史上初の兄弟横綱が誕生した。

世界での出来事

- フランスで第16回サッカーワールドカップ、日本初出場。
- インド、パキスタンが核実験。
- 9月8日：米大リーグ本塁打記録更新、37年ぶりにマーク・マグワイア選手が通算70号の大記録。
- 12月16日：米英がイラクを空爆。



2000 ~ 2009



1999

(平成11年)



第40代理事長
丸山孝宏

生年月日 昭和36年12月28日
血液型 A型

会員数 127名

スローガン Spirit 21世紀へ ー 変革への挑戦 ー

諸事業

- 2月13日 涙と共に感謝せよ 高野山感動の座禅研修
- 8月21日 ふれ愛キャンプ～ひとりよりみんなで～
- 9月4日 タイ国バンナムC、(社)尼崎青年会議所友好調印式
(社)尼崎青年会議所創立40周年記念事業 記念式典
- 10月7日 全国大会(山形)
- 11月28日 尼崎シティ国際マラソン



会員構成表

		委員会名		委員長	副委員長	幹事	委員				
理事長 丸山孝宏	専務理事 深海淳	総務室 室長 中島良太	総務委員会	尾崎	橋本 松本	大長 密	大田 竹村 藤原	熊田 藤原	小泉 平井	妹尾 八木	
			渉外委員会	佐藤	朝本	清水	石津 藤原 藤原	大橋 長谷 山本	芝 花田	民間 早水	
監事 山本勝浩 宇多明彦	副理事長 香田哲	兵庫ブロック 出向室 室長 磯田雅司	佐茂・北方								
			例会委員会	鍵田	江頭	井野	岩見 藤原 藤原	大塚 藤原 藤原	高津 藤原 藤原	高橋 藤原	
直前理事長 藤井輝男	副理事長 丸山孝宏	会員室 室長 笠原宏	広報委員会	野原	奥村	曾和	東 武井 平尾	石伏 中野 藤原	川端 仁川	湯池 藤原	
			青少年開発委員会	大園	太治	丸岡	大村 立瀧 藤原	木本 藤原 藤原	仁 野崎	高岡 藤原	
顧問 宮本毅 野野義之	副理事長 山本勝浩	研修室 室長 大平浩也	地域開発委員会	石本	斎藤 林	田民 松岡	大内 藤原 藤原	藤原 藤原 藤原	五島 中村	鈴木 山根	
			地域交流委員会	吉岡	小村 中林	江田 西川	井木 黒川 藤原	石津 藤原 藤原	梅本 藤原	藤原 藤原	
顧問 小島成介	副理事長 中田裕久	組織室 室長 瀬口泰弘	拡大交流委員会	吉岡	小村 中林	江田 西川	井木 黒川 藤原	石津 藤原 藤原	梅本 藤原	藤原 藤原	
			40周年実行委員会 委員長 増富忠義	式典担当 議長 石田久人	運営幹事 岸本 野澤・森田	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原
短期特別会議 議長 山中潤一	副議長 阪本慶秀		運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	運営幹事 藤原・藤原・藤原	

日本での出来事

- 1月29日：地域振興券の交付始まる。
- 初の脳死判定による心臓・肝臓移植。
- 第71回選抜高等学校野球大会、沖縄尚学が沖縄県勢春夏を通じて初優勝。
- 4月11日：東京都知事選で、石原慎太郎が初当選した。12月21日：横山ノック知事が辞任。
- 7月1日：NTTが、持株会社とNTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズに分割・再編。
- 東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故。

世界での出来事

- 1月1日：【欧州統一通貨「ユーロ」導入】2002年1月から紙幣と硬貨が出回る。
- NATO軍、ユーゴスラビアを空爆。
- 9月21日：【台湾で大地震】台湾中部でマグニチュード7.7の地震が発生、各地で建物約3万棟が倒壊した。
- 12月20日：【マカオが中国に返還】約450年にわたってポルトガルに支配されたマカオが中国に返還。



2000

(平成12年)



第41代理事長
山本 雅彦
生年月日 昭和36年1月10日
血液型 A型
会員数 118名
JC歴 1992~2001年

諸事業	
5月13日	第1回わんぱく相撲「あまがさき場所」
5月20日	第1回あまがさき中学生連絡会議
6月30日	台南・岡山・尼崎3JC姉妹締結35周年式典及び記念事業
7月27日	第2回あまがさき中学生連絡会議
8月5日	エコフェスタあまがさき~1日体験コミュニティサイクルセンター~尼崎~
8月19日	キャッチザ スマイル! キャンプ~その笑顔を忘れない~
11月5日	第3回あまがさき中学生連絡会議~わんだフルバザー~
11月26日	ユニセフカップ2000尼崎シティ国際マラソン
12月31日	21世紀へ向けてのカウントダウンあまがさきINアルカイク



			委員会名	委員長	副委員長	幹事 (運営幹事) (会計幹事)	委員								
理事長 山本 雅彦	専務理事 鍵田 智嗣	総務情報担当 常任理事 岸本 敏裕	総務委員会	江頭 智三	倉本 忠男 小村 公成	石伏 徹 松岡 秀行	梅本 太志 高橋 和人 丹羽 眞生	大塚 一宏 高丸 正 八木 誠一郎	大橋 寿彦 西川 弘恭 藪田 定一	大村 哲也 西河 雄二	鈴木 健仁 西牧 義晃				
			広報委員会	室田 雅弘	玉置 隆一 野澤 利一	高山 照幸 高津 哲	朝本 数久 五島 勝孝 森垣 明宏	東 浩史 仁 達男 矢島 孝保	大原 英津子 田 民恵一	熊田 清児 難波 克年	小泉 政裕 野崎 日出夫				
監事 山本 修三 今井 元一	副理事長 笠原 敏宏	加-山ネットワーク 常任理事 大園 武史	国際委員会	阪本 慶秀	密 克行 山本 卓也	寺 惠一 中條 昌彦	秋澤 督浩 武井 伸吾 武田 勝則	井関 文洋 武田 英俊 平川 昌哉	大平 浩也 民岡 壽行 増田 幸一	尾崎 武蔵 田村 亜紀	大長 豊 長谷 大介				
			ジュニア育成 推進委員会	太治 豊勝	江田 政亮 高岡 敏夫 中林 弘明	立浪 勉 曾和 由行	井木 剛 武井 彰 廣田 真人 森田 悦正	石塚 久美子 竹村 誠 平尾 秀樹 八島 貴志	川口 慶嗣 仁川 政吉 松元 博樹 山本 新太郎	川端 努 蓮尾 智彦 松本 昌人 善見 伊岐	妹尾 貴之 早水 一博 萬壽 啓高				
直前理事長 丸山 孝宏	副理事長 深海 淳	地域政策担当 常任理事 石本 一也	地域政策委員会	佐茂 省治	井野 貴人 平井 誠司	太田 芳蔵 福島 真一	大内 康裕 内藤 武夫 山田 貴仁	紀川 和宏 中村 和史 浜野 雅夫	鴻池 肇一 丸岡 正和	小山 千代治 村山 猛	清水 宏真 森 満				
			副議長 山本 勝浩	副議長 齋藤 竜政	総括幹事 松本 康利	芝 泰雄	副理事長・専務理事・常任理事・会議議長								
顧問 小島 成介	総括議長 増富 忠義	会員協議会 議長 山本 勝浩 Jaycee育成会議 議長 瀬口 泰弘	副議長 野原 基弘	総括幹事 佐藤 宏幸	中川 雅弘	副委員長・委員会幹事									
			出向理事 北方 健之	セクレタリー・役員出向者											

日本での出来事

- 2月13日：【グリコ・森永事件が時効】グリコ・森永事件は、犯人グループを逮捕できないまま、全事件で時効が成立した。
- 3月16日：横綱若乃花が引退を表明。
- 11月8日：【重信房子逮捕】ハーグ事件で国際手配されていた日本赤軍最高幹部の重信房子容疑者(55)が国内に入国していることがわかり、大阪府警が大阪府高槻市内で逮捕した。
- 11月9日：【イチロー、マリナーズ入り】
- 12月31日：【世田谷一家惨殺事件】東京都世田谷区の会社員宅で、一家四人が血を流して殺害されているのが見つかった。犯行は前日、室内を物色した跡があった。

世界での出来事

- 2月11日：【米】スペースシャトル・エンデバーが打ち上げられ、毛利衛が2度目の宇宙飛行に出発。
- 第27回オリンピック シドニー(オーストラリア)【9月16日~10月1日】
- 10月11日：【米】スペースシャトル・ディスカバリー打ち上げられ、若田光一が2度目の宇宙飛行に出発。

スローガン》 RE-BORNあまがさき!! ~今、21世紀へ向け、再生の時~



1、一番思い出となった事業内容

組織を考える時に、「例会委員会」と「渉外委員会」を作らなかった。LOM事業の中で最も大切な例会、それに委員会事業が1~2本加わると、月に事業が3本立て…。メンバーにとって、毎週JCになってしまい、出席も分散し、例会がおざりになってしまいます。その上、例会委員会は毎月毎月上程に追われてしまいます。委員会事業を例会で行えば良いと考えました。また、渉外委員会はツアコンの様になってしまいました。それはオカシイと思ったので、例会も渉外も各委員会の持ち回りで行なうようにしました。

そして“数”は“力”と考え、拡大。1人が1人連れてくると、倍増となります。理事長が広告塔になり、筆頭で走らないといけないと思い一生懸命走りました。

よく高熱を出しました。アスパックに合わせて、台南と岡山との友好15周年事業を行ないましたが、40度くらいの熱が出ました。サマコンや8月の六甲山での例会でも40度近く発熱し、前日と当日の朝に内藤武夫君に点滴を打ってもらい、このようにして駆けつけました。



2、今だから言えること

最近、すんなり理事長が決まっているようですが、LOMの活性化を考えると、複数の候補者がしのぎを削って闘い、それをメンバーがジックリ見て理事選の投票をし、決める方が良いと考えます。99年も理事長に立候補しましたが、“負



け”てしまいました。家に帰ると、ちょうど七夕で笹が飾ってあって、短冊に「パパが理事長になれますように!!」と妻が書いていて、それを見て、泣きそうになりました。

次の年は同期入会の鍵田智嗣君が票を集めてくれて?! 理事選を1位当選し、何とか理事長になりました。組閣に於いて、集票をしてくれたからではなく…、LOMの雰囲気作りができる鍵田君に専務理事をお願いしました。

JCの理事長と言う“役”を“演じる”事は、見た目よりかなりハードです。卒業例会の時に、各月の例会のゴングの写真がビデオで流れたんですが、それを見るとドンドン老けていくのが判って、ビックリしました。精神的にも肉体的にもしんどいですが、やれるチャンスがあれば、理事長と言う“大役”は演じる価値のあるものです。

中学生連絡会議は丸山理事長の時に始まりました。実は、それを思いついたのは僕と今井元一君で、中学校の生徒会長を集めて、兵庫ブロックの会員会議所会議的な事をしようと考えました。生徒会長として悩み等を横の交流で解決しては?!と言う所からスタートしました。

3、これからの社尼崎青年会議所に求めること

現在のLOMがどうなっているのか、卒業して何年も経っていて判らないので、コレと言って求めるものはありません。僕たちの時代もそうでしたが、過去を振り返って、自分たちの進む道を決め、進

み、そして、自分の行なっている事が正しいのかを省み、後輩たちに、“生き様”を見せて行く事が重要です。

また、誰が主体者であるのか、その主体者の事を第一に考えた事業を展開する事が重要です。例えばキャンプ。子どもたちの事を第一に考えて展開しているだろうか。場所や期間など、LOMメンバーの都合や親御さんへの配慮を優先して展開していないだろうか。キャンプで大事なものは、日頃と違う環境の中、子どもたちが主体者となって、衣食住をする事だと思います。

JCの素晴らしいところは義であり、伝統があるという事です。時代や人が変わっても、義は変わらないもので、義がなくなると、JCの意味がなくなります。JCの価値は修練、奉仕、友情で、まず修練です。修練があり友情が生まれ、奉仕を行なう。修練をするためのJCで、義をないがしろにしてはいけないと思います。



2001

(平成13年)



第42代理事長
増富忠義

生年月日 昭和36年11月29日
血液型 A型

会員数 131名
J C 歴 1989～2001年(2002年)

諸事業	
2月10日	ボランティアのつどい
3月16日	3月度公開例会「青少年問題 子どもの今!いじめ」パネルディスカッション
4月20日	4月度公開例会「21世紀 大きな曲がり角にある日本」講師:衆議院議員 石原伸晃氏
5月18日	5月度公開例会「ザ・チャレンジド!!」障害があっても働きたい 講師:㈱プロップ・ステーション 理事長 竹中ナミ氏
5月26日	西面(ソメヨシ)JC姉妹締結15周年記念事業
6月15日	6月度公開例会「心のゆとり」講師:報徳学園相撲部監督 福田耕治氏
7月18日	7月度公開例会「高齢社会と介護」夫のかわりはおりまへん 講師:前高槻市長 江村利雄氏
8月10日	イキイキワクワク野球観戦in甲子園スタジアム
8月17日	8月度公開例会「尼崎の海の移り変わり」 講師:尼崎市臨海地域開発担当課長 藤田末廣氏
8月25日・26日	青少年キャンプLet's Begin「あまっこの星みた ところのき村」
9月16日	あまがさきの海はどんな色? PART II
9月23日	9月度公開例会 ゴスペルチャリティーコンサート～愛の心を大きな夢にひろげよう～ Spirit of Colors(スピリット オブ カラーズ)
9月24日	30周年記念事業継承「タイムカプセル」
11月10日	尼崎市長選挙 公開討論会



		委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員							
理事長 増富忠義	専務理事 磯田雅司	理事長公室 室長 大園 武史	渉外委員会	芝 泰雄	松岡 秀行	山田 貴仁	紀川和弘 村山 猛	民岡 壽行	仁川 政吉	福島 眞一			
		総務室 室長 佐茂 省治	総務委員会	高山 照幸	太田 芳蔵	西牧 義晃	井関文洋 密 克行	大塚 一宏	妹尾 貴之	大長 豊			
			広報委員会	平井 誠司	立浪 勉	廣田 真人	大村 哲也	川端 努	佐藤 宏幸	森垣 明宏			
監事 小島 成介 丸山 孝宏	副理事長 香田 哲	ゆめづくり室 室長 鍵田 智嗣	愛の心実践委員会	山本 卓也	野澤 利一	大内 康裕	山本新太郎	竹村 誠	難波 克年	花田 勝則			
			青少年委員会	松本 康利	倉本 忠男	井木 剛	高橋 和人	矢島 孝保	仁 達男	武井 伸吾			
直前理事長 山本 雅彦	副理事長 瀬口 泰弘	ひとつづくり室 室長 北方 健之	200人LOM拡大委員会	小村 公成	五島 克卓	丹羽 眞生	松本 昌人	清水 宏真	平尾 秀樹	松元 博樹			
			公開例会委員会	寺本 恵一	朝本 数久 中林 弘明	田村 亜紀 長谷 大介	秋澤 督浩	西河 雄二	平川 昌哉	石塚 久美子	武田 英俊	早水 業浩	丸岡 正和
			まちづくり委員会	斉藤 電政	江田 政亮 高津 哲	田民 恵一 萬壽 啓高	梅本 太志 野崎 日出夫	大原 英津子	小泉 雅裕	武井 彰	森田 悦正		
オリエンテーション 特別会議 議長 深海 淳	オリエンテーション 特別会議 副議長 太治 豊勝		オリエンテーション担当理事	野原 基弘	石伏 叡斎	浜野 雅夫	岡田 昌幸・岡本 考喜・雄古 彰久・宏林 晃信・宮元 咲子(渉外) 神谷 俊彦・川岸 邦充・小林 史人・渡部 浩史(総務) 岸田 健一・北沢 謙二・佐藤 佳子・山田 一恵(広報) 金田 一平・肥後 信治・藤下 昌利・吉岡 悟(愛の心実践) 作田 誠司・平田 正人・村上 慶司・横見 秀和(青少年) 唐沢 明宏・下境 田耕治・三谷 光之・光森 正真(200人LOM拡大) 王 行順・大野 勇治・西本 誠・松浦 和久・山下 知穂(公開例会) 小林 孝・清水 義文・谷川 正秀・西村 栄浩・長谷川 憲次(まちづくり) ()内は研修先委員会名						
			ボランティア担当理事	江頭 智三	井野 貴人	小山 千代治							

日本での出来事

- 4月24日:【自民党総裁に小泉】自民党総裁選は、都道府県ごとの予備選で圧勝した小泉純一郎が、国会議員を交えた本選挙でも1回目の投票で過半数を獲得、第20代総裁に選ばれた。
- 6月8日: 大阪教育大学附属池田小学校で児童8人を殺害。
- 9月10日: 国内初の狂牛病。
- 9月30日: 巨人の長嶋茂雄監督が引退した。
- 11月25日: 自衛隊が海外で軍事支援。
- 12月1日:【皇太子夫妻に第1子誕生】皇太子妃雅子様が女児を出産した。7日、愛子様と名付けられた。

世界での出来事

- 9月11日: 米中核部に同時多発テロ。
- 10月7日: アフガニスタンへの空爆。

スローガン》一念不動 ～愛の心を 大きな夢にひろげよう～



1、一番思い出となった事業内容

当時、青年会議所の理事長をする前に、青年会議所とNPOや市民とのギャップを感じていた。青年会議所の本来の目的は何かと考えると、目的は地域のためにある団体だと思い、発想をNPOや市民寄りにして、例会を全て公開例会にしました。「開かれた青年会議所」というキャッチフレーズを作って、NPO団体や市民と同じ目線になるよう、公開例会にしました。例会には、多くのNPOの方々、市民などがお越しになったので、緊張感がある例会になりました。

一番の事業は選び難いが、アルカイクホールオクトで、ゴスペルのコンサートをした例会が思い出として残っています。

まちづくり系の事業が、朝早く行われたので、車で武庫川沿いを走っていました。居眠り運転をして、事故を起し、副理事長に挨拶を代わりでしてもらったことが、失敗の思い出かな。



2、今だから言えること

いっぱいある、選挙の話などは今でも言えません。一つ言えることは、その時の人間関係が今でもそのまま続いています。多少は良くなったり、悪くなったりはありますが、基本的には変わっていません。30代を振り返るとJCの思い出しかない。

理事長をした時は、準備期間が長かったので、夏を過ぎて9月を過ぎると疲れ



果てて、もう辞めたかった。ある方に「人生は天秤ばかりと同じ。重い理事長職をすると、天秤ばかりが片寄りすぎる。もう一方の比重を重くするには、発散という重しを置くことが必要」とアドバイスをいただいた。だから、発散するためによく遊びました。

準備期間も長く一生懸命走り、天秤ばかりの法則に従って、おおいに遊んだので、精神的にも肉体的にもフラフラになり、10月くらいにはヘトヘトになっていました。早く理事長職を終わりたいと思っていた。それが、今だから言えることかな。

3、これからの(社)尼崎青年会議所に求めること

正しい団体であってほしいという想いがあります。JCは長けているところもあるが、常識的な部分ができていないところも多い。正直に言うと、相当に出来が悪いところも多いと思います。理事長が毎年代わって、それぞれの事業に想いをぶつけますが、大したことはできません。だって、理事長本人がまだまだ未熟な人間だから。だから、ちょっと勘違いしていますね。出来が悪いところが多いことを自覚をすること。

JCを卒業して仕事を懸命にやっているとわかることがあります。JCにいる時は、こんな立派なことをしている団体はないと思っていましたが、以外とそう

ではない。仕事において、自分自身の人格・人間性を度外視して素晴らしいことをしようとしても、所詮は大したことはできません。JC活動も然りで、人間性や人格を磨くことが大事だと思います。

今はJC活動すること自体が経済的にも大変です。日々の活動においてバカバカしく思える時もあると思う。でも、私の人生のルールに「幸せは不幸せの振りをしてやってくる」というのがあります。それを信じてやってください。信じてやっていると不思議と幸せは返ってきます。その人間に価値があれば、必ず返ってきます。正しい行いをする。正しいJCを一生懸命やってもらいたい。これが願いです。



2002

(平成14年)



第43代理事長
香田 哲
生年月日 昭和38年8月24日
血液型 O型
会員数 123名
JC歴 1987～2003年

諸事業	
4月16日	第1回ビジネスセミナー 「あなたを勝ち組にしたいですか」～経営者の資産編～
5月14日	第2回ビジネスセミナー 「あなたを勝ち組にしたいですか」～リーダーシップ編～
5月25日	第3回わんぱく相撲「あまがさき場所」
6月8日	第1回あまがさき中学生連絡会議
6月18日	第3回ビジネスセミナー 「あなたを勝ち組にしたいですか」～経営戦略編～
7月7日	最終回ビジネスセミナー 「あなたを勝ち組にしたいですか」～AGセミナー～
7月20日	第2回あまがさき中学生連絡会議
8月9日	青少年キャンプ「ある夏の日の記念樹～メモリー～」
9月14日	第3回あまがさき中学生連絡会議
10月19日	タウンミーティングIN尼崎
11月10日	第4回あまがさき中学生連絡会議
11月24日	ユニセフカップ 尼崎シティ国際ハーフマラソン



			委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員				
理事長 香田 哲	専務理事 阪本慶秀	総務室 室長 寺本恵一	総務委員会	江田政亮	松岡秀行	川岸邦充	大原英津子	小泉政裕	小村公成	清水義文	田民恵一
			国際渉外委員会	浜野雅夫	朝本数久	下境田耕治	長谷大介	西村近司	平尾秀樹	福島眞一	
監事 太治豊勝 北方健之	副理事長 磯田雅司	JAYCEE室 室長 山本卓也	広報委員会	廣田真人	山本新太郎	宏林晃信	紀川和寛	北沢謙二	鴻池肇一	民岡壽行	仁川政吉
			例会委員会	大内康裕	山田貴仁	唐沢明弘	早水業浩	松岡英和	村上憲司	横見秀和	神谷俊彦
直前理事長 増富忠義	副理事長 深海淳	ネットワーク室 室長 松本康利	会員拡大委員会	太田芳蔵	小山千代治	松浦和久	小林孝	作田誠司	竹村誠	難波克年	野原基弘
			ビジネスネットワーク委員会	中林弘明	田村亜紀	西本誠	古川英司	丸岡正知	光森正真	村山猛	山田一恵
	副理事長 佐茂省治	ジュニア育成 委員長 芝 泰雄	ジュニア育成委員会	立浪 勉	平川昌哉	大野勇治	大澤一郎	金田一平	清水宏寿	新川貴史	武田英俊
	エコシティ 特別議長 大園 武史	エコシティ室 室長 高山照幸	エコシティ委員会	武井 彰	西牧義晃	安田 亨	大村哲也	倉本忠男	小林史人	齊藤竜政	島谷 太
			未来リジョン委員会	野澤利一	丹羽眞生	平田正人	石塚久美子	岡本考喜	雑古彰久	高橋和人	谷川正秀
			選挙管理委員会				縄田 誠	森上 恒	森田悦正		
			褒章委員会	五島克章	深海 淳		磯田雅司	大園 武史	佐茂省治		

日本での出来事

- 1月23日：牛肉偽装事件。
- 9月17日：日朝首脳会談 24年ぶり拉致被害者5人帰国。
- 12月19日：巨人の松井秀喜、大リーグのニューヨーク・ヤンキース入団が決定。

世界での出来事

- 1月1日：【ユーロ現金流通開始】
- 第19回冬季オリンピック ソルトレーク・シティー(米国)【2月8日～】
- 第17回ワールドカップ 【開催国】韓国・日本(初の共同開催)【5月31日～6月30日】
- 10月12日：パリ島で爆弾テロ。
- 10月23日：モスクワで劇場占拠事件。

スローガン》 Feel Interest...



1、一番思い出となった事業内容



入会当時はバブルの全盛期で不動産関係の人が多くて、懇親会はドンチャン騒ぎで2次会は三宮や新地に行っていました。副委員長になって、2次会は理由を付けて、帰っていました。本当はお金がなかったからで、すごく悔しかったのを覚えています。そして、この人たちと付き合えるようになるために、会社を大きくしようと思いました。JCに入っていなかったら会社を大きくしようとは思わなかったかもしれません。

小島先輩が理事長の時に専務理事をしました。専務理事は一番面白いですね。LOMを仕切って、失敗しても理事長が後始末をしてくれます。この年は、完全に任せられて、1年間やりたい放題でした。理事会のペーパーレス化。まだパソコンが普及していなかったため、無理を言ってパソコンを買ってもらいました。あと禁煙。理事会中でもタバコを吸っていましたので反発もありました。

理事長の時は、負担がないように1委

員会1例会1事業にしました。欲張りをしないで、1つの例会と1つの事業を担当してもらいました。その分きめ細かく計画を練って、内容の濃いものにしてもらいました。ビジネスネットワーク委員会を作って、会社に隠れてこそっとJCに来ている人が多かったため、JCに来て何かお土産を持って帰られるようなセミナーを開きたいと思いました。メンバーの参加者が多かったですね。メイン事業のタウンミーティングでは大臣をお呼びしたので、初めてSPに護衛されて登壇しました。後は、悪しき習慣というか伝統をいくつか廃止しました。

されましたが、温かい言葉を掛けてくれたのがこの言葉で、これが優先順位ですよとってくださいました。一番上が崇拝するもので、次が家族、仕事、JC。必要に応じて自分の考えで入れ替えるとJC活動がやりやすくなると思います。皆さんもこの言葉を覚えて、臨機応変に入れ替えると、気楽にできるのではないのでしょうか。

最後にJCを大切にもらい、いろいろ経験していただいて、他人に奪われない財産を築いてください。JCで出会った宝を大事にしてほしいと思います。



2、今だから言えること

タウンミーティングの時にすごく緊張していたので、休憩で降壇した時にビールを飲んで、ちょっと酔っ払っていました。



3、これからの社尼崎青年会議所に求めること

昔から言われていることですが、自己満足だけで終わらないように、相手の立場になって自分たちも楽しめる事業を構築してほしいと思います。

1つ覚えてほしい言葉が、God Family Business and JC。これは日本JCに出向した時に日米パートナーシップ委員会で、アメリカと協同事業をしていましたが、あまり参加できませんでした。ヒューストンJCの委員長に悲しい顔を



2003

(平成15年)



第44代理事長
儀田 雅司
生年月日 昭和38年4月14日
血液型 A型
会員数 132名
JC歴 1993~2003年(2004)

諸事業	
5月16日	5月度公開例会 これからの学校・地方教育行政のありかた
5月17日	第1回あまがさき中学生連絡会議
5月31日	第4回わんぱく相撲「あまがさき場所」
6月21日	第2回あまがさき中学生連絡会議
8月1日~3日	青少年国際交流キャンプ
8月18日	第3回あまがさき中学生連絡会議及び中学生議会
9月21日	9月度公開例会 「ペットボトル 学んで、遊んで、リサイクル!」
10月15日	第4回あまがさき中学生連絡会議
12月13日	尼崎JC杯ちびっこ軟式野球大会 決勝大会



		委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員					
理事長 儀田 雅司	専務理事 芝 泰雄	総務室 室長 浜野 雅夫	総務委員会	田村 亜紀	宏林 晃信	大澤 一郎 清水 広寿	江田 政亮 倉本 忠勇 福島 真一	唐沢 明弘 小泉 政裕 宮元 咲子	川岸 邦充 難 古彰久 山内 憲照	北沢 謙二 高橋 和人	北垣 卓康 野上 英則
		渉外委員会	大内 康裕	鴻池 肇一	八島 貴志	朝本 圭亮 川合 真二 長谷 大介	井野 貴人 坂原 寛 仁川 政吉	梅本 太志 鳥谷 太 野原 基弘	岡本 考喜 芝田 有輝 早瀬 法正	加林 良一 新川 貴史 山崎 安彦	
監事 太田 芳蔵 立浪 勉	副理事長 佐茂 省治 阪本 慶秀 太治 豊勝	会員室 室長 山本 卓也	例会委員会	松浦 和久	石塚 久美子	小林 孝誠 縄田 誠	海老原 亨 斎藤 竜政 長谷川 亮太	大西 正高 佐野 智 村山 猛	奥地 康紀 武井 伸吾 森 満	国本 東煥 田中 規實 森上 恒	小倉 昌樹 野澤 利一 渡邊 剛史
		地域室 室長 中林 弘明	広報委員会	山田 貴仁	松岡 秀行	清水 義文	岡本 敏和 田所 紳二 光森 正真	北村 行久 難波 克年 森田 悦正	工藤 将 橋本 隆志 横見 秀和	西村 近司 金田 一平 吉岡 悟	杉岡 洋 松本 昌人 北川 良成
直前理事長 香田 哲		青少年委員会	下境田 耕治	井木 剛	森 貴志	荒田 幸治 作田 誠司 廣岡 大雄	岡田 昌幸 高橋 健一郎 平尾 秀樹	鍵田 智嗣 竹村 誠 三谷 光之	花田 勝則 森垣 明宏 紀川 和寛	肥後 信治 吉識 あゆ子 岸田 政文	東 浩史
		地域政策委員会	廣田 真人	大野 勇治	中村 彰良	宇野 泰明 小林 史人 早水 業浩	大原 英津子 佐々木 義和 寺田 一恵	大村 哲也 佐藤 佳子 吉田 哲也	米田 弘司		
		議長	会議名	副議長	運営幹事	委員					
EコシティAMAGASAKI会議 議長 寺本 恵一	Jaycee研修・拡大会議 議長 高山 照幸	選学管理委員会				副委員長出向者					
		褒章委員会	谷川 正秀	太治 豊勝	阪本 慶秀 佐茂 省治	幹事出向者					

日本での出来事

- 3月1日：りそな銀行、埼玉りそな銀行 [大和銀行とあさひ銀行が合併・再編]
- 3月5日：【口疑疑惑で無罪判決】
- 5月：個人情報保護関連法が成立。

世界での出来事

- 3月20日：米軍がイラクに侵攻。
- 11月20日：イラクの日本外交官射殺される。
- 12月14日：フセイン元大統領拘束。

スローガン》 NEXT まだ描き続けたい夢がある



1、一番思い出となった事業内容

一番の事業を挙げるのは難しいなあ。夢を語る教育をテーマに事業を展開し、中学生連絡会議ではこども市議会、青少年は2泊3日のキャンプと子どもたちに夢を与えることを念頭におき形にしました。阪神タイガースの優勝の年で子どもたちに甲子園の土を踏ませてあげたいと思いましたが、甲子園を借りることはできなかったため、鳴尾のタイガーデンで少年野球の決勝大会をすることができました。1年を通して子どもたちの笑顔に接する事業ができたことが思い出です。

理事長をした1年があったから、今でも教育に特化した活動を行なっています。今でも現役でJCの1年があったから、がんばれると思っています。有意義な1年でした。



2、今だから言えること

理事長をさせてもらったことに感謝しています。理事長は公人で、受けた時



点で何よりも優先することを覚悟しました。その気持ちメンバーにも通じて、100%例会を達成することができました。100%例会達成の記念カードがあって、今でもお守りとしてもっています。



3、これからの社尼崎青年会議所に求めること

後輩を育てること、伝統をつないでいくこと、こういう研修団体はありません。社会人としての礼儀作法やスピーチができる人間に成長させてくれます。尼崎のリーダーシップが取れる養成団体として、引き継いでいってほしいと思います。卒業した先輩が「あのJCを卒業したんだ」と誇りに思えるような団体であってほしいと思います。「恥ずかしながらJCの理事長をしていました」なんて言わないようにしてください。

JCにいて恥ずかしいと思う人もいるかもしれないが、JCを一生懸命しているかによって、個人差があります。しかし、その人たちが協力しないと100%例会なんてできません。価値観の共有というか熱い想いを伝播する。月に1度の例会は日時が決まっているのだから何よりも優先で、入ったからには出席が義務であって、来ないのは怠慢だと思います。それで来ないのは理事長の求心力、委員長の求心力がどうなのかと思います。求心力は言葉の力強さ、というか引っ張っていくパワーで、覚悟して理事になった以上は、どう伝えていくのかを考えないといけないと思います。

JCは伝統と文化を守ってい

2004

(平成16年)



第45代理事長 阪本 慶秀

生年月日 昭和44年2月28日
血液型 A型

会員数 118名
J C 歴 1993~2009年

諸事業	
2月21日・22日	研修事業「あなたの英知と勇気と情熱のベクトルは?」
5月15日	第1回あまがさき中学生連絡会議
6月12日	(社)尼崎青年会議所創立45周年事業「出沒! 尼街ツク天国」 &これでもいいのか尼崎 ~すべては尼崎JC次第!?~6月例会
6月19日	第2回あまがさき中学生連絡会議
7月17日	第3回あまがさき中学生連絡会議
8月22日・23日	青少年育成事業 Friends(フレンズ)~朋♀友~
9月12日	創立45周年式典及び祝賀会、歴代理事長会議
10月16日	第4回あまがさき中学生連絡会議
11月6日	青少年育成事業 Friends(フレンズ)~朋♀友~ 交流事業再開パーティー



スローガン » One Step Away. とともに一步前へ進みましょう



1、一番思い出となった事業内容

全ての事業で、どれか1つというのは挙げられないなあ。当時の委員長、議長は各々素晴らしい個性を持った人ばかりで、自分独自の色を出して、各々のやりたいことを全力でやってくれたと思っています。例会、キャンプ、中学生連絡会議しかり、対外事業を抱えていない総務や広報委員会もいい活動をしてくれました。45周年記念事業、式典も勿論素晴らしいかったですし、全ての事業が青年会議所らしい事業でした。そういう意味で、すべての例会、事業が素晴らしい思い出です。



2、今だから言えること

当時、専務理事をしてくれた山本卓也先輩には大変苦勞をかけたと思います。有名な話ですが、山本先輩は僕の専務理事がきっかけで糖尿病になってしまいました(笑)。理事長をさせてもらったのが35歳でまだ若く、理事や一般メンバーに



は年上の方が多くいて、私に対する多くのクレームを彼が正面から受けてくれていました。どんなクレームがあったのかは、彼が話をしてくれないので全く知らないですけど(笑)。でも、彼が日増しにやつれていったのを見ると、相当なクレームをもらっていたのではないかと今では思います。私が先輩の残りのJCライフを寂しいものにしてしまいました(笑)。

17年間JCをやってきて、一番いい時代にJCをさせてもらったと思っています。入会した時はバブルがちょうど終わった頃で、まだ派手な部分が残っていました。それから不景気になると、本来のJC活動とは何だろう?と考える時期もありましたし、青年会議所が時代に応じて変化するところも経験させていただきました。理事長をした5年前は、入会3年未満のメンバーが3分の2いて、JCそのものが白紙でいるメンバーが多い中、新しい時代のJCを作らなければいけないとも思いました。本当にいろいろな転換期にJCをさせてもらったと思っています。

3、これからの(社)尼崎青年会議所に求めること

青年会議所の基本理念は変わってほしくないと思っています。事業のあり方、手段や方法は時代に応じて変わってもいいと思いますが、基本的なJCの精神、原理原則である修練・友情・奉仕の三信条は、どんな

時代であってもメンバー各々が買ってもらいたいと思います。お金や仕事を理由に修練を放棄してはいけません。友情と言っても見せかけではなく、ケンカをしてでも本物の友情を育ててほしい。今の理事会は優しいので心配になります。奉仕は一言でいうと「滅私奉公」。いかに自分を犠牲にして公の為に尽くせるか。これは根本的に青年会議所のすべての活動の原点であるし、普遍的な基本理念であると思っています。この精神だけは青年会議所が50年経とうが100年経とうが、どんな時代になろうが、メンバーが入れ替わり、理事長が替わっても、絶対に変えてほしくないと思います。継続事業もあるが、地域、街の人が今本当に求めているモノは何なのか、自分のことは後回しにして素早く察知しなければならない。そしてその実行には英知と勇気と情熱が必要です。周りが今何を求めているのか逸早く察知する英知、既存のものや固定観念を変える勇気、それを遂行、貫く情熱です。三信条を原理原則、基本理念として、英知と勇気と情熱を武器にしているのが青年会議所です。これは何年経っても変えてほしくないと思います。

最後に、自分にハードルを作って、目の前にある難問から逃げ出してしまうことを考えず、歴代理事長を始め、すべての先輩が悩みや苦勞を乗り越えて守ってきた(社)尼崎青年会議所を、今度は現役の皆さんが本気の覚悟を持って守って行ってほしいと思います。



		会議 委員会名	委員長	運営幹事 局長 副委員長	幹事	委員														
理事長 阪本 慶秀	専務理事 山本卓也	総務室 室長 廣田真人	安田 亨	西村 近司	大村 哲也 田所 紳二	荒田 幸治 杉岡 洋二 吉田 哲也	岡田 昌幸 馬場 國三	金山 幸司 藤井 二成	北川 良成 藤井 秀樹	木村 武史 山崎 安彦										
		渉外委員会	平川 昌哉	森 貴志	岡本 考喜 森 正浩	大西 正高 堀 祐勤	紀川 和寛 渡邊 剛史	坂原 寛 工藤 稔	橋本 隆志 小林 孝											
		例会委員会	鴻池 肇一	宏林 晃信	北新 康史 武井 伸吾	北村 行久 武田 英樹	小林 史人 寺田 二恵	小林 史人 松本 昌人	清本 広寿 福島 真二											
		広報委員会	縄田 誠	村上 憲司	宇野 泰明 芝田 有輝 吉識 あゆ子	奥地 康紀 田中 規真 渡 貴行	小林 史人 川合 真三	佐々木 義和 松本 昌人	黒村 光昭 村山 猛											
監事 斎藤 竜政 山本 新太郎	副理事長 芝 泰雄	会員室 室長 武井 彰	鴻池 肇一	松岡 秀行	長谷川 亮太	宇野 泰明 芝田 有輝 吉識 あゆ子	奥地 康紀 田中 規真 渡 貴行	小林 史人 川合 真三	佐々木 義和 松本 昌人	黒村 光昭 村山 猛										
		副理事長 高山 照幸	地域室 室長 大内 康裕	松岡 秀行	藤下 昌利	雑古 彰久	大輪 裕朗 谷藤 健夫 森 垣明宏	加林 良一 長谷 大介	川合 真三 仁川 政吉	岸田 政文 野瀬 利二	岸本 幸三 北方 健之									
	研修拡大特別会議 議長 寺本 恵一	研修担当 副議長 松浦 和久	大澤 一郎 清水 村彰	川岸 邦充 藤 佳志	石塚 久美子 唐沢 明弘 平 正人	井野 貴人 園本 悦正 森田 健太郎 森岡 新	梅本 志誠 竹村 誠誠 吉本 秀男 小川 佳生 山内 靖隆	岡本 敏和 野原 基弘	鎌田 智嗣 平尾 秀樹	金田 一平 光森 正真										
		45周年実行委員会 委員長 中林 弘明	記念事業担当 副議長 江田 政亮	石塚 久美子 唐沢 明弘 平 正人	井野 貴人 園本 悦正 森田 健太郎 森岡 新	室長・副議長・委員長出向														
		選挙管理委員会	大原 英津子	芝 高 泰雄 山 照 幸	寺本 恵一 中林 弘明															
		褒章委員会	大原 英津子	芝 高 泰雄 山 照 幸	寺本 恵一 中林 弘明															

日本での出来事

- 1月12日：日本国内では79年ぶりとなる鳥インフルエンザが発生。
- 1月19日：自衛隊イラク派遣開始。
- 5月22日：小泉首相が北朝鮮を再訪問。平壤で、日朝首脳会談が行われる。拉致被害者の家族5人が帰国。
- 9月1日：浅間山噴火。
- 11月1日：改正道路交通法施行、運転中の携帯電話使用が罰則対象に。
- 11月2日：プロ野球で60年ぶりに東北楽天ゴールデンイーグルスの新規参入が決まる。
- 12月2日：ニンテンドーDSが発売。

世界での出来事

- 3月11日：スペイン列車爆破事件発生。
- 4月7日：イラク日本人人質事件発生。
- 5月6日：上海総領事館員自殺事件。
- 8月13日：アテネオリンピック開幕(～8月29日)。
- 12月26日：スマトラ島沖地震が発生。

2005

(平成17年)



第46代理事長
芝 泰雄
生年月日 昭和40年11月16日
血液型 A型
会員数 118名
J C 歴 1997~2005年(2006)

諸事業	
3月26日・27日	第1回あまがさき中学生連絡会議
4月8日	第1回震災10周年事業尼崎祭実行委員会
4月16日	(社)尼崎青年会議所4月度公開例会「学ぶことが楽しいまち 尼崎」を目指して 講師：尾道市立土堂小学校校長 陰山英男氏
5月9日	第2回震災10周年事業尼崎祭実行委員会
6月16日	第3回震災10周年事業尼崎祭実行委員会
7月9日	7月度研修事業「義」自らの姿勢を正すことからはじめよう！
7月16日	第3回あまがさき中学生連絡会議
7月16日・17日	真夏の夜の避難所体験
8月5日~7日	青少年事業「めざせ！頂上、仲間とともに〜サマーキャンプN大山」
8月22日	第5回震災10周年事業尼崎祭実行委員会
8月28日	尼崎祭 あまテラス 第4回あまがさき中学生連絡会議
11月21日	11月研修事業「2005 義の完結へ」



		会議 委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員				
理事長 芝 泰雄	専務理事 田村亜紀	総務室 室長 鴻池肇一	総務委員会 森上 恒	八島貴志	藤井一成	工藤 将 森垣明宏	田所紳二 光畑朋宏	寺本恵一 福永洋一	野上英則	松本昌人
			組織活性化委員会 西村近司	廣岡大雄	堀 祐勤	岡本考喜 武井伸吾	金山幸司 竹村 誠	坂原 寛 長谷川亮太	佐々木 寛 三宅正人	佐々木義和
監事 下境田耕治 山本卓也	副理事長 高山照幸									
	副理事長 江田政亮	交流室 室長 縄田 誠	例会委員会 唐沢明弘	岸田政文	谷藤健夫	宇野泰明 森 満	梅本太志 森岡 新	大内康裕 吉識あゆ子	岡本敏和 吉田哲也	杉岡 洋
直前理事長 阪本慶秀	副理事長 廣田真人	会員室 室長 安田 亨	青少年委員会 島谷 太	石塚久美子	藤井秀樹	荒田幸治 野澤利一	岡田昌幸 平尾秀樹	木村武史 山内靖隆	竹田秀明 野村佳生	田中規貴
			拡大委員会 宏林晃信	西本 誠	山本 勉	宇都宮勇仁 清水広寿	岡田茂夫 谷山 哲	貴島 理 板尾充孝	北村智志 洪田順博	小林英志 山下秀之
			研修委員会 平田正人	佐藤佳子	大輪裕朗	井木 剛 芝田有輝	大西正高 中村彰良	奥田芳雄 馬場園典三	北村行久 山田貴仁	小林 孝
			広報・渉外特別会議 議長 武井 彰	渉 外 村上憲司	矢島孝保	重村光昭	委員会幹事出向 2004年度入会者			
			出向者支援 松岡秀行	海老原 亨	村山 猛					
			広 報 西牧義晃	大澤一郎	光森正真					
			地 域 川岸邦充	早瀬法正	山崎安彦	大村哲也 長谷大介	北川良成 小川秀男	北沢謙二 仁川政吉	小林史人	寺田一恵
			行 政 平川昌哉	北垣卓康	大浦亮太	井野真人 野原基弘	金田一平 吉本 誠	岸本幸三 渡 貴行	武田英俊 山本 正	難波克年
			中学生連絡会議 藤下昌利	清水義文	新川貴史	井田佳宏 森 貴志	加林良一 森田悦正	川合真二 中川健太郎	国本東煥	橋本隆志
			褒賞委員会 下境田耕治							

日本での出来事

- 2月16日：京都議定書発効。
- 2月17日：中部国際空港が日本の愛知県常滑市沖合に開港。
- 3月16日：島根県議会で「竹島の日」条例が成立。
- 3月25日：2005年日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が開幕(9月25日まで開催)。

世界での出来事

- 4月2日：ローマ法王ヨハネ・パウロ2世が死去。
- 7月7日：ロンドン同時爆破事件が発生。
- 7月17日：アメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイムにあるディズニーランドが開園50周年。
- 7月23日：エジプト同時爆破テロが発生。
- 7月26日：日本人宇宙飛行士野口聡一が搭乗したスペースシャトル打ち上げに成功。
- 香港ディズニーランドが開業。
- インドネシア・バリ島で同時爆弾テロ発生。

スローガン」 「義」



1、一番思い出となった事業内容



一番覚えているのは、あまテラスと青少年事業の大山登山ですね。大山には一番登れないと思われていましたが、登ることができました。次の日は筋肉痛がひどくて、階段を登ることもできませんでした。あまテラスをするに当たっては、専務をしている時に県の事業を点検する会があって、無駄があるように思いました。JCで何かさせていただけないですかと伝えました。そういう経緯で震災10周年事業と言うことで開催をしました。今まで派手な祭りをした経験がなく、いろいろな団体に出してほしいと打診がありました。舟だんじりは、ほとんど川岸君がしてくれました。舟だんじりを出すにも結構反対があり、大変でした。

あまテラスは感動したなあ。中学生たちは終わったら泣くだろうと思っていましたが、途中で泣いてましたよ。

この年は忙しい年で、全国大会が姫路、近畿地区大会が加古川と、兵庫県に

固まっていました。尼崎を含めて、県内のLOMが副主管でお手伝いをしました。例会の1つ1つ、一生懸命してくれているんだと思うと全て感動するものです。

2、今だから言えること

様々な大会の時に、前泊をしていました。向こうのLOMの人たちと飲んでいるのが楽しかった。全国大会の時は、前の日に岡山に行って飲んでから皆と合流しました。今でも岡山との交流は続きます。

理事長でしんどいというか辞めたいなあと思ったのは、陰山先生を呼んだ公開例会。学校の先生とPTAの親の前であいさつをしないといけなかった時で、何を話していいかわかりませんでした。でも、例会のあいさつはいつも緊張していました。緊張してマイクを握ると手が震えるから、スタンドを持っていた。緊張しなくなったのは、アスパックが終わると、次年度が始まるので居直り、それで気楽になってきたなあ。



3、これからの(社)尼崎青年会議所に求めること

JCも仕事も一緒に、自分の背中には会社の看板を背負っているのだから、自分が信用されれば会社も信用されます。いいこともふざけたことも含めてJCを一生懸命するべきだと



2006

(平成18年)



第47代理事長
高山 照幸
生年月日 昭和43年6月3日
血液型 A型
会員数 110名
JC歴 1997~2008年

諸事業	
4月21日	4月度例会 ホーキング青山氏~心のバリアフリーを尼崎から~
6月24日~26日	韓国釜山西面JC 姉妹締結20周年記念式典
7月12日	研修事業 草抜き
7月26日	研修事業 草抜き
8月2日	研修事業 草抜き
8月5日・6日	2006青少年事業「走破75キロ! ツールドあまがさき」
8月23日	研修事業 草抜き
8月27日	研修事業 草抜き+ネット張り
9月16日	第4回 あまがさき中学生連絡会議「あまがさきの中学生の願い」 フェニックス秋祭り~あまがさきの夜空を見上げて~
9月23日	研修事業 稲刈り
10月27日	会員室合同研修事業「WHAT JC? WHY JC?」
11月10日	尼崎市長選挙 公開討論会



		会議 委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員					
理事長 高山照幸	専務理事 森上恒	総務室 室長 西村近司	総務・渉外委員会	村上憲司	谷藤健夫	野村佳生	宇野泰明 野澤利一	貴島理 平尾秀樹	芝田有輝 政岡英樹	清水義文	梶尾充孝
監事 江田政亮 山本卓也	副理事長 鴻池肇一	会員室 室長 宏林晃信	拡大委員会	唐沢明弘	佐藤佳子	奥田芳雄	北垣卓康 野原基弘	小林孝 浜本順博	小林英志 馬場園真三	坂原 寛 山田貴仁	新川貴史
			研修委員会	八島貴志	重村光昭	森岡 新	荒田幸治 戸田直人	木村武史 松井王雄	佐々木 寛 野上英則	竹村 誠 山本 勉	寺本恵一
直前理事長 芝 泰雄	副理事長 武井 彰	青少年育成室 室長 川岸邦充	中学生連絡会議	藤井秀樹	光森正真	山内靖隆	宇都宮勇仁 田所紳二	加林良一 橋本隆志	小林史人 山崎彦彦	清水広寿 松岡秀行	田中規則
			青少年委員会	矢島孝保	国本東煥	川合真二	井田佳宏 武田英俊	梅本太志 谷山 哲	北川良成 長谷大介	西本 誠 寺田一恵	北村行久
顧問 阪本慶秀	副理事長 田村亜紀	交流室 室長 西牧義晃	例会委員会	藤下昌利	大村哲也	福永洋一	小川秀男 伊東政信	金山幸司 森 満	北沢謙二 岡田茂夫	寺田一恵 吉田あゆ子	中川健太郎
			広報委員会	石塚久美子	山本 正	長谷川亮太	中村彰良 竹田秀明	大輪裕明 縄田 誠	山下秀之 平田正人	吉本 誠 村山 猛	北村智志
	地域活性化協議 課 安田 亨	地域活性化室 室長 平川昌哉	地域活性化委員会	廣岡大雄	大澤 一郎	三宅正人	大浦亮太 松本昌人	工藤 将 光畑朋宏	武井伸吾 森田悦正	早瀬法正 吉本 誠	堀 祐勤
	出向室	出向室 近畿地区 兵庫ブロック協議会	副会長 阪本慶秀 役員 江田政亮 役員 森 貴志	山本卓也	鴻池肇一	武井 彰	田村亜紀	安田 亨			
		褒賞委員会		山本卓也	鴻池肇一	武井 彰	田村亜紀	安田 亨			

日本での出来事

- 9月20日：第21代自民党総裁に安倍晋三官房長官が就任。同月26日に第90代内閣総理大臣に指名され、安倍内閣が正式発足。

世界での出来事

- 2月10日：トリノ冬季オリンピック開幕。
- 3月3日：第1回 ワールド・ベースボール・クラシックが開幕。
- 5月20日：イラクでフセイン政権崩壊後、約3年ぶりに正式政府が発足。
- 6月9日：FIFAワールドカップ™ドイツ大会開幕。
- 11月5日：イラク高等法廷は、サッダーム・フセイン元イラク大統領に死刑判決を言い渡す。
- 12月26日：サッダーム・フセイン元イラク大統領の死刑が確定。

スローガン」 「感謝」



1、一番思い出となった事業内容

2つあるかな、1つはフェニックス秋祭りの花火。もう1つは市長選挙の公開討論会。フェニックス秋祭りは今までになかった事業だと思います。前の年にあまテラスをしていたので、イベントとしてのノウハウはありましたが、花火を上げるという経験はありませんでした。行政としても過去の事故等のごもあり賛同をしてもらうことは難しく、JCとしても単年度という枠組みの中では何かと難しい部分がありました。

当日も台風が接近しており、開催するか否かを直前まで悩んでいましたが、強行した結果、奇跡的に無事終えることが出来ました。

公開討論会は尼崎市では全ての選挙を含め初めての試みでした。初めてが故に、まずは自分たちが勉強をしよう、いろいろな主義主張のある人から話を聞く勉強会を開催しました。年度当初は、候補者が1名で市長選挙がないだろうというのが大凡の予想でした。公開討論会の趣意書が理事会で議題に出した頃は、青年会議所内でも議論にさえならなかったことを思い出します。

しかし、いざ市長選挙が間近になり、どうやら選挙になると言う噂が始めてきた頃から風向きが変わり始めてきました。今考えてみると何故そんなに反対されたのか、また問題になったのかと思います。

JC内でも、現役の中にもありましたが、OBの中でもあったように思います。

プレス発表する時にも言いましたが、僕も有権者の1人で必ず1票を誰かに入れます。それは個人的なことで、青年会議所活動で主張するのは公のこと。それは裏表ではなく、あくまで公私の問題であるということです。

当日もそれなりに人が入りまして、内容



的にも非常に良い物が出来たと思っています。何より、この尼崎市に公開討論会という一石を投げられたことが何より良かったと思っています。

時間もかかりましたし、肉体的にしんどかったのはフェニックス秋祭り。精神的にしんどかったのは公開討論会。この2つがいい意味でも悪い意味でも思い出に残っています。

2、今だから言えること



理事長になる時に根回しをしなかったことが今だから言えることかな。例えば、「俺がしたいから降りてくれ」とか、「降りてくれたら、こんなしてもらおうと思っている」ということも、一切話をしなかった。

今思うと取るに足らないことです。しかし、JCの活動では自分のポリシーや精神的なこと、侵してはならない領域があると思います。唯一それにはこだわっていました。だから色んなことにつっぱっていったし、反抗していったと思います。

僕はやりたいと思って自ら手をあげました。人に担がれたわけでもないから、逃げられませんでした。人事の時もめめました。やる人だけ受けてくれと言いました。懇親会も含めて、全て100%出席しろと言いました。それが出来なければ、はじめから辞退してくれと言いました。厳しく言って、スタッフを辞退した人もいました。人に厳しくした分だけ、言われたことは全て受けようとしていました。

ブログを書いてくれと言われた時は本当に悩みました。当時の私は、読めない、書けない、適当に話すと3拍子揃っていたので、文章書くことがすごく苦手でした。でも、はじめは苦痛でしかたありませんでしたが、理事長が終わる頃は難なく書けるようになっていました。その時に思ったのは、許容範囲というのは自分で決めるのではなく、自分で広げていくものだとして教えて頂きました。

「今だから言えること？」強いて言えば、「今だから言えることがない」ということかな。思ったことを何でも口にしていました。その分、苦労したようにも思います。色々めめましたし…。

3、これからの社尼崎青年会議所に求めること

先輩の話が聞くなということ。例えば尼崎青年会議所が50年やってきて、「明るい社会を築き上げよう」という理念は変わっていません。「明るい社会」と言うのはすごく抽象的で、50年前の理想と今では違います。5年前でも違うかもしれません。青年会議所は、その時々々の時代にあって明るい社会の実現に向けて活動をしているわけですから、過去に良い成果を挙げられた事業があったとしても、その時の方法手段を持ってきて、同じことをやったとしても、それが今の社会に受け入れられるか、必要とされているかを考えると私は違うように思います。

この話はよくしますが、尼崎で創立10周年の時に「青空の日」の制定がありました。その当時の尼崎市は大変な公害問題を抱えていました。

詳細はうまく説明出来ませんが、先輩たちは空気中の浮遊粉塵を集めて、365日間データ収集をして膨大な資料を作られました。その時のデータは信憑性があると厚生省にも評価されていたそうです。その活動は新聞紙上にも取り上げられ、日本青年会議所の褒賞を受賞したと聞いています。

その後、竹瀬先輩が尼崎にガスタンクがあって、ガスタンクに絵を描こうという事業をしました。その絵を描くことによって、あって当たり前ガスタンクがなぜあるのかと疑問を持ち始めたそうで。見る目が変わってき、それがきっかけでガスタンクがなくなったそうです。

これら意外にも過去に素晴らしい事業がたくさん行われてきたと思います。それはその時は明るい社会の実現に向け何をすべきなのか？そう考えた結果、素晴らしい事業が行われたわけで、ただ、同じことをただ漠然と行っても仕方ないと思います。では、何を引き継ぐかと言うとそのことをしようとした精神だと思います。だから、今の尼崎青年会議所で明るい社会を築くために何をすべきか？それは3年前に理事長をした僕にはわかりません。

「OBの話が聞くな」と言うのは極論かもしれませんが、聞くべき内容を選別するべきであると思っています。

伝統と慣例は違います。歴史は方法手段とは別です。それを見分ける目を持ってやって欲しいと思います。



2007

(平成19年)



第48代理事長
武井 彰
生年月日 昭和43年6月11日
血液型 O型
会員数 120名
JC歴 1999~2008年

諸事業	
2月16日	(社)尼崎青年会議所 2月度例会「ゴミのまち尼崎」から「五味のまち尼崎へ」
4月1日	4月環境事業~第2章~「蘇れ庄下川、AMAGASAKI-愛で!」河川投入事業
4月11日	AMAGASAKI-愛 投入事業
4月14日	第1回 あまがさき中学生連絡会議 CLEAN & PEACEカラぼくらのまちは、ぼくらの手で~
5月27日	わんぱく相撲「あまがさき場所」
6月3日・4日	ASPAC 台南JC・岡山JC・尼崎JC 合同昼食会
6月16日	第2回 あまがさき中学生連絡会議
6月24日	6月度公開例会・環境事業 「エコシティーAMAGASAKI・アースディAMAGASAKI」
8月25日	第3回 あまがさき中学生連絡会議
9月1日	あまがさき中学生連絡会議 親睦会
9月22日	第4回 あまがさき中学生連絡会議
10月8日	青少年事業~リベンジ!レッツ 竹細工!!~
10月13日~15日	大韓民国 釜山 西面JC 交流会



		委員会名		委員長	副委員長	幹事	委員				
理事長 武井 彰	専務理事 西牧義晃	総務室 室長 唐沢明弘	総務委員会	廣岡大雄	福永洋一	中川健太郎	荒田幸治	梅崎文彦	大浦亮太	加林良一	齋藤計倫
	副理事長 江田政亮	交流室 室長 宏林晃信	広報渉外委員会	矢島孝保	重村光昭 松岡秀行	竹田秀明 柄尾充孝	芝田有輝	田所紳二	坪内祐二	栃尾修庸	長谷大介
監事 田村亜紀 藤下昌利	副理事長 鴻池肇一	青少年育成室 室長 石塚久美子	青少年委員会	三宅正人	森岡 新	浜本順博	安藤博氏	井田佳宏	伊東政信	今井良和	大内康裕
	副理事長 安田 亨	地域室 室長 森上 恒	あまがさき 中学生連絡会議	大澤 一郎	佐々木 覚	吉識あゆ子	岸田幸三	北村行久	清水義文	田中規貴	寺田一恵
直前理事長 高山照幸	特別議長 山本卓也	会員室 室長 川岸邦充	研修拡大委員会	谷藤健夫	野上英則	貴島 理	戸田直人	西本 誠	馬場園真三	早瀬法正	平田正人
	顧問 阪本慶秀						藤井秀樹	松井王雄	村上憲司	山内靖隆	
							奥田芳雄	海見康秀	北沢謙二	工藤 将	清水広寿
							徳山榮人	中上芳昭	西原忠彦	野原基弘	野村佳生
							堀 祐勤	村山 猛	山崎安彦		
							梅本太志	小川秀男	川合真二	北川良成	北村智志
							佐藤寿彦	佐藤佳子	新川貴史	武田英俊	竹村 誠
							野澤利一	長谷川亮太	山下秀之	山本 正	
							阿部賢太郎	宇野泰明	大輪裕明	金田一平	小林 孝
							坂原 覚	武井伸吾	中元 学	橋本隆志	松本昌人
							峯 林太郎	森 務	山田貴仁	吉本 誠	
							井口 豪	入口健史	宇都宮勇仁	金山幸司	河野篤史
							岸田卓也	栄 江利美	谷山 哲	中村彰良	西本貴春
							光森正真	山本 勉	吉井朋子		

日本での出来事

- 1月21日：宮崎県知事選挙で元タレントのそのまんま東が初当選。
- 3月6日：北海道夕張市、正式に財政再建団体に移行。
- 4月13日：衆議院本会議で、自民・公明党の賛成多数で国民投票法案が可決。
- 7月1日：東海道・山陽新幹線で、新型車両N700系運転開始。
- 9月23日：2007年自由民主党総裁選挙で福田康夫が麻生太郎を破り第22代自由民主党総裁となる。
- 10月1日：郵政民営化に伴い、日本郵政公社が解散。
- 10月26日：英会話学校NOVAが会社更生法適用を申請し営業を停止。

世界での出来事

- 2月10日：バラク・オバマが2008年のアメリカ合衆国大統領選挙の民主党予備選挙に正式立候補。
- 3月6日：インドネシア・スマトラ島中部でマグニチュード6.3の地震。多くの建造物が倒壊し死者多数。
- 4月16日：バージニア州のバージニア工科大学構内で、32人死亡、15人負傷とアメリカ合衆国史上最悪となる銃乱射事件発生。容疑者の韓国人学生は自殺(→バージニア工科大学銃乱射事件を参照)。
- 7月7日：サッカーアジアカップ2007開催。史上初めて4か国(タイ、マレーシア、ベトナム、インドネシア)共同開催で行われ、日本代表の1次リーグ3試合はベトナムで行われる。7月29日まで。

スローガン」 「熱き思い」



1、一番思い出となった事業内容

一番の思い出は理事長になったときで、組織を作ったり、9月総会での挨拶が緊張したことを一番覚えています。やっているときは、日々こなしていくことに一生懸命でした。キャンプが雨で中止になったのは残念でしたね。そういえば色々な事業が雨だったな。雨が思い出かな。今思うと、派手な事業はなかったが、一つ一つの事業に思い出が詰まっています。

後は「理事長、理事長」と周りが言ってくれるのが思い出。次の年は言ってもらえませんか。1年だけなんだと思いました。



2、今だから言えること

ないなあ。理事長も対抗馬もなく、すんなり決まった。

僕は人のネタで話をするのが好きではありません。人の揚げ足を取るような話を場所もわきまえずにすると、JCを知っている人に見られると、変に思われます。誰がどうのこうのというのは、僕はしてはいけないと思っています。

事業が始まると、横からの意見はあまり入りませんでした。西牧専務が、融通の利かない性格でしたので、僕がこうしないといけないうと、そうしてくれますが、それ以外はしてはいけないような、なんでもきっちり決めないといけない性格の人だったんです。

JCの第一印象は、国歌を歌う団体なんだと驚きました。あとはクリード、宣言、綱領があることにもビックリしました。そして、私が入会したときは丸山先輩が理事長を務められていたんですが、その姿を初めて見たときに理事長をしないといけない、と思いましたね。



3、これからの(社)尼崎青年会議所に求めること

大事なのは存続すること。運動のやり方も変わってきているし、今は他団体と一緒に事業をしています。これからはリーダーシップを取って、他団体と活動してほしいと思います。市民祭も実行委員会形式になって3年で、実行委員長をJCから出しています。これからはJCが主導していく市民祭りに変わっていくのではないのでしょうか。現在でも30団体くらい集まって行なっています。昔からの慣わしでややこしい部分もありますが、舵を取っていくのがJCになっていくかもしれませんね。

青年会議所でたくさん勉強してほしいと思います。私も今ではどこへ行っても、資料を見ると大体理解ができるようになり、人前で話をしたり、会議の進行や、宴会の進め方など、段取りがわかるようになりました。周りの目を見ながら、ここでこうしたらとか、事前に計画ができるようになりました。

最後に拡大も大変なのではないでしょ

うか。今は親の会社を継ぐ人が少なくなっています。だから、こじんまりしていいと思います。阪神北4LOMは協同で事業をしています。そのような形ではないと存続できないんじゃないのかな。



2008

(平成20年)



第49代理事長
鴻池 肇一
生年月日 昭和44年12月18日
血液型 AB型
会員数 111名
JC歴 1996～2009年

諸事業	
2月15日	2月公開例会 金 美麗氏「親から子供へ」 ～時代が変わっても変わらない大切なもの～
4月18日	4月公開例会 関西京都今村組 今村克彦氏「夢の見つけ方教えて」
6月20日	6月公開例会 夜回り先生 水谷 修氏「未来ある子供達へ」 ～夜回り先生からのメッセージ～
8月24日	青少年事業「海からのラブレター ～うらしま太郎 体験記～」
9月15日	あまがさき中学生連絡会議事業「第一章 友よ～笑って気付こう～」
10月5日	あまがさき中学生連絡会議事業「第二章 あなたの友情ホンモノですか?!」 メールで送る感謝の手紙」
10月25日～26日	研修事業「組織確立への道」～されどJCとは～



		委員会・会議体名		委員長・副議長	副委員長	幹事	委員						
理事長 鴻池肇一	専務理事 宏林晃信	総務室 室長 八島貴志	総務委員会	井田佳宏	栃尾充孝	河野篤史	梅崎文彦	金山幸司	岸田卓也	坂原 寛	清水義文		
			渉外委員会	森 貴志	山下秀之	松井王雄	荒田幸治	梅本太志	北川良成	武井伸吾	田中規貴		
監事 阪本慶秀 安田 亨	副理事長 江田政亮	道徳心育成室 室長 廣岡大雄	あまがさき中学生連絡会議実行委員会	森岡 新	竹田秀明	峯 林太郎	加林良一	北村智志	高橋誠一	田所紳二	野澤利一		
			青少年委員会	福永洋一	堀 祐勤	森 務	大浦亮太	工藤 将	齋藤計倫	坂部幸太	早瀬法正		
直前理事長 武井 彰	副理事長 森上 恒	会員拡大室 室長 矢島孝保	会員拡大委員会	谷山 哲	山本 勉	今井良和	大輪裕朗	小川秀男	岸田幸三	芝田有輝	新川貴史		
			副理事長 田村亜紀	組織確立室 室長 松岡秀行	組織確立委員会	谷藤健夫	阿部賢太郎	西本貴春	井口 豪	巨勢裕章	栄 江利美	重村光昭	武井耕太郎
顧問 高山照幸	組織活性化特別会議議長 唐沢明弘	組織活性化特別会議 例会担当	組織活性化特別会議 例会担当	長谷川亮太	吉識あゆ子	入口健史	伊東政信	宇野泰明	小林 孝	佐藤寿彦	戸田直人		
			組織活性化特別会議 広報担当	大澤 一郎	佐藤佳子	西原忠彦	伊藤マリア	杉村英明	武田英俊	竹村 誠	徳山榮一		
	50周年準備特別会議 議長 川岸邦充	50周年準備特別会議		平田正人	西本 誠	坪内祐二	副委員長 LOM内出向						
	褒賞委員会 委員長 西牧義晃												

日本での出来事

- 1月27日：大阪府知事選挙で、弁護士でタレントの橋下 徹が初当選。就任時で38歳と、現役都道府県知事として最年少となる。
- 4月15日：後期高齢者医療制度の対象者832万人に対する年金からの保険料天引きがこの日の年金支払いから開始。
- 7月31日：日雇い派遣大手のグッドウィルが、度重なる不祥事により、厚生労働省から一般労働者派遣事業の許可が取り消されることになり、事実上なくなったため廃業。
- 9月1日：日本の福田康夫首相が就任後1年足らずで辞意を表明。
- 9月24日：麻生太郎が日本の第92代首相に就任。
- 10月1日：松下電器産業が社名を「パナソニック株式会社」に変更。
- 10月10日：ロサンゼルス市警察、ロス疑惑問題でサイパンで拘束していた三浦和義を現地時間早朝、ロサンゼルスに向け移送。ロサンゼルス時間同日22時、拘束先のロス市警留置所内で自殺して

いるのが発見される。

- 11月26日：兵庫県西宮市の阪急西宮スタジアム跡地に、大型ショッピングモール：阪急西宮ガーデンズが開業。

世界での出来事

- 2月10日：韓国ソウル中区の南大門で火災発生、国宝の楼閣が全焼。
- 2月25日：李明博が第17代大韓民国大統領に就任。
- 5月20日：中華民国(台湾)の馬英九新総統が就任。
- 8月8日：北京オリンピック開幕(8月24日閉会式)
- 9月15日：アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻。これをきっかけに金融危機が世界的に拡大。
- 11月4日：アメリカ合衆国大統領選挙が施行され、バラク・オバマ(民主党)候補が、第44代アメリカ合衆国大統領に当選した。

スローガン》今こそ原点へ ～されどJCの発見～



1、一番思い出となった事業内容

一番というのはなかなか難しいが、50周年の1年前なので対外はあまり考えず、対内的にメンバーへ向けた一年に…と考えていた。が、蓋を開けてみると2・4・6月の3回が公開例会だった。著名な方にお越し頂き、何百人もの市民の方々にも来て頂いた。緊張もしましたが、その分良い思い出です。

サマコン、各LOMナイトももちろん楽しかった。でも12月度例会がやっぱり感慨深かった。

わんぱく相撲で行った東京。特に上野が良い思い出かな。メンバー10人程で食事をすると聞いていたので、六本木の焼鳥屋を予約していたが、結局来たのが2人。それはそれで密度の濃い一夜を過ごせたけど(笑)



2、今だから言えること

JCを退会しようかと悩んだ時期があった。そんな態度を見透かしてか、先輩から「誰もおまえに期待なんかしていないが、ただ、ここまでやったのにケツを割るのか」と本気で叱られた。何かか吹っ切れたのか、それから数年、自分なりに頑張った。2度目の副理事長の時に「理事長として頑張ろう」と、腹を決めた。

入会して初めての配属が青少年委員会。市内の小学生とキャンプに行った。武本先輩に「俺が、よし！と言うまでゴミを拾っとけ！」と命じられ、汗だくで拾ってたが、なかなかよし！と言ってくれな

い。拾うゴミがなくなり小石を拾っていたら「すまん、忘れてた」と。数時間、炎天下で放置されていた。

ある事業で小学生をいかに乗せる役目を与えられたが、その際、子どもにわき腹を蹴られて肋骨を骨折した(笑)

芝理事長の年、LOMで行ったスキーの際にまた骨折。しかも同じ箇所。放置プレーと2度の骨折に耐えたが、「汗が似合わない」と言われ続けた13年のJC生活でした。



3、これからの(社)尼崎青年会議所に求めること

所信に書かせていただいたことがすべて。先輩からよく聞かされていたのが、尼崎JCは殺し合いがないだけで、極道と一緒にだと。昔はピンときませんでしたが、今はよくわかる。

上下関係が厳しくて、先輩を敬い、後輩をかわいがる。筋を通す。すごく大事な部分だなと。

今は基本的なことがすごく薄らいでいるように思う。

それと、出向をしてLOMを上から目線で見ている人がいますが、大きな勘違い。尼崎JCという土台があるから出向もできる。だから、まずは自らが身を置く。尼崎JCを大事にしてほしい。



2009

(平成21年)



第50代理事長
森上 恒
生年月日 昭和45年7月15日
血液型 A型
会員数 109名
JC歴 2001~2010年



		会議・委員会名	委員長・担当理事	副委員長	幹事	委員						
理事長 森上 恒	専務理事 平田 正人	総務委員会	峯 林太郎	坪内 祐二	森 務	池田 和也	石上良太郎	梅崎 文彦	大西 正高	坂原 寛		
	監事 江田 政亮	副理事長 宏林 晃信	研修委員会	森岡 新	大浦 亮太	伊藤 マリア	中川健太郎	中村 誠作	藤本 恵	森 泰幸		
直前理事長 鴻池 肇一		副理事長 唐沢 明弘	50周年室 室長(事業担当) 廣岡 大雄	ひとづくり委員会	宇都宮 勇仁	高橋 健一郎	竹田 秀明	北川 良成	工藤 将	桑原 貴志	巨勢 裕章	佐藤 寿彦
	まちづくり委員会			今井 良和	芝田 有輝	中元 学	高橋 誠一	谷口 英嗣	月城 昌吉	宮崎 亨	吉識 あゆ子	
顧問 阪本 慶秀	50周年特別会議 議長 田村 亜紀	50周年室 室長(会員担当) 八島 貴志	例会委員会	井田 佳宏	西原 忠彦	杉村 英明	岸田 卓也	河野 篤史	小林 孝	清水 義文	田所 紳二	
			広報・会勢委員会	西本 貴春	田中 規貴	松井 王雄	寺坂 美一	栃尾 充孝	富永 和慶	山崎 安彦	今井 智仁	
副理事長 川岸 邦充		50周年特別会議 議長 田村 亜紀	50周年式典担当	福永 洋一	佐藤 佳子	早瀬 法正	荒田 幸治	伊東 政信	川島 準一郎	近藤 教敏	斎藤 裕久	
			50周年渉外担当	阿部 賢太郎	野上 英則	堀 祐勤	重村 光昭	西本 誠	平尾 秀樹	宮崎 健一	山本 勉	
							副委員長出向					
							幹事出向					

日本での出来事

- 3月13日：政府、海賊対策のため、自衛隊法に基づく海上警備行動で海上自衛隊をソマリア沖へ派遣することを決定。
- 3月20日：阪神なんば線西九条駅～大阪難波駅間延伸開業。
- 4月1日：岡山市(岡山県)が全国18番目の政令指定都市に移行。
- 4月10日：今上天皇・皇后夫妻が金婚式を迎え、宮中で祝賀行事等挙行。
- 7月19日：国際宇宙ステーションで日本が担当する実験棟「きぼう」が24年かけて完成。
- 7月22日：硫黄島付近の洋上で21世紀で最も継続時間の長い皆既日食が観測される。
- 7月31日：フロリダ(東部標準時(現地時間)31日)、若田光一・宇宙飛行士、初めて日本人として137日におよぶ長期の宇宙生活を終え、

スペースシャトル・エンデバーでケネディ宇宙センターに帰還。
● 8月3日：裁判員制度による初の裁判が始まる(裁判員裁判)。東京地方裁判所において午前中に選任手続きを経て、裁判員6人と補充裁判員3人が選任された。午後から公判が開廷。

世界での出来事

- 1月20日：バラク・オバマが、第44代アメリカ合衆国大統領に就任。黒人の大統領は、アメリカ合衆国史上初めて。
- 5月23日：盧武鉉前大統領が自殺。
- 6月11日：世界保健機関(WHO)、新型インフルエンザの警戒水準を現行の「フェーズ5」から最高の「6」へと引き上げ、パンデミック(世界的大流行)を宣言。
- 6月12日：イラン大統領選挙。

スローガン 》 可能性の扉 ～未来への挑戦～

所信

『可能性の扉 ～未来への挑戦』

進歩的で行動的な青年の時代はそう長くはない。我々には此貴重なる時代を悔いの無い世代として送らんが為にJC運動を起し、JC三信条即ち社会への奉仕、世界を結ぶ友情、会員相互の啓発を以て力強く実践し相互の啓発修練を以てより良き明日への指導者たらん事を期すべきではないだろうか。
(昭和34年8月、尼崎青年会議所創立趣意書より抜粋)

2009年度、(社)尼崎青年会議所は創立50周年という大きな節目を迎えます。50年前、35名の創立準備委員の先輩方が、熱い熱い思いを持って、この組織を立ち上げられました。以来50年間、延べ500名を超える先輩方の熱い思いを汲みながら、この組織は存在してきました。この節目の年を迎えるに当たり、今一度、私たちはその思いを見つめ直し50年前とは時代背景が全く異なるこの時代で、青年会議所活動を続けている意味、今後続けていく意義を考えてみたいと思います。

私自身はこの青年会議所に入会させていただき、様々な新しい世界を見つけ、多くの友人を得ました。青年会議所は、私たちに様々な世界に通じる扉を用意してくれています。私たちはその扉を自由に開く事も出来るし、自由に中に入る事も出来るし、逆に無視して通り過ぎる事も出来ます。

- 地域の活動から地域の仲間と出会い、出向を通じて全国の仲間と出会う。
- JCIを通じて世界中の仲間と出会い、海外の友好姉妹JCから、その国の文化を学ぶ。
- これまで興味が無かった、環境保全活動に着目するようになる。
- まちづくり活動を通じ、様々なまちづくり団体と出会い、様々なまちづくり運動の存在を知る。
- 行政に対して政策提言を行なう。政治のあり方を考え、マニフェスト運動、国民権確立運動の主体者となる。
- 迫り来る国家の危機に目を向ける。新興諸外国の経済的な脅威、国防の危機を知る。
- 日本の歴史を見直し、愛国心という教育を見つめ直す。
- 戦後教育のあり方を論じ、現代の教育を見つめ直す。

これらはJCが行なっている活動のほんの一端に過ぎません。しかし、普通の生活では見落としてしまうような、見過ごしてしまうような、こんなにもたくさんの世界への扉が、このJCという組織には用意されています。そしてそこを覗いてみれば分かるでしょう。その扉の向こう側では、全国の、世界中の仲間たちが、明るい豊かな社会を築くために必死に汗を掻いているのです。私たちはそういった様々なJC活動

を通じ、様々な公益的な活動を通じ、新たな世界に挑戦し続ける事になり、自らを成長させる事が出来ます。私たち自身の成長は、やがて私たちの企業の成長にも繋がり、地域社会の成長、ひいては社会の成長へと繋がって行く事でしょう。

言うまでもなく、青年会議所は主体的な、能動的な団体です。その扉の前を通り過ぎるのも、その扉の鍵をこじ開けるのも、メンバー個人の自由なのです。
幾重もの歴史の積み重ねの中で、たまたま50年という大きな節目の年に、私たちは会に属しています。

一つひとつの大切な一年の積み重ねにより、この組織は運営されてきました。これまでの49年間、一つとして同じ一年はありません。

時代時代に即した運動をしていくのが青年会議所活動だからなのでしょう。しかし、50年という歴史から得られる周囲からの信頼は、決して一朝一夕で得られるものでなく、その歴史から培われた伝統こそが、この組織の強さでもあります。

その長い歴史を背景に、今の私たちに必要な事は、こんなにも多くの扉がある事を、後輩達に知らせる事、語り継ぐ事、その場を用意しておく事、ではないでしょうか。

私たちは未だ見ぬ後輩達から、この大切な組織を預かっているに過ぎません。私たちは、この無限の可能性を与えてくれる、この無限の可能性を秘めた組織を、先輩から引き継いだように、私たち自身が属する意義を感じているように、正しい形で後輩達に引き継いでいく必要があります。未だ見ぬ子孫達に、可能性の扉をたくさん残しておく義務が私たちにあります。

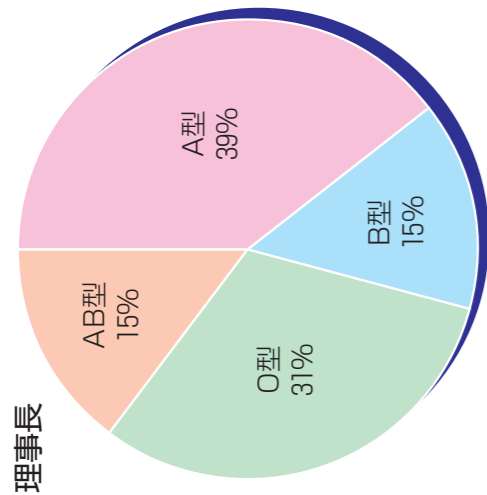
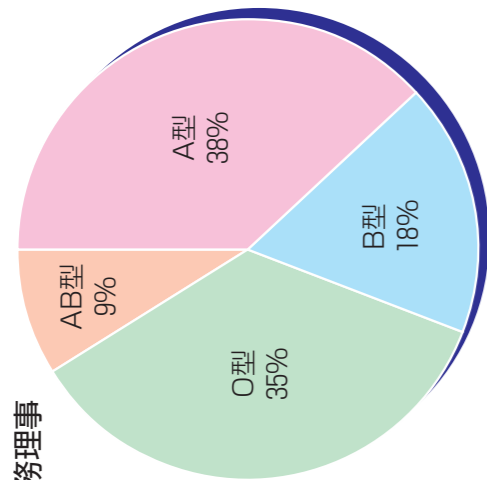
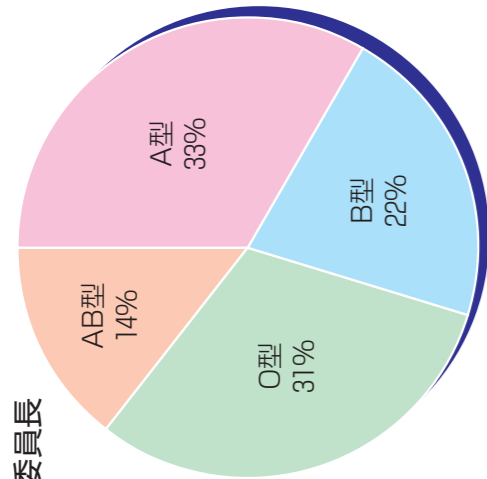
その為には、50年目を迎える今こそ、扉の向こう側に広がる世界にもっと目を向け、そこに飛び込み、行動していくべきです。「進歩的で行動的な青年の時代はそう長くはない」からこそ、今、私たちは率先して行動しなければなりません。私たちは、机上で考え、議論するだけの青年ではありません。行動しなければ青年である意味はありません。この組織を立ち上げられた先輩達の思いを踏まえながら、これまでの歴史と、そこで培われた伝統に感動しながら新しい時代に向かって行きましょう。

いつの時代も、率先して行動する人は美しい。
そんな美しい人間が溢れる、魅力ある組織である為に、まずは私たち自身が何事にも率先して行動して行きましょう。

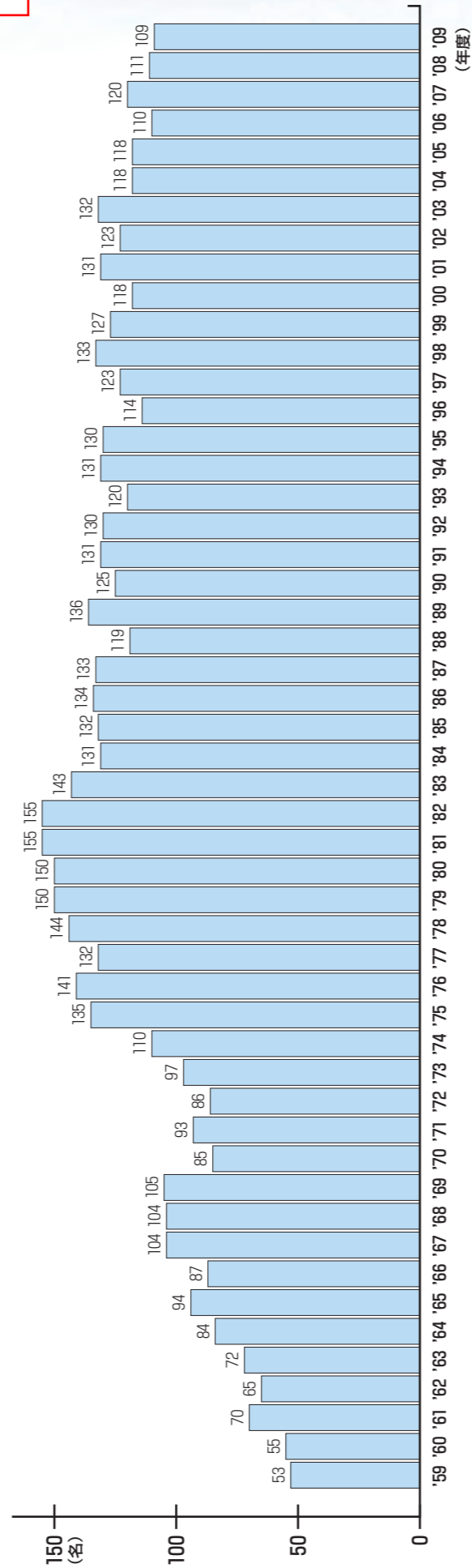
次の時代も、次の50年も、社会から必要とされる青年会議所であり続ける為に、この50周年に共に挑みましょう。

本の体裁で向きを変更致しました

歴代理事長・専務理事・総務委員長・血液型の割合



会員数増減の推移



エコシティー AMAGASAKI 宣言



環境に関する提言書

はじめに

尼崎市は、日本の高度経済成長において中心的役割を担って参りました。その結果、大気汚染や水質汚濁といった公害問題を経験し、いまだにその傷痕が癒えておりません。近年、環境問題が頻繁に取り沙汰され地球規模のテーマとなっておりますが、本来私たちができるより身近な活動が、これからのまちづくりには欠かせないのではないのでしょうか。まちづくりにおける環境とは「共生」を意味し、自然と人間との共生を確保することだと思われまます。そのためにも市民・行政・企業が連携し、協力し合いながら環境保全に関する行動に参加して行かなければ、子供たちの世代には取り戻すことの出来ない影響を残すことになります。そうです、地域のネットワークで取り組まなければ解決する事はできないのです。私たちは「行動する大人」にならなければなりません。社)尼崎青年会議所は1994年に宣言させて戴きました「エコシティーAMAGASAKI宣言」を今一度考え、意見書を提出させて戴く事により市民・行政・企業と共に子供たちと夢を語る「まち」尼崎を目指して邁進する所存です。

- エコシティーAMAGASAKI宣言
1. きれいな川と緑あふれる、にぎわいのある「まち」にしよう。
 2. 100%ゴミリサイクルのできる「まち」にしよう。
 3. 地球にやさしいテクノロジーのある歴史文化の「まち」にしよう。
 4. ニューエネルギーのある「まち」にしよう。
 5. 子供たちと夢を語る「まち」にしよう。

①きれいな川と緑あふれるにぎわいのある「まち」にしよう

これは、自然環境と産業経済活動が共生できるまちづくりを実践しようとする、社)尼崎青年会議所の運動方針を表現しているフレーズです。毎年、市民のイベントとして行われている数々の催し物がありますが、とりわけ、今年度中止された「庄下川水まつり」などは、身近に流れる川の浄化問題と、市民が環境問題を考える事の出来る有意義なイベントだったように思います。

経済が低迷しつづける今だからこそ、続けて行かなければならないと考えます。次代に向かって視点を変えて進まなければ、いつまでたってもにぎわいのある「まち」にはならないでしょう。

提言：イベント開催時には環境に関する啓蒙を行うことを提案します。

市民や市主催のイベントこそ、最も環境に配慮して開催されるべきではないでしょうか？毎年行われる市民まつりなどの開催時に、私たちのまちの環境問題について啓蒙すべきです。祭りの最中、皆さんも、あのゴミの山を一度は見た事があると思います。この場においてデポジット制度やリユースを行い、リサイクルを市民と共に行えば、環境問題に対する意識も高揚するでしょう。環境とにぎわいを共生させる「まち」づくりを展開していきましょう。

提言：にぎわいのある「まち」づくりのモデル地区として寺町周辺を提案します。

なぜ特急が、阪神電鉄尼崎駅に停車しないのでしょうか？尼崎市は単なる大阪と神戸に挟まれた通過都市なのでしょうか？中心市街地活性化法の施行を受け、本庁地区の寺町を「歴史文化のまち」の中心におき、寺町や尼子騷兵衛氏の「忍たま乱太郎」をテーマにした「忍者のまち」とする事により、周辺都市からの尼崎市への集客も望めエコシティーAMAGASAKIを全国に発信していきましょう。今、新しい発想のもと、環境とにぎわいを共生させるまちづくりが求められています。

②100%ゴミリサイクルのできる「まち」にしよう

産業活動や市民生活の中で出てくる、様々なゴミの再資源化を可能な限り進め、エコシティーAMAGASAKIにふさわしい環境循環型社会の実現を目指したものです。リサイクル製品より新品の方が安く買え、リユースするより埋めたり焼却したりの方が安く上がる、このような使い捨て型の風潮から、私たちには「もったいない」という本来の基本的な気持ちが薄れてきているのではないのでしょうか？100%リサイクルをする為には4R運動：リフューズ(断る)、リデュース(減量する)リユース(再使用する)、リサイクル(再生使用する)、を推進していかなければなりま

せん。リサイクルする前に出来るだけゴミは作らない事が基本であり、最小限の不要品ができたなら、繰り返し使う、そして最後に発生したゴミは再資源化するというリサイクルの環に組み込むことが必要であり、その循環の環に入ることでできないものは排除していく必要があります。

出たゴミは燃やさないのが基本ならば、それなりの対策を実施して行かなければなりません。

私たち一人ひとりが出来る小さな事から始めてみましょう。

一人ひとりの活動が美しい「まち」づくりにつながるのです。

提言：ゴミ収集有料化と生ゴミリサイクル機の設置補助金制度の充実を提案します。

指定ゴミ袋制度の導入により、ゴミ収集の受益者負担による仕組みづくりを実現しなくてはなりません。これは排出する者の自己責任により対処するというより常識的かつ基本的な方法です。これによりゴミに対する認識を高める事ができます。

また、生ゴミはゴミではなく資源であるということを認識して戴く為、生ゴミリサイクル機購入者への補助金制度を充実します。市内小、中学校にも更にコンポストを設置し、学校給食の食べ残しを堆肥にします。これらの事により、市民は環境問題に対する参加意識が高まり、子供たちは楽しみながら学習できます。

提言：ビン・カン・PETボトル等の事業者による自己回収を提案します。

現在は市による分別回収が基本ですが、これも市民の税金によって行われている不思議な現象であり、その製品により便益を受けた者が責任を負担することが忘れられているように思います。もっとメーカー責任を追及すべきでしょう。

回収の基本は事業者回収であり、行政が強く呼びかける必要があると思います。

市民にも分別回収にてビン類は色ごとに分けて回収するなど、より細かい類別が要求されています。尼崎市独自のデポジット方式や店頭回収、街頭などへのリサイクルボックスの設置等、回収のシステム化が今必要とされております。

このような循環型システムの管理者となり、持続可能なリサイクル社会へと変わる為の指導的役割を担い、エコシティーAMAGASAKIを市民に呼びかけて下さい。

③地球にやさしいテクノロジーのある歴史文化の「まち」にしよう

従来の鉄鋼、重化学工業を中心とする重厚長大産業の「まち」から、阪神間の中心という地の利を活かし、高

度加工技術等への最先端技術の「まち」に変革させ、尼崎固有の歴史文化との融合のとれる「まち」を目指します。

地球市民には今「やさしさ」と「テクノロジー」が求められています。

提言：地球環境乗車券の発行を提案します。

「毎月20日はノーマイカーデー」誰もが知っているこのフレーズ。今、自動車使用を減らすことが環境保全には欠かせません。毎月20日には市バス、電車を出来るだけ利用しましょう。その代わりに格安の乗車券を発行して戴き、毎月20日を「環境デー」にしましょう。また、アイドリングストップ運動も私たち一人ひとりから実行することが出来る環境対策です。

提言：グリーン購入の率先を提案します。

地球にやさしい商品を購入することは、市民が一番身近に始める事の出来る環境保全への取り組みです。ただグリーン購入をするだけでなく、長く使うという基本を忘れず、リサイクルにも結び付けていくシステム作りが大切です。購入する事の大切さや購入方法、製品情報等を一般消費者にもわかりやすく指導して戴き、「まち」ぐるみでの普及を目指します。

提言：国際環境管理・監査規格「ISO14001」の早期取得を提案します。

環境問題に対する意識改革を高める為、自治体こそが先頭に立ち市民や企業にアプローチして下さい。もちろん規格取得が最終目的ではなく、行動する事により育まれる限りないアイデアとネットワークが、エコシティーAMAGASAKIを支えていく事は言うまでもありません。

④ニューエネルギーのある「まち」にしよう

尼崎市南部の関西電力テクノランドには、次世代エネルギーである太陽光発電システムのH実証プラントがあります。また、太陽光発電素子を製造しているメーカーもあります。

今、世界でニューエネルギーが求められている中において、このような特徴を活かし、次世代エネルギーの先端に行く「まち」を内外にアピールします。

提言：太陽光エネルギーの有効利用を提案します。

各行政施設や学校等の屋上にソーラーパネルを設置し、エネルギーとしての利用を行います。時計・照明・給湯にと、さまざまに利用する事により、身近にエネルギーの大切さを学習することが出来ます。また、一般住宅に

おいてもソーラーパネル設置に対し、補助金制度の検討をして下さい。

提言：雨水を各公共施設に利用する事を提案します。

雨水を洗浄水として利用する他、水の大切さを考えて行きたいと考えます。

このような自然エネルギーの有効利用を具体化することは、市民・企業への有効な啓発となり、エコシティーAMAGASAKIの常識となっていきます。

提言：テクノロジーを駆使した低公害車導入をさらに推進して行くことを提案します。

電気自動車・ハイブリッド車・天然ガス車等の導入をさらに推進し、自治体の環境に対して取り組む姿勢をPRL、エコシティーAMAGASAKIのイメージアップを図って下さい。

⑤子供たちと夢を語れる「まち」にしよう

未来を担う子供たちに環境の大切さを訴え、将来の尼崎の姿を子供たちと共に語れる「まち」を目指します。

また、生涯教育をも視野に入れ、3世代市民が共通の話題として環境を取り上げられる「まち」にします。

提言：地域社会とのかかわりを深める「開かれた学校づくり」を提案します。

近頃、街で子供たちが虫捕り網を持って走り回る姿を、すっかり見かけなくなっていました。一方、校庭に池や森を作り、自然観察や環境教育に活用する学校も増えてきています。これら「学校ジオトープ」を地域と一体となる自然空間にし、学校と地域社会の垣根を取り払い、自然や地域と一体化した学校作りが、今求められています。学校の周りの高いブロック塀を取り払い、自然空間にとけ込んだ校庭を高齢者の皆さんと子供たちとのふれあう場所と、地域の人たちの憩いの場所としたいと考えます。

提言：環境コミュニティリサイクルセンターの設立を提案します。

センターは、子供たちが夢を語れる場所であり、環境学習や地域のふれあいの場でもあります。また、乾電池やニッカド電池、リサイクルされた堆肥等を市民がいつでも自由に持ち込むことができ、教科書のリユースや堆肥の提供など、循環の中心的役割を担います。そして、環境を考えるグループの交流の場として、また大人が子供たちと同じ視線で、学習・交流する事ができる場として利用されます。

新しい発想や、それぞれの視線で感じる疑問点等を考え、そして情報を交換する。

市民中心の企画・運営に行政が参加するような型が望ましいと考えます。

また、センターの施設もさまざまなニューエネルギーを駆使したテクノロジーと夢のある設備としたいものです。

おわりに

21世紀を目前に、社会経済は「環境」という二文字を視野に取り入れなければ成り立たない事は言うまでもありません。

(社)尼崎青年会議所はその方針であります。環境をテーマとした「まち」づくりを展開する為、1994年「エコシティーAMAGASAKI宣言」を制定しました。1996年に行った“親と子の環境フォーラム”では、坪田愛華さんのアニメーション映画「地球の秘密」の上映と、高木善之氏の講演を公開の場で行い、どうすれば希望の持てる未来を築くことが出来るかを子供たちと共に学びました。

続く1997年には我が街あまがさきを、緑や花であふれる街とする第一歩として、市民が楽しみにしている「庄下川水祭り」の当日に“咲かそう太陽に向かって心の向日葵”と銘打ち、庄下川周辺に一万本のひまわりで「ひまわりロード」を作り、市民に花の美しさを感じて戴くと共に、緑に対する意識高揚を図りました。

また、同年「エコシティーAMAGASAKI5ヵ年計画」を制定することにより、テーマを絞り込み今日まで運動を展開して参りました。

1998年には、前年に続き「庄下川水祭り」に花を添えるべく庄下川の水面に特設ステージを設置し、水を身近に感じることにによりさらに一層の河川愛護の「心」を培いました。

本年度は「エコシティーAMAGASAKI5ヵ年計画」の「発信年」にあたり、環境に関する意見書を提出させて頂くこととなりました。

今後、2000年には「行動年」を踏まえた運動展開を行い、2001年には「発展年」を踏まえた運動の強化発展を、そして2002年以降は、これまでの反省点を見直しながらこれらの運動を継続して行きます。

提言とは、行動する事を意味します。

一人ひとりの行動から一歩一歩前進し、環境に対する意識が一層芽生え、次の世代の人々が受け継ぎ発展して行く、世界に誇れるまち「エコシティーAMAGASAKI」を目指して……

そして子供たちと夢を語れる「まち」尼崎を目指して……
社団法人尼崎青年会議所は「前進します!!!」

1999年度(社)尼崎青年会議所
地域開発委員会





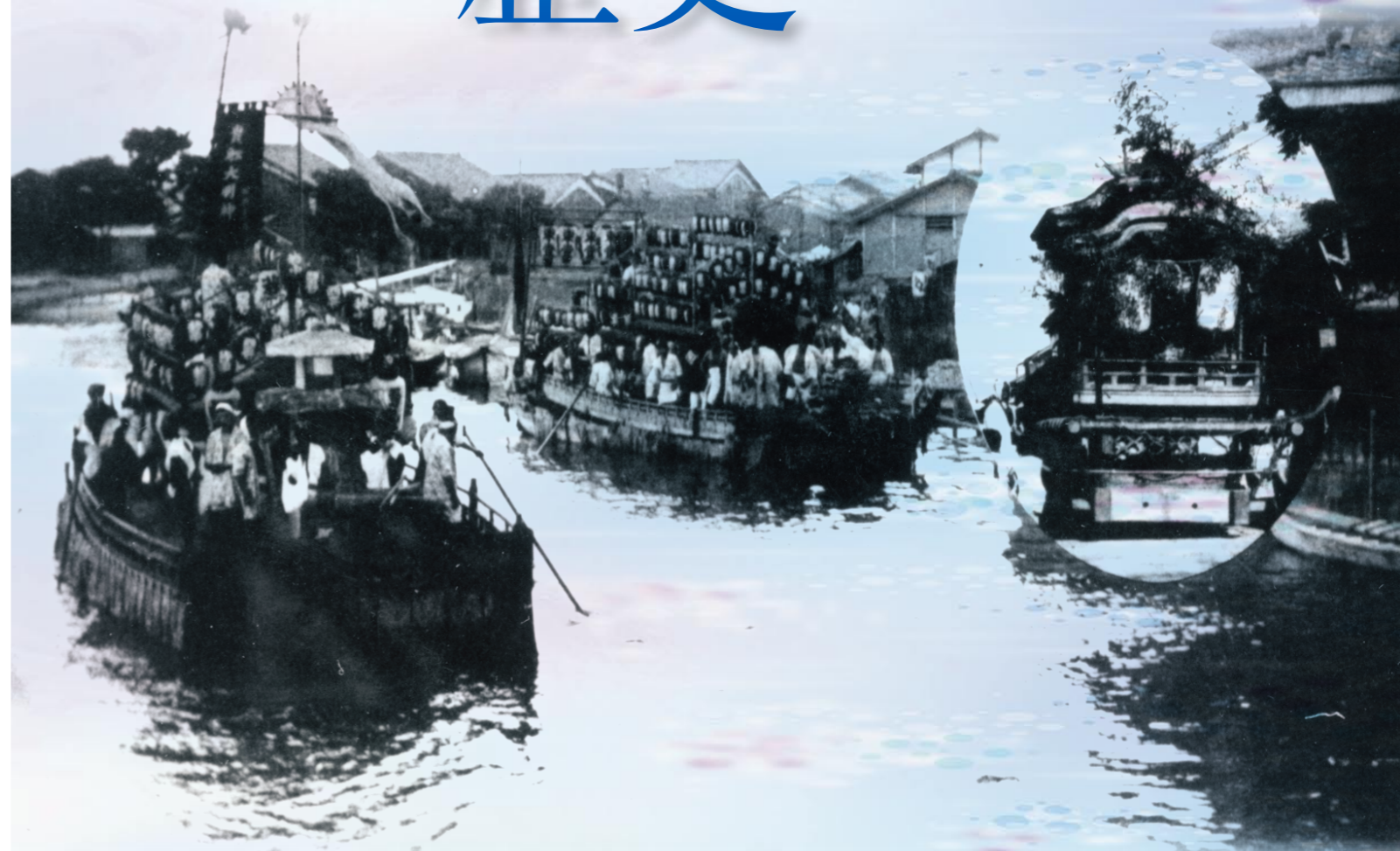
エコシティーAMAGASAKI 5カ年計画書

サブテーマ “子供たちと夢を語れる「まち」尼崎を目指して”



西暦	周年	テーマ	まちづくり			ひとづくり	
			環境問題	教育問題	行政・市民とのネットワーク	LD(指導力開発)	MD(経営開発)
1998	39	準備年	「情報収集・調査・研究」 ・LOM内の意識統一 ・各年のテーマ、目的のしほり込み ・5カ年計画の最終的な目標の設定 =具体的な事業化 ・40周年記念事業の計画		「行政担当者・市民グループ・他団体との情報交換」 ・最終的な目標の設定 ・40周年記念事業の計画 (行政、市民との関わる内容について) ・行政担当者等との情報交換会	「指導力開発情報の収集」 各会員が企業、団体のリーダーに成長できる研修メニューの開発。	「各会員の業務情報の収集」 各会員が互いの業務、経営が理解でき、互いの業務に関心を持つようになる。
1999	40	発信年	「行政・市民へのアピール」 ・40周年記念事業 ・環境に関する提言・意見書作成 ・市民、行政とのフォーラム		「行政・市民へのアピール」 ・40周年記念事業共同事業 (具体的に市民、行政とのタイアップ、共同開催等に関する検討) ・環境に関する提言、意見書を行政へ ・行政担当者等との情報交換会	「会員の相互理解の促進」 各会員自身が持つ指導力開発情報を公開し、共有ができるシステムを構築する。	「会員相互の経営情報の共有化」 各会員自身が持つ社会的な経営情報を公開し、共有ができるシステムを構築する。
2000	41	行動年	「具体的な運動の展開」 ・地域を取り巻いた環境運動の展開 ・美化運動の展開 (リサイクル、産業廃棄物、ポイ捨て等の問題)		「行政・市民を取り巻いた運動展開」 ・地域を取り巻いた環境運動、美化運動の展開 ・行政担当者等との情報交換会	「21世紀を担う指導者像の策定」 21世紀を生きる指導者として学び備えていかなければならない要素を策定する。	「21世紀を担う経営者像の策定」 21世紀を生きる経営者として学び備えていかなければならない要素を策定する。
2001	42	発展年	「運動の強化、発展」 ・運動の広域化。 一般家庭への啓蒙、浸透化		「運動の広域化、一般家庭への啓蒙」 ・運動の広域化。一般家庭への啓蒙、浸透化 ・行政担当者等との情報交換会	「会員相互の指導力資質向上のネットワーク創り」 会員相互が互いの指導力、資質向上を期待し、互いに研鑽を行い協力できるネットワークを構築する。	「会員相互の経営資質向上のネットワーク創り」 会員相互が互いの業務の発展を期待し、互いに研鑽を行い協力できるネットワークを構築する。
2002	43	継続年	「5カ年計画の評価、継続」 ・5カ年計画の反省点・評価 ・次期5カ年計画の策定 ・次年度以降の引継		「5カ年計画の評価、継続」 ・5カ年計画の反省点・評価 ・次期5カ年計画の策定 ・次年度以降の引継	「5カ年計画の評価、継続」 ・5カ年計画の反省点・評価 ・次期5カ年計画の策定 ・次年度以降の引継	「5カ年計画の評価、継続」 ・5カ年計画の反省点・評価 ・次期5カ年計画の策定 ・次年度以降の引継

尼崎の歴史





再開発前の阪急塚口駅南側
(昭和50年、地域研究史料館撮影)



阪神尼崎駅南
(昭和35年発行『尼崎戦災復興誌』掲載写真)



昭和30年頃国道2号玉江橋付近、東南から
(上田清一氏撮影、地域研究史料館所蔵)

<海が広がっていた尼崎>

今から約6,000年前の海面ほとんどが海で阪急神戸線のあたりが海岸線だったようです。東を流れる猪名川や神崎川、西を流れる武庫川が運ぶ土砂が堆積し、海が南下して尼崎平野ができてきました。

<古墳が多くあった尼崎>

尼崎地域でも多くの古墳がありましたが、都市開発に伴って破壊され、消滅してしまいました。こうした古墳が集まっていた地域には、椎堂(しどう)、坂部(さかべ)、久々知(くくち)などといった、この地域に住んでいた古代の氏族の名前に由来する地名が今も残っています。

<尼崎の荘園(平安時代)>

朝廷が開墾した土地は永久に私有することを認めたことにより、貴族、寺社、地方豪族が開墾を行い私有地(荘園)を広げました。尼崎で最も大きかったのは撰閥家が領主の橋御園(たかはのみその)で橋(柑橋)を作っていました。今の立花の地名に由来します。

<港町の尼崎(平安時代)>

瀬戸内の航路に大きな役割をしていました。昼間に航行をしていたため、夜に停泊する港が必要でした。淀から都へ通じる港として現在の尼崎にあった河尻の泊(かわじりのとまり)は重要な港でした。

<戦乱の尼崎(戦国時代)>

尼崎市にも尼崎城、富松城、塚口城といった城が築かれました。室町時代になると貴族や寺社による荘園支配は衰退していき、尼崎を支配していたのは、細川氏や赤松氏といった室町幕府の守護大名でした。尼崎地域には一向一揆の拠点もあり、織田信長により焼き討ちにあい、大物町などが全焼したといわれています。



昭和37年10月、現尼崎市庁舎落成式
(地域研究史料館所蔵)



昭和戦前期の阪神国道
(国道2号、玉江橋から西を望む、地域研究史料館所蔵はがき)



明治7年頃の神崎駅(現JR尼崎駅)
大坂鉄道管理局旧蔵写真

<尼崎藩と尼崎城(江戸時代)>

大坂が幕府の西の最重要拠点となり、その西に位置する尼崎は軍事上、大坂の西を守る要の地として幕府から重視されることになりました。このため幕府は譜代大名の戸氏鉄(うじかね)を尼崎に配置しました。その跡を継いだのが青山氏、松平氏と徳川譜代の大名でした。新しく本丸・二の丸・松の丸・南浜・西三の丸・東三の丸に区分され天守を持つ本格的な城が築かれました。尼崎城築城に伴って寺院が城の西に集められて寺町となりました。寺町には11か寺が現存しています。

<工業都市になった尼崎>

明治に入ると農業や漁業は衰退していく中、尼いもの生産が広がり、町の活気を取り戻していきます。明治22年に尼崎と大阪の資本家が、尼崎紡績(のちの大日本紡績、ユニチカ)を設立しました。昭和に入ると工業化は進み、なかでも浅野財閥が昭和3年に尼崎築港株式会社を設立し、臨海部が開発され重化学工業地帯が形成されていきます。

<あまがさきの由来>

鎌倉時代に「海士崎」「海人崎」「海崎」と書いて「あまがさき」と読んでいました。「あま」には漁師、「さき」には海に突き出た場所を意味します。のちに港町として発展していく中「海人」が「尼」に転化して「尼崎」が成立していきます。

<尼崎市の誕生>

明治22年の市制町村制の実施で城下町を中心とした尼崎町、小田村、大庄村、立花村、武庫村、園田村ができます。尼崎町の人口増加などで立花村の一部、東難波村・西難波村を合併し大正5年4月1日に尼崎市が誕生しました。昭和11年に小田村、昭和17年に大正村・武庫村、昭和22年に園田村と合併し、現在の尼崎市となります。

創立50周年記念事業
あまテラス2009
笑顔へのトビラ
報告書

JCI
あまテラス2009
笑顔へのトビラ
Amaterasu 2009
Positive Canals
2009年5月6日(水)
尼崎総合記念体育館メインアリーナ・にぎわい広場

「舟だんじり」

- 開催日時 平成21年5月5日(火)
- 開催場所 尼崎市庄下川
- 実施概要 庄下川にて「舟だんじり」運行、食品ブースの出店、鯉のぼりの設置



▲ご祈禱 ▲乾杯 ▲白井市長によるご挨拶 ▲食品ブース



▲鯉のぼり&舟だんじり ▲舟だんじり

5月5日(火)創立50周年記念事業の一日目は、庄下川にて「舟だんじり」運行、食品ブースの設置、遊歩道での鯉のぼりの設置という3本柱で行いました。尼崎の伝統文化である「舟だんじり」は、尼崎青年会議所の先輩方のご尽力により復活することができました。鯉のぼりは、不要なものを市民の皆様から募集し、譲っていただいた数多くの鯉のぼりを4月29日から庄下川の遊歩道から約1週間泳がせることができました。

5月5日(火)当日は、少し雨模様の中、開会式を行いました。食品ブースと共に多くの尼崎市民の皆様の前で行うことができました。沢山の一般の方々にも「舟だんじり」に乗船していただき大盛況を迎えました。日も暮れ夜になると庄下川に浮かぶ「舟だんじり」が提灯の灯でライトアップされ大変綺麗で、よりお祭りムードを盛り上げてくれました。

「舟だんじり」を終えての感想ですが、まずは長くこの伝統を守ってこられた中在家町のだんじり保存会の皆様に敬意を申し上げたく思います。尼崎青年会議所にとって、地域との交流・町の活性化という意味においても、この「舟だんじり」の事業は大変意味のある事業だと実感しました。伝統を守ることの難しさ、大切さ、次世代へ継承していくことは、我々の使命だと思います。是非、何年後にまた「舟だんじり」をやろうと尼崎青年会議所のメンバーの皆さんから声をあげてもらいたいです。

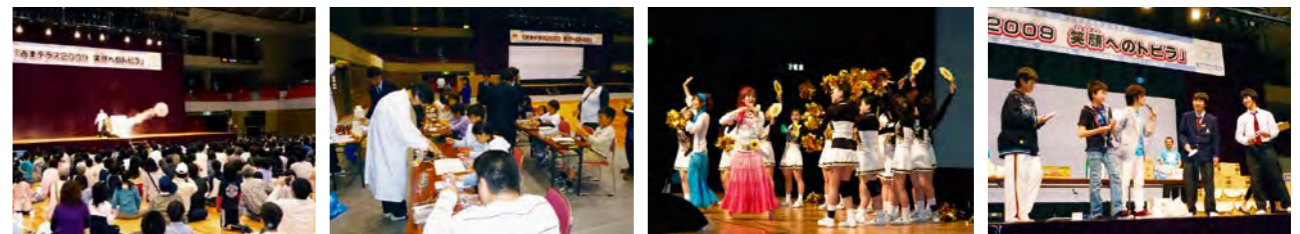
そして、鯉のぼりについては、不要な鯉のぼりを市民の皆様から集めることも庄下川の遊歩道にかけていくことも大変な苦勞がありましたが、それを見てはしゃいでいる小さな子ども達の声を聞くと本当にうれしく思いました。事業の数日後、庄下川のまわりを清掃しました。青年会議所の通った道はきれいにするという精神が、今後広まっていけばもっときれいな町になると思います。

尼崎青年会議所創立50周年記念事業に「舟だんじり」担当として参画できたことに感謝しております。ありがとうございました。

例会委員会 委員長 井田 佳宏

メインアリーナ

- 開催日時 平成21年5月6日(水)
- 開催場所 総合体育館
- 実施概要
 - ・ チームでんじろうのサイエンスショー
 - ・ 尼崎で一番受けたい授業(科学体験ブース)
 - ・ タケカワユキヒデライブ&フィナーレ
 - ・ あまゆーずライブ
 - ・ 尼崎クイズ王決定戦



▲チームでんじろう ▲科学体験ブース ▲あまゆーずライブ ▲尼崎クイズ王決定戦



▲タケカワユキヒデライブ&フィナーレ ▲社)尼崎青年会議所メンバー

メインアリーナでは午前中のイベントとして、『尼崎からノーベル賞を!』という願いから【チームでんじろうによるサイエンスショー】と県立尼崎小田高校の生徒の皆さんが先生役となり、小学生に科学の不思議を教える【科学体験ブース】を開催しました。

サイエンスショーでは小学生の子供たちはもちろん、その親御さんまでも大きな歓声をあげ、童心に戻ったように巨大なエアドームに入ったり空気砲を楽しんでいました。科学体験ブースでは、4つのグループに分かれた「先生」がオリジナリティあふれる道具を使い、小学生に科学の面白さを伝えていました。小学生の素朴な疑問に丁寧に答えているやりとりがとても印象的でした。子供たちの科学に対する興味がより深くなったことと思います。

午後からの【尼崎クイズ王決定戦】では、『尼崎をもっと知りたい! 尼崎の街が好きだ!』という市民の皆様が会場狭しと〇×に分かれて右往左往していました。答えが発表される際に出る歓声やため息が、その【景品】に対する思いの強さを表していました。景品を提供していただいた方へは本当に感謝するばかりです。

その後、5月27日に全国CDデビューを控えた尼崎出身の女性デュオ【あまゆーず】によるミニライブを開催し、その奏でるハーモニーとチャリーディングのコラボレートで会場が華やかな雰囲気になりました。一日でも早く【Mステ】に出演できるように頑張ってください。

いよいよ、フィナーレ! タケカワユキヒデさんの登場です。【銀河鉄道999】から【ビートルズのナンバー】まで、次々と! 小学生を子供に持つくらい世代には、未来へ夢を抱いていた【あの頃】の自分に戻ることができたのではないかと思います。

最後にタケカワユキヒデさんから子供たちの未来へのメッセージとして、【ビューティフルネーム】をみんなで合唱しました。ステージ上の子供たち、JCメンバー、会場の親御さん、市民の皆さんの心がひとつになったことを感じ取ることができる【しびれる空間】となりました。

【科学・歴史・音楽】を通じて育んだ笑顔を通して、ひとりひとりが“positive change”できることを願っています。

ひとつづくり委員会 副委員長 高橋健一郎

にぎわい広場

○ 開催日時

平成21年5月6日(水)

○ 開催場所

総合体育館前広場 (通称：にぎわい広場)

○ 実施概要

総合体育館前広場(通称：にぎわい広場)において、JCブースを始めとする42のブース出店。ステージでは、アーティスト、ダンスチームによるパフォーマンス。まちづくり団体によるPRタイムを通じて、(社)尼崎青年会議所の50年間の歩みを広く来場者の皆様にご覧いただきました。



▲ 開会式



▲まちづくり団体PR



▲FMあいあい(森上理事長ゲスト)



▲出店ブース



▲エコマま君とにっ子ちゃん



▲ダンスチームによるパフォーマンス

創立50周年記念事業2日目。前日が雨であった為、出店ブース配置は一部、屋内会場での「雨仕様」で準備していましたが、この日は朝から晴れ、急遽「晴れ仕様」に戻すという、うれしい誤算がありました。

予定通り午前10時に白井市長をお招きし、プラスバンドの演奏をバックに開会式が行われ、事業2日目が始まりました。

心配された天候も何とか耐えてくれ、順調に来場者も増え、昼前には、にぎわい広場は「人でにぎわう広場」となっていました。この光景を見て、何かが胸にこみ上げてきたメンバーの皆さんも多いのではないかと思います。

広場では、33団体、計42ブースの出店者が、カレーやうどん、焼鳥など各種食品で来場者の胃袋を満たし、スーパーボールすくいや的当て、健康診断、マッサージ、盲導犬の誘導体験などで来場者の気分を盛り上げてくれました。ステージ上では、“あまゆーず”ライブや綺麗な衣装を身にまとった訓練された素晴らしいダンスチームによるパフォーマンスが繰り広げられ、父兄の方々をはじめとする来場者の目を大いに楽しませてくれました。

更にFMあいあいさんには、特設ブースを設けていただき、にぎわい広場、メインアリーナで繰り広げられる様々なイベントの紹介、実況、楽しいトークを通じて、より広場の“にぎわい”を演出していただきました。

出店いただいたまちづくり団体によるPRタイムでは、来場者の皆様へその活動を直接訴えかけ賛同を得る場として、この事業の引き締まった一面として有効であったと感じています。

そして、尼崎青年会議所の50年間に亘る活動の歴史を「JCブース」として3ブース設けさせていただきました。実は、このブースにいかにも多くの来場者の皆様にお越しいただき、我々の活動に触れ、その歴史に触れていただくのが今回の事業の最大の目的でした。その意味では、本当に多くの方に来ていただき、尼崎JCに触れていただき、知っていただけることができたのではないかと思います。

昨年11月から事業を企画し、出店者や出場者の募集、説明会、各団体との個別のやりとりなど地味で細かい作業が続きましたが、当日になって、それまでまとめていた2次元のデータが3次元となり、にぎわい広場に命が吹き込まれた思いがしてなりません。来場者の皆様を始めとして、ブース出店いただいた皆様、ダンスチームの皆様、FMあいあいさんなど、この広場で沢山の“笑顔”を見ることができ、広場内で行き交う「ブルーのTシャツ」を着た尼崎青年会議所のメンバーには、一つの目的に向かう組織としての強さを改めて実感することができました。

創立50周年の区切りとして行った今回の事業が、尼崎青年会議所がまちづくり、ひとづくりの団体として更なる飛躍につながる“可能性の扉”として、引き継いでいただければと心より願っております。

まちづくり委員会 副委員長 芝田有輝



社)尼崎青年会議所50周年記念事業 “あまテラス2009 ～笑顔へのトビラ～”

“あまテラス2009 ～笑顔へのトビラ～” を終えて



実行委員長
廣岡大雄

創立50周年という大きな節目の年に50周年記念事業実行委員長を拝命いたしましたことを心より感謝いたします。50年という長い歴史の中、社)尼崎青年会議所はこの街で活動させていただきました。この記念事業では、今までお世話になった尼崎にどうすれば恩返しができるか、というのがスタートでした。

今までの50年間の諸先輩方の想いを大切に、そしてこれからの50年を見据えたときに次代を担う子ども達に一体何を伝えることができるのだろうか、ということに想いを巡らせました。

たった2日間では御座いましたが、今まで育てていただいた尼崎がより明るく豊かな街になるために、少しでも前向きに進んでいけるために企画したこの記念事業で本当に多くの市民の方々に、そして多くの子ども達の笑顔に出逢えたことが、私にとって何よりも大きな喜びで御座いました。本当にありがとうございました。



ひとつづくり委員会委員長
宇都宮勇仁

社)尼崎青年会議所 創立50周年記念事業「あまテラス2009」～笑顔へのトビラが、予定通り開催できた事、事故も大きな怪我もトラブルもなく無事に閉会を迎えられた事をうれしく思います。

そして、たくさんのメンバーと先輩の方々・たくさんの力と知恵を貸して下さった行政や市民の皆様へ改めて深く感謝します。本当にたくさんの励ましとたくさんの情に、何度も挫けそうになった心を支えて頂きました。

今では約半年間、夜遅くまで話し合った日々が懐かしくも思えるようになりました。宏林副理事長・廣岡室長・ひとつづくり委員会スタッフの高橋副委員長・竹田幹事・まちづくり委員会の今井委員長・芝田副委員長・中元幹事、忘れる事のない思い出が作れました。本当にありがとうございました。



まちづくり委員会委員長
今井良和

本年度、尼崎青年会議所は創立50周年を迎え、5月5日、6日に創立50周年記念事業「あまテラス2009笑顔へのトビラ」が盛況のうちに事故もなく無事に開催されましたことをまずはご報告いたします。

終わってみれば、舟だんじりに始まり、そして記念公園での各種イベント、ブース出店、屋外ステージの賑わい、そしてフィナーレ。この2日間は、あっという間に過ぎ去っていきましたが、去年9月まちづくり委員会の委員長を拝命し、記念事業の担当になってからの道のりは大変長く、長く、笑顔どころではない日々もおくりました。しかし、この創立50周年事業を構築していく中で最初はそんなに深く考えていなかったが、事業が形になっていくと記念事業、ましてや50周年と言う重みがどんどん増していくことを実感しました。

その重みに押しつぶされそうになったときに助けてくれたのは、委員会のスタッフであり、メンバーであり、他の委員会の委員長やメンバー全員です。多くの市民の方を迎えるにあたり、来た人に楽しんでもらい、メンバー自身も楽しんで事業をできたことが何よりもうれしく、尼崎青年会議所の力を内外にPRすることができたのではないのでしょうか。これからも尼崎青年会議所のひとつづくり、まちづくり活動を軸にした「明るい豊かな社会」をめざしたJC運動が続いていきます。今までの50年間のJC運動に加えて、この記念事業からの「笑顔」がより多くの子ども達、市民の方々、メンバーに広がっていくことを期待しております。

『未来への扉
～これからの社)尼崎青年会議所～』

白井市長、
森本シニアクラブ会長、
森上理事長三者対談



森上理事長 本日は創立50周年を迎えた社団法人尼崎青年会議所の周年特別企画として、尼崎市市長・白井文氏と社)尼崎青年会議所第28代理事長でもありシニアクラブ会長でもいらっしゃる森本先輩にお話を伺いたいと思います。森本会長が理事長をしていらした当時の尼崎市について、また社)尼崎青年会議所についてお話を頂戴し、その話を聞いて市長より社)尼崎青年会議所活動全般の意見を頂戴しながら進行していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。それでは、まず森本会長より当時の尼崎についてお話をいただきたいと思ひます。



森本会長 社)尼崎青年会議所は1959年9月4日に故・樽谷清一先輩らが発起人となり、1960年に全国で認証番号172番(全国で172番目にできた)を受け設立されました。私が入会したのは1977年鴻池先輩が理事長の時でした。入会した当時は大変なところだった半面、話がうまく立派な方が沢山いらっしゃるものだと思います。そして、社)尼崎青年会議所は1980年に鴻池先輩を会頭として輩出したのですが、その時に私はセクレタリーとして出向させていただくことになりました。その時から本格的に活動をしだすことになったのです。10周年の時に「環境への挑戦」のスローガンで、「尼崎市に青空を」という事業をしました。その時に社)尼崎青年会議所が毎月8日を「青空の日」と制定しました。



森上理事長 以前に調べたら北雁替公園の中に「青空を願う像」という、社)尼崎青年会議所が立てたという銅像があって、裏には建立日などが書かれ、表に「毎月8日を青空の日と制定する」と当時の市長の名前で書いてありました。

白井市長 その当時だと思いますが、尼崎市に青空課という課があったそうです。



森本会長 尼崎記念公園にもJC並木があるが、あれもJCが作りました。

白井市長 色々貢献してくださっている

のですね。

森上理事長 あちこちに足跡があるんです。先輩方は、行政などに提案をして投げかけをしてこられた歴史があるようですね。

森本会長 JCの定款に、特定の個人、団体を応援してはいけないとあるが、何かの事業をするのに許可をいただくのは行政で、よく懇談などをしました。

森上理事長 特に先輩たちの時代の記録を見ると、自分たちを高める青年経済人のセミナーなど、勉強会をよくしているイメージが強いです。

森本会長 先輩として見ていて今もそういう事業をしていると思います。例えば公開例会にしても意義のある事業の一つです。私たちの時代には公開例会なんてなかったのではないかな。

森上理事長 去年の夜回り先生こと水谷先生の講演は僕も聞きに行きました。ご来場者で泣いている方もいましたよ。金美輪先生もよかったですね。

森上理事長 森本先輩が理事長をされた当時の尼崎市とはどんな街だったのでしょうか。

森本会長 僕が28代理事長で、2代前の室井先輩が理事長の時に、1%の可能性があれば尼崎国際シティハーフマラソンをやってみたくおっしゃいました。

当時、交通と警備の担当副理事長を私がしておりました。今もよく覚えています。東警察の交通課長がいて、記念公園からスタートする計画を話したら、剣もホロロに「生活道路でできないだろう」と怒られました。粘り強く通い続け、何とか実現し十数年継続事業として開催されました。

森上理事長 継続事業をいつ辞めるのかを決めるのは難しいけれど、JCというのは事業を立ち上げ、市民や他団体に渡す団体です。

白井市長の時代に辞めることに決めたということなのですね(笑)。

白井市長 皆様に責められています。市街を走ることでできるマラソンというのは、一旦辞めると二度とできません。

森本会長 警備などが大変ですが、事故もなく13、14年よくできたと思います。初めは交通課にはかなり指導されました。交通課はJCのことも知らなかったですし、組織の説明からして、角々にメンバーたちが立ち、何

日も前から自転車の撤去をして、マラソンの貼り紙を貼ったりしました。この事業はJCメンバーの結束力を発揮できた事業でした。

白井市長 全国的にマラソンプームということもあり、篠山マラソンと重なったのですよね。尼崎に参加していた方も分散してしまい、結果参加人数も減ってしまいました。そんなことや経済状況も厳しいという色々な条件が重なって、この場(市長室)で関係者と意見交換して、続けることを断念する決定をしたことを覚えています。色々な方々から残念だったという声を聞きます。

森本会長 マラソン開催にあたっては、サンケイ新聞のスポーツ担当の方が、東京マラソンから有名なランナーを連れて来てくれました。

森上理事長 このマラソン大会を立ち上げたということは、すごいパワーが青年会議所にはある証明になったと思います。

その時代はJC自体にも、社会的にもすごく勢いがあつた時代だったのでしょか。

森本会長 社)尼崎青年会議所に一番勢いがあつたのは会頭を輩出した時ではないでしょうか。兵庫県では初めての会頭輩出でした。鴻池会頭は「日本の安全と防衛」というスローガンを掲げられました。当時は日本の安全とか防衛の話は自衛隊でもできなかった時代ですから、全国でも叩かれたこともありまして。このスローガンを掲げて2ヶ月ほど後にロシアがアフガニスタンに侵攻しました。防衛の論議も青年としてしないとイケないということを再認識しました。

森上理事長 時代に即した先見性のあるスローガンだったのでしょか。そんな運動をされてきた先輩からみて、今の私たちはどのように映っているのでしょうか。当時、将来の尼崎JCはこうなってほしいというイメージはお持ちでしたか。





森本会長 自然体でやっていけば良いと思います。私が入会した頃、理事長のお話を聞き、世の中にこんなに話しが上手な人がいるんだとびっくりしました。こういう風になりたいなあと思いました。森上理事長も新入会員に話がすごいなあと思われていますよ。新入会員に聞いてみたら? 「俺の話すごいか」って。

森上理事長 聞くのが怖いですけど(笑)。

森本会長 メンバーはそういう風に成長していくのだと思います。ですから、単年度の一年、理事長はじめキャビネットは精一杯やって、最後に理事長が責任を取るということが良いのです。

時代が違いますが、今の現役も頑張っていると思います。

森上理事長 温かい言葉を、ありがとうございます。

ここで、市長にお伺いしたいと思います。市長は尼崎にずっと住んでいらっしゃって、(他)尼崎青年会議所というのは認知していただいていたか?

白井市長 私自身は議員として、議会活動していた時からJC活動は認識していましたし、メンバーの方々はずごくパワフルだなあと感じていました。しかし議会活動以前は尼崎JCの存在をあまり知らなかったのです。議員になってからは活動も知りましたし、年齢的にも現役の方と同世代だということもあって、例えば他都市に行ってもご当地のJCの方と知り合いになったり、市外から尼崎JCの評価を聞いたりすることが結構ありました。

森上理事長 本当ですか。

白井市長 はい。

失礼を承知であえて言わせていただくと、尼崎のような中小企業のまちでは、経営者でも自らがいないと仕事が回らないので、とてもJCに参加できる余裕がないという人も多く、そういう経営者からみれば、JCといえは恵まれている人たちの集まりというイメージもあるのではないのでしょうか。しかし、実際に活動を拝見し、皆さんとコミュニケーションをさせていただくと、皆さんたちは仕事もしっかりとし、決して特別に恵まれた人たちばかりではないということがわかってきます。また、市長に就任してからは、皆さんにすごく助けられたと思っています。様々な活動、そして元気をいただきました。2005年のあまテラスでも、皆さんの仕掛けで、多くの市民が参画することができました。

森本会長 JCというのは団体で動いています。**森上理事長** スーツの軍団がぞろぞろと動くというイメージですよ。

白井市長 今では多分、尼崎ではそういうイメージはなくなっていると思いますよ。障害者団体などと一緒にJCがイベントをして、皆が嬉々とし役割分担し、責任も担ってやれるというのは、JC以外ではなかなかできないことです。

森上理事長 それが手前味噌ですが、2005年の震災10周年の事業が一つの転換期だったかと思えます。

1995年の阪神大震災後、様々なNPOが増えてきて、JCは何をしていく団体なのかと一瞬戸惑っていた時期があったと思います。色々なことに特化したNPOができて、JCは今までまちづくりは俺たちがやってきたと自負してきましたが、10年ぐらい俺たちは何なんだろうと悩んだ時期があったように思えます。それが、2005年のあまテラスが一つの結論だったのではないのでしょうか。

いろんなまちづくり団体がある中で、ピンでは地域で色々なポイントで頑張っているが、残念ながらそれまでは横の繋がりが希薄だったと思います。尼崎JCの歴代理事長のどなたかが言っていたのですが、JCというのはまちづくり団体のプラットホームで、皆を繋げる存在に発展していくべきではないか、という考え方がありました。

あまテラスでは、まちづくり団体を一同に集めて、要は皆でまちを良くする為に、その時のスローガン「自分たちのまちだから自分たちで考えよう」のコピーの下、皆が集まってまちづくりを考えていった。あれから障害者ネットワークの方々や繋がりが深くなったので、今の時代に合ったJCの方向性だったのかな、と思います。

白井市長 50年という歴史の中での積み重ねが今の方向性に繋がった。最初の頃は活動のバイオニアだったわけですよ。独自で活動して、まちづくり、人づくりをされてきました。他の活動団体や人が育っていない時代をずっと走ってこられた時代があった。その時代が過ぎて、いろんな団体が出てきて横の繋がりがなかったという時に、JCが表へ出てくるのではなく、縁の下で力持ち的存在で、しんどく、他人の目には見えない運動をして、皆にやりましようと言った。裏方に視線が行ったということですね。

森本会長 本年記念事業で行なった舟だんじりも30周年の記念事業として、当時50年間



運行していなかっただんじりを運行しました。あれも地域の接着剤だったし、理事長職はたかが一年なのでトップランナーで、森上理事長が走って、走って走りぬいてくれたらと思えます。

森上理事長 昔の人たちは、「天神祭なんかに負けていないぞ。俺たちは」という時代があったようなのです。皆さん知らない時代ですし、言い伝えて聞くだけのようですが。

森本会長 巽太鼓ってあるでしょ。赤い烏帽子を被って、大阪の天神祭もスケールは大きいですが、一緒ですよ。天神祭も天神太鼓が宮入して、そこから天神祭がスタートするんですよ。その太鼓が神社の境内に入らないと、だんじりの宮入ができません。貴布禰神社も巽太鼓が神社の境内に入らないとだんじりの宮入ができないんです。尼崎の歴史文化で、大切に継承すべきものだと思います。巽太鼓、市長は見られたことはありますか。

白井市長 見ていないのです。

森本会長 是非見てください、すごいですよ。バツバツと倒しながら叩いて、こっちの兄ちゃんが飛び出さないように、たすきを後ろから先輩が持っている。それが、貴布禰神社へ入らないと他のだんじりは入ってはいけません。そこも天神祭と同じなんです。天神祭は日本の代表の祭りだが、尼崎のだんじりもだよ。そういった気持ちなんじゃないだろうか。



森上理事長 その気持ちが大事なんですよ。JCは単年度制で、毎年理事長が替わり、一期一会の気持ちで活動をさせてもらっています。だから、どんな団体よりも爆発力があると思います。年によって爆発力の出し方が変わっているかもしれないが、それがJCの性質なのかなって思っています。ただ、苦手なこともあって、まちづくりはコツコツとした地道なことをひたすら継続していくことなのかなと思うんです。その点、青年会議所は相反することがあります。コツコツボランティアをされる団体はたくさんあり、そういう団体を支援やフォローしたり、繋いでいくというか、皆さんのまちづくり活動を盛り上げていく。先程言ったようにそういう立場が青年会議所には合っています。そして今の世の中に合っているのかなと思います。

その爆発力をどのように活かしていくのか、どの方向に出していくのかをその年の運営を担う人たちが頑張って考えていかないといけないのかなと思っています。方向というのは、昔でいうと公害問題に取り組んだりだとか、舟だんじりに取り組んだりだとか、あるいは



ハーフマラソンに取り組んだり、一番最近でいうと、公開討論会とか、マニフェスト検証会ですとか、時代を先取りしてやっていくというか、それが青年会議所の強みであります。尼崎だけでなくいろんなところに情報源があり、日本青年会議所、兵庫ブロックの仲間だとか、近隣のLOMやJCメンバーからいろんな、今の世の中はこんなだよと教えてもらっています。

白井市長 JCが今まで手がけてこられて、脈々と引き継がれていることは、人づくりの大切さだと思うのです。一年交代で替わっていくというの、それだけ人が入れ替わるのだから、いろんな経験ができる、チャンスの幅が広がるわけですね。経験というのは人を大きくできるし、学べるチャンスが増えるわけですね。学生は学校で学べますけれど、「大人はどこで学ぶの?」ということもあると思うのです。企業で仕事を学ぶこともあるでしょうし、趣味で学ぶことがあるかもしれないですが、地域活動の中から学ぶということを実践しているのがJCかなと思うのですよ。特に、フレキシブルでパワフルな先輩を見ている後輩がいっぱいいるっていうことは想いを引き継げる土壌を作っているということになっている。私たちが頑張っている姿を若い人たちにってもらわないと、若い人たちもどういう風になりたいとか、どんなことが本題なのか考えることもできない。私たちが感じている課題を私たちが逃げずにチャレンジしている姿を見てももらえる場を提供することが、大人の役割かなと思うと、JCの人たちは頑張っているいろんな課題に取り組んでいる。特に子どもたちを巻き込む事業が多いじゃないですか。中学生連絡会議や尼崎とアウスブルクとの50周年も協力してもらったりと、子どもたちを巻き込んでくれています。子どもたちというのは大人たち以上に一生懸命見たり聞いたり考えたり行動してくれたり、大人は「あの人たちは恵まれた人たちじゃないの」と斜に構えたりしても、子どもたちはストレートに受け止めてくれて、一生懸命やってくれたじゃないですか。あれはJCの真剣さと真面目さを感じているから、伝わっているからだと思います。ああいう活動を続けているというのはすばらしいと思います。

森本会長 現役メンバーにいつも言っているのは、青年会議所メンバーというのは活動の源泉は企業です。会社をきちんと経営することが第一で、対外的なことも一生懸命やるべきなんだけれども、中には錯覚してしまう

人もいます。人としてやらないといけない時は背伸びしないといけない。しかし背伸びしても、こけてはいけませんよ。企業をきちっとやった上で、いろんな運動をすればいいし、中身については時の執行部で考えて、何をしてもいいだろうし、我々は先輩としてあれやこれやとは、聞かれない限りは言わない。

森上理事長 皆さん、自由にしなさいと言われてます。逆にプレッシャーになったりもしています。こうしろと言われた方が、簡単だったかもしれません。

白井市長 そういう精神が引き継がれているのですね。口に出さないで任せただ、困ったらおいでという精神が引き継がれているのが、JCの魅力ではないですか。

森本会長 尼崎のシニアクラブというのは今、529名の卒業生がいて、シニアクラブに入っているのが、367人で、69名がお亡くなりになっているが、シニアクラブがこんなに活性化しているのは日本の中で、3本の指に入ると思えますよ。尼崎のシニアクラブは大したものなんです(笑)。

森上理事長 すごく珍しいと言われますね。全国に710くらいLOMがありますが、シニアクラブがそんなにまとまっているのも、シニアと現役がこんなに交流があるというのも、すごく珍しいLOMだと言われますね。

白井市長 そのような良さは、これからも引き継いでほしいですね。

森上理事長 それだけ歴代の先輩が男前だから、それだけまとまっているのかなと思います。それでは最後に今後のことを伺わせていただきます。今年50周年を迎えさせていただいて、51年以降、60年、その先100年に向けて尼崎市のまちづくりの関わりの中でJCに期待するものというか、そういったものがあれば、一言頂戴できればと思います。

白井市長 先ほど理事長が、他団体が取り組んでいないことや他団体が気づいていないような課題に率先して取り組んできたのがJCであり、これからもそうであるのかなとおっしゃってくださいました。私もまさにそこがJC、それこそJCの魅力と感じておりまして、地域の中でシズンシップみたいな概念、社会性とか、公共性とか、良き市民性というか、そういう教育・学びというのが尼崎だけでなく、全国的にまだまだできていないと思うのです。イギリスなどでは、すでに学校教育の中に入り込んでいるようなのですが、日本ではまだまだ公教育の中で取り入れられていなくて、学校で学ばない。もっと小さい



頃から、地域の課題に気づこうよと、気づいたらどのようにしたら解決できるのかということ学ぼうよ、そして地域でいろんな手法を取り入れて実践してみようよ、そういう尼崎でありたいと思うのです。もちろん学校の中でもいろんなことを学んでいますし、企業の中でも色々学べると思いますよ、JCの皆さんが率先して子どもたちを巻き込む中でシズンシップの教育と言いますか、地域の課題に気づいたり、自分の課題解決の手法を考えたコミュニケーション能力を高めたり、ネットワークをどのように作っていくのかというようなことを、いろんな活動を通して子どもたちが経験する。そしてそのことを大人になって仕事や生活に活かしたり、社会活動の中で活かしていけるような、循環というのでしょうか、子どもから大人へ、大人から子どもへとバトン次々渡していけるような活動を続けて欲しいと思います。これからも子どもたちを巻き込んでいるような活動をして欲しいと思います。

頃から、地域の課題に気づこうよと、気づいたらどのようにしたら解決できるのかということ学ぼうよ、そして地域でいろんな手法を取り入れて実践してみようよ、そういう尼崎でありたいと思うのです。もちろん学校の中でもいろんなことを学んでいますし、企業の中でも色々学べると思いますよ、JCの皆さんが率先して子どもたちを巻き込む中でシズンシップの教育と言いますか、地域の課題に気づいたり、自分の課題解決の手法を考えたコミュニケーション能力を高めたり、ネットワークをどのように作っていくのかというようなことを、いろんな活動を通して子どもたちが経験する。そしてそのことを大人になって仕事や生活に活かしたり、社会活動の中で活かしていけるような、循環というのでしょうか、子どもから大人へ、大人から子どもへとバトン次々渡していけるような活動を続けて欲しいと思います。これからも子どもたちを巻き込んでいるような活動をして欲しいと思います。



森本会長 メンバーの中に忙しいと言う人がおり、遅参する人がいますが、例会にしても事業にしても予定が決まっています。人として時間を守ることは当たり前だし、時間づくりの達人にならないといけないと思います。時間厳守ができない人は信用できません。シニアクラブとしては、現役メンバーの支えが目的で、529名の卒業生と現役メンバーの信頼関係の元に成り立っています。「利」の前に「義」がある。これを大切に、より一層信頼関係を大切にしていきたいと思います。それが活動の原点です。

森上理事長 楽しく活動することが大切で、まじめに一生懸命活動する。子どもたちを巻き込んだ活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

白井市長 シズンシップには政治の分野もあります。政治に関心を持つことは大切なことです。子どもたちを巻き込んで活動できるのはJCにしかできないと思います。

森上理事長 温かい激励のお言葉をいただきありがとうございます。1年1年を大切にこれからももっともっとがんばっていろんな活動に取り組み社会から必要とされる存在であり続けたいと思います。本日は、貴重なご助言、アドバイスをありがとうございました。

正会員名簿 107名

阿部賢太郎	エコあま君	桑原貴志	芝田有輝	谷口英嗣	西村大介	宏林晃信	森泰幸
荒田幸治	江田政亮	河野篤史	小路正雄	谷藤健夫	西原忠彦	福永洋一	森岡新
安藤博氏	大浦亮太	鴻池肇一	清水義文	谷山哲	西本貴春	藤本恵	森上恒
池田和也	大西正高	小窪一生	新川貴史	田村亜紀	西本誠	堀祐勤	八島貴志
石上良太郎	大輪裕明	巨勢裕章	進藤大五郎	月城昌吉	野上英則	堀祐勤	山崎安彦
井田佳宏	金光祥匡	小林孝	杉村英明	坪内祐二	野村昌宏	本田智	山田貴仁
伊東政信	唐沢明弘	近藤教敏	高橋健一郎	寺坂美一	橋本隆志	松井王雄	山本勉
伊藤マリア	川岸邦充	齊藤裕久	高橋誠一	徳山仁二	長谷川亮太	松岡英夫	吉識あゆ子
今井睦	川島準一郎	坂原覚	武井耕太郎	徳山榮一	浜崎剛吉	松岡秀行	吉本誠
今井智仁	川島久陸	坂部幸太	武井伸吾	栃尾充孝	早瀬法正	光畑朋宏	
今井良和	岸田幸三	阪本慶秀	竹田秀明	富永和敬	濱本忠行	峯林太郎	
入口健史	岸田卓也	佐藤寿彦	武田英俊	中川健太郎	平尾秀樹	宮崎健一	
宇都宮勇仁	北川良成	佐藤佳子	田所紳二	中村誠作	平田正人	宮崎亨	
梅崎文彦	工藤将	重村光昭	田中規貴	中元学	廣岡大雄	森務	

事務局員 北詰あつ子

特別会員名簿

大長豊	民岡壽行	中永毅	橋本錦明	福住重幸	松並隆雄	村上憲司	山本勲
高尾和良	田村征介	中林弘明	長谷川憲次	福田晋也	松野修身	村田篤彦	山本治
高岡敏夫	樽谷博光	中村彰良	長谷川総一	福田泰次	松村登美子	村田守	山本勝浩
高木真一	田和良一	中村和史	波多正文	福富重光	松村種泰	村山猛	山本晃三
高島猛	丹内章二	中村重憲	服部忠雄	福本憲男	松村博尊	室井邦彦	山本修三
高瀬秀明	千野公嗣	中村孝	花田勝則	福本政嗣	松本明	室田雅弘	山本新太郎
高田実	中條雅造	中村武	浜口光彦	藤井一成	松本勝憲	持増哲郎	山本卓也
高塚克成	中條昌彦	中村八郎	濱崎善弘	藤井輝男	松本昌人	森茂一	山本忠司
高寺真人	梅村明紀	中山清	浜田鶴太郎	藤井秀樹	松本光泰	森育	山本正
高橋和人	辻本介洋	中山信彦	浜田義夫	藤井光博	松本康利	森正浩	山本正法
高丸孝明	津田加寿男	柳楽正一	濱名正洋	藤井康生	松山武仁	森満	山本雅彦
高丸正	筒井健二	夏本義人	濱中応彦	藤坂功	松山昇	森芳久	山本学
田口健二	寺田誠宏	縄田誠	浜野雅夫	藤下昌利	真野義之	森泉尚司	吉岡健一郎
田口裕康	寺本貴至	難波克年	濱本順一郎	富士原秀和	馬淵健至	森田裕文	吉川壽一
高山照幸	東浦理博	仁川政吉	林紳一郎	藤本一平	丸尾孝一	森田陸彦	吉川三生
武井彰	遠山勉	西尾繁子	林久昭	藤本義信	丸山孝宏	森田悦正	吉田幸男
武井育雄	徳山喜昭	西川弘恭	早水一博	藤原国雄	丸山敏道	森本清	吉田啓方
竹内一晃	利倉暁一	西中増雄	原文夫	藤原通宏	萬壽啓高	森本勝	吉田昌俊
竹内綱敏	栃尾修庸	西中勝	原充啓	別府昭彦	三金陽亮	八木敏光	吉田昌弘
竹内秀夫	富田米一	西牧義晃	半田裕克	穂積邦広	水田伸行	矢島孝保	吉田豊
武瀬元紀	豊井俊一	西村栄喆	比嘉正彦	堀田茂行	溝口史朗	安井二郎	吉村浩
武田太平	内藤隆也	西村孝一	東本武司	塹江隆	溝口貴夫	安田繁	吉村保藏
竹本忠勝	内藤武夫	西村光次	引地庸之祐	堀尾好伸	密克行	安田均	米倉康之
武本正照	内藤尚武	西村信一	樋口勝己	前田紳一郎	三井衛	安田征伍	米田良信
太治豊勝	中井益代	西村太一	肥後信治	前田卓三	光森正真	安田征伍	和田周治
田民恵一	中上芳昭	西村武夫	日高仁	前田良一	南由紀子	康村健二	渡邊和治
立浪勉	中尾光孝	西村近司	比屋根毅	牧田隆	南田雄二	矢野義晃	渡辺憲治
田中恵三	中川量博	西村弘志	平井誠司	牧野一郎	峯幸太郎	藪田定一	
田中乃武	中川雅弘	野口龍男	平川昌哉	政岡英樹	峯松良治	山内靖隆	
田中弘	中作弘	野澤利一	広川紘一	増田幸一	三宅隆雄	山岡清一	
田中良三	中澤秀起	野々村克也	廣川雅英	榎谷剛	三宅勝巳	山岡宗一郎	
谷川正秀	中島義博	野間修	廣田真人	増富忠義	宮崎勝巳	山岡紀和	
谷坂誠多朗	中田耕蔵	野原基弘	広地雅明	松岡秀光	宮崎啓市	山口励治郎	
田原政俊	中田秀夫	野村佳生	深江守	松浦和久	宮崎俊二	山崎一毅	
田淵郁男	中田裕久	萩原薫	深江豪	松田茂樹	宮元咲子	山田和彦	
玉川博尉	長手淳	橋岡賢一	深海淳	松田毅	宮本毅	山中潤一	

特別会員名簿 526名

青木博子	石本一也	榎一郎	岡村壽一	金本州司	木村武史	小林史人	澤井眞一
青野弘	石本秀雄	王行順	岡村睦治	加林和政	木村立夫	小林宣人	澤山政康
朝山謙一	泉原保二	大内康裕	岡本勝治	鎌田美幸	木村長和	小林輝雄	塩見恵介
東博史	井関文洋	大川肇	岡本圭蔵	神山三郎	木本宗男	小林英志	竺川安雄
東宏	磯田雅司	大久保建彦	岡本勝一	柄谷泰造	清原徹	小林良造	重村昭雄
東浩史	磯田洋一	大久保文雄	岡本敏和	苅田孝太郎	日下保	小村公成	地頭正明
穴瀬武利	市田順彦	大澤一郎	岡本信彦	川尾祐士	國原秀和	子守良朗	芝泰雄
我孫子達	一谷宣宏	大澤嘉通	岡本肇	川口榮一	国本東煥	小山千代治	芝田英輔
阿部德行	伊藤貞信	大島忠	小川秀男	川越義晴	久保憲治	近藤誠之助	島谷太
安藤勝治	伊藤俊雄	大園武史	小川裕之	川西肇	久保建夫	齊藤竜政	清水信之
井木澄夫	稲垣勝	太田耕司	小川益生	川端務	倉田治二	酒井康治	清水宏真
井木剛	稲葉勉	太田芳蔵	奥田芳雄	河村隆	栗山悟	栄江利美	清水義人
幾谷孝司	井上和美	大谷昭雄	奥地康紀	菊池功	黒川治	阪上鉄哉	下坂富美二
池田勝海	井上秀則	大谷哲	奥村和正	菊本弘一	黒崎義明	坂口茂	下境田耕治
池田健三	井上文雄	大谷壽一	押谷昌宣	岸田健一	小泉政裕	坂田清則	庄本栄吉
池田敏幸	伊花和明	大附一彦	小野康三	岸田政文	合志至誠	坂野吉澄	白石光一
池田朋之	伊吹明	大西宰志	鍵田智嗣	岸田衛幸	合志隆久	坂元陽	白崎美智子
池田平一	今井昭雄	大野勇治	笠原敏宏	岸原宏明	香田哲	作田誠司	杉田章博
池辺孝	今井正也	大原英津子	梶浦孝雄	貴島理	幸野重夫	佐々木覚	杉原祥公
伊佐雅一	今井元一	大平浩也	柏野高男	岸本一夫	河野光雄	佐々木繁二	杉本勝昭
石井健雄	入谷俊彦	大道弘定	柏野弘行	岸本幸三	鴻池祥肇	笹部泰弘	杉本兆永
石井三企男	岩崎信幸	大村哲也	梶本良平	岸本康裕	小坂圭一	佐藤順一	鈴木健仁
石井良昌	岩見星輝	大矢雅信	梶原太兵衛	岸本謙二	小島成介	佐藤宏幸	鈴木吉光
石尾修	宇多明彦	岡島茂夫	加藤あつ子	北沢謙二	小島祥一	佐野幸司	住谷昌昭
石川俊治	宇野泰明	岡田茂夫	加藤正一	岸原義明	五島克卓	佐野智	妹尾貴之
石田久人	宇仁和雄	岡田徹	加藤弘之	北村行久	腰山武史	佐野嘉彦	瀬口泰弘
石津均	梅田隆士	岡田昌幸	加藤芳生	北村寅雄	小瀬繁	佐尾信親	瀬良之敏
石塚久美子	梅本見八	岡野嘉男	金澤悦男	来山直義	小谷芳男	佐茂省治	曾根正明
石原一興	梅本年幸	岡村重和	金富彰英	喜納正雄	児玉至弘	佐茂省治	曾根教夫
石伏叡齊	浦田万里	岡村征	金田一平	木村誠治	小寺義治	澤井昭三	

物故会員一覧 71名

青木健二	掛井康典	小寺昇	清水博明	辻本正夫	西村伍一	廣瀬實	元春良
井木麓三郎	金本章	小寺雅文	杉本伸雄	寺岡又左衛門	西山潤	福岡良弘	数安田武茂
池上定一	川口喜明	小寺祥介	高岡伸一	出口論	橋爪賢二	堀一彦	柳内宏規
磯田博	木場五夫	後藤公昭	高岡誠三郎	豊島穰	橋本一治	堀江孝三	山中常彰
磯田康夫	木茂隆雄	小橋泰之	田路一男	中川敏男	島山日盛	前田佳次	山中常夫
岩崎清蔵	木茂充弘	斉田正雄	田嶋三郎	名倉照宗	馬場園浩三	松田岑生	山本和夫
榎泉元裕	久保隆男	澤井隆雄	田中英世	詠田賀三	早水順一	松本慎之	山本拓
岡本正勝	小瀬清	笠川敏	樽谷清一	中村文昭	樋口徹也	光川明徳	
岡本吉包	鴻池誠三郎	柴田省三	中條為弘	西村栄二			

編集後記

創立50周年という節目の年に、50周年特別会議副議長を拝命いたしましたことを心より感謝いたします。

創立50周年記念誌作成にあたり、過去50年間の青年会議所活動の資料収集にとりかかりました。資料収集を行う中で、当時の活動写真や18mmフィルムなど膨大な資料を手にし、改めて先輩諸兄が残された歴史と伝統の大きさを感ずることができました。また、歴代理事長の取材を通して、当時の熱い思いを生でお聞かせいただき感動し、この(社)尼崎青年会議所に所属しているということを誇りに思いました。

本年は創立50周年という大きな節目にあたるので、50年間の歩みをこの創立50周年記念誌にまとめました。(社)尼崎青年会議所の足跡を十分にお伝えできるかどうかわかりませんが、この記念誌を通して50年間の歴史と伝統そして活動を振り返り、今後の(社)尼崎青年会議所活動の礎になればと思っております。

最後にこの編集作業に御協力いただきました、関係諸団体の方々、先輩諸兄及び会員の皆様の温かい御厚情に心から御礼申し上げます。

50周年特別会議 式典担当
 副議長 福永洋一

50周年特別会議 議長 田村亜紀
 50周年室 室長(式典担当) 谷山 哲
 50周年特別会議 副議長 福永洋一
 副委員長 佐藤佳子
 副委員長 早瀬法正
 幹事 光畑朋宏
 (副委員長出向) 坪内祐二
 大浦亮太
 高橋健一郎
 芝田有輝
 西原忠彦
 田中规貴
 松井王雄
 野上英則
 堀 祐勤

社団法人 尼崎青年会議所 創立50周年記念誌

発行日 …… 2009年(平成21年)9月5日

発行元 …… 社団法人 尼崎青年会議所

〒660-0881
 兵庫県尼崎市昭和通3丁目96番地
 尼崎商工会議所ビル5階
 TEL.06-6413-0136 FAX.06-6413-0720
 URL <http://www.amagasakijc.org>
 E-mail info@amagasakijc.org

印刷・製本 …… ダイコロ株式会社

〒540-6591
 大阪市中央区大手前1丁目7-31 OMMビル11階
 TEL.06-6944-6311